

令和4年度
男女共同参画に関する
市民意識調査報告書

令和5年3月

桶川市

目 次

I 調査の概要	3
<属性>	4
II 調査結果	11
<質問及び回答>	
(1) 男女平等意識・人権について.....	11
(2) ワーク・ライフ・バランスについて.....	19
(3) 家庭生活について	24
(4) 配偶者等からの暴力について	34
(5) 地域参加・社会参画について	45
(6) 新型コロナウイルス感染症の影響について	48
(7) 男女共同参画を推進するための取り組みについて	49
III 記述部分と意見、要望等	55
参考資料	
依頼文及び調査票	67

I 調査の概要

I 調査の概要

1. 目的

男女共同参画に関する市民の意識や実態を調査することにより、課題を把握し、今後の男女共同参画計画の策定及び男女共同参画施策の推進における基礎資料として活用することを目的とする。

2. 調査方法

- (1) 調査地域：桶川市全域
- (2) 調査対象：市内在住の満18歳以上の男女1,000人（令和4年9月1日現在）
- (3) 抽出方法：住民基本台帳から無作為抽出
- (4) 調査期間：令和4年10月5日（水）～10月31日（月）
- (5) 調査票送付方法：郵送
- (6) 回答方法：令和4年10月31日（月）までに郵送またはインターネット回答

3. 調査内容

- (1) 男女平等意識・人権について
- (2) ワーク・ライフ・バランスについて
- (3) 家庭生活について
- (4) 配偶者等からの暴力について
- (5) 地域参加・社会参画について
- (6) 新型コロナウイルス感染症の影響について
- (7) 男女共同参画を推進するための取り組みについて
- (8) 自由意見

4. 回収結果

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> (1) 標本数：1,000 (2) 回収数：383 (3) 有効回収率：38.3% ※うちインターネット回答 10.8% |
|--|

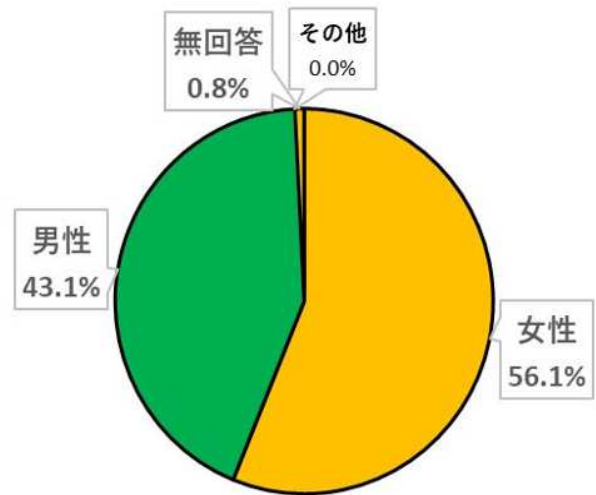
5. 調査結果の留意点

- (1) 回答の比率（％）は、その設問の回答数(n=と表記)を基礎として算出した。
- (2) 比率は、少数点第2位を四捨五入し、少数第1位まで表示した。そのため、四捨五入の関係で合計が100%にならない場合がある。
- (3) グラフの「全体」には、男性、女性及びその他のほか性別欄無記入者を含む。
- (4) グラフ・結論等の表記は、明確化するために簡略化したため、設問の表現とは異なる場合がある。

<属性>

1 性別 (n=383)

	基数	構成比
合計	383	100
男性	165	43.1
女性	215	56.1
その他	0	0.0
無回答	3	0.8

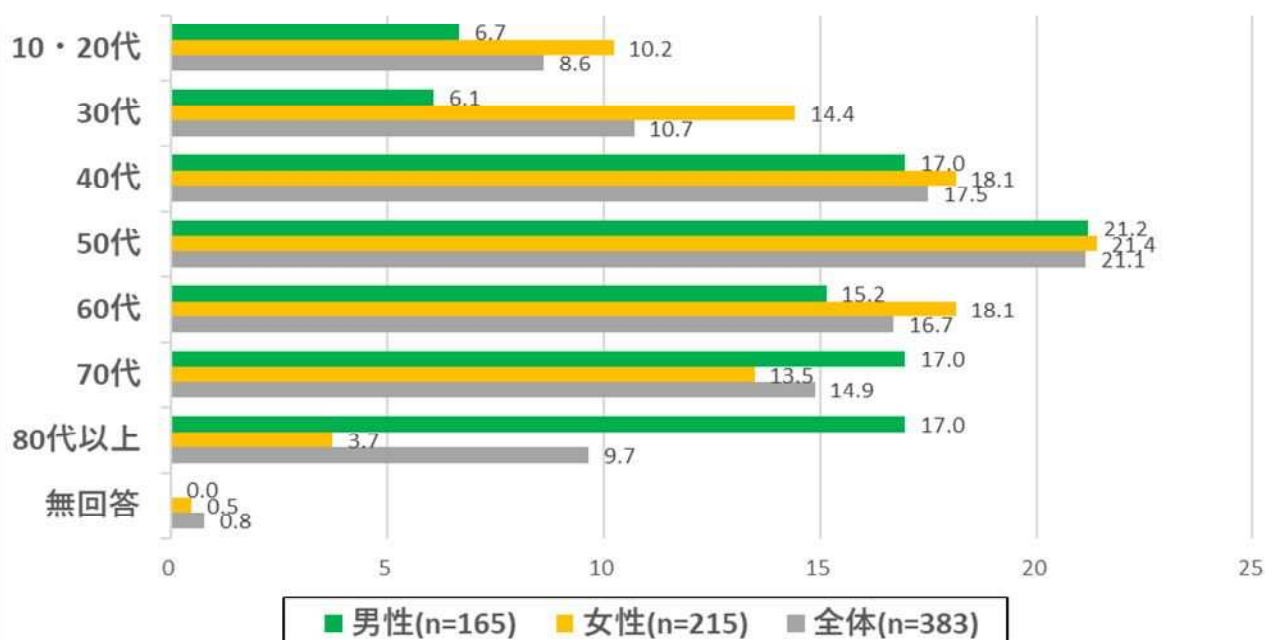


2 年齢 (令和4年9月1日現在)

上段は基数、下段は構成比(%)

	合計	10・20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	無回答
全体	383	33	41	67	81	64	57	37	3
(%)	100.0	8.6	10.7	17.5	21.1	16.7	14.9	9.7	0.8
男性	165	11	10	28	35	25	28	28	—
(%)	100.0	6.7	6.1	17.0	21.2	15.2	17.0	17.0	—
女性	215	22	31	39	46	39	29	8	1
(%)	100.0	10.2	14.4	18.1	21.4	18.1	13.5	3.7	0.5
無回答	3	—	—	—	—	—	—	1	2
(%)	100.0	—	—	—	—	—	—	33.3	66.7

属性別の構成比 (%)

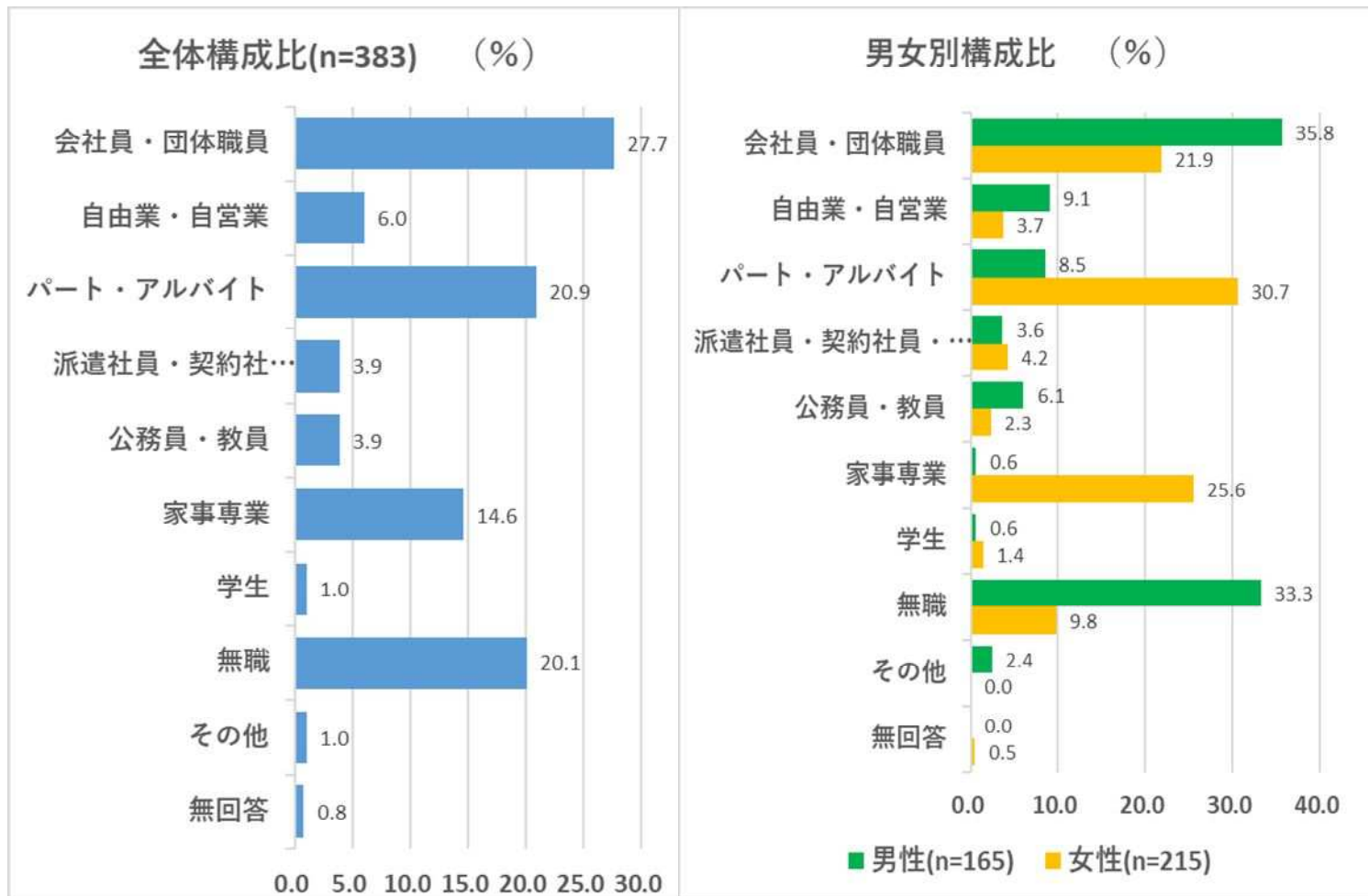


※グラフ中、性別の「無回答」は、基数が少ないため入れていません。

3. 職業

上段は基数、下段は構成比(%)

	合計	会社員・ 団体職員	自由業・ 自営業	パート・ア ルバイト	派遣社員	公務員・ 教員	家事専業	学生	無職	その他	無回答
全体	383	106	23	80	15	15	56	4	77	4	3
(%)	100	27.7	6.0	20.9	3.9	3.9	14.6	1.0	20.1	1.0	0.8
男性	165	59	15	14	6	10	1	1	55	4	0
(%)	100	35.8	9.1	8.5	3.6	6.1	0.6	0.6	33.3	2.4	0
女性	215	47	8	66	9	5	55	3	21	0	1
(%)	100	21.9	3.7	30.7	4.2	2.3	25.6	1.4	9.8	0	0.5
無回答	3	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2
(%)	100	-	-	-	-	-	-	-	33.3	-	66.7

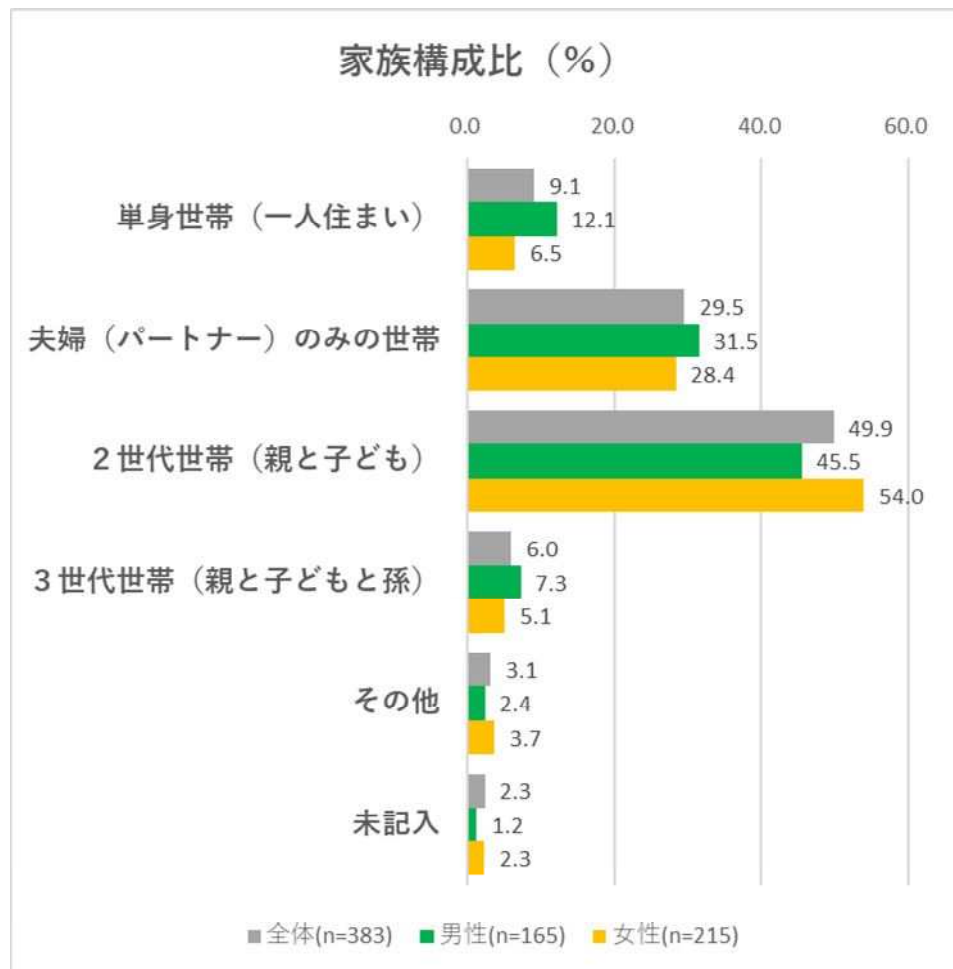


※グラフ中、性別の「無回答」は、基数が少ないため入れていません。

4. 家族構成

上段は基数、下段は構成比(%)

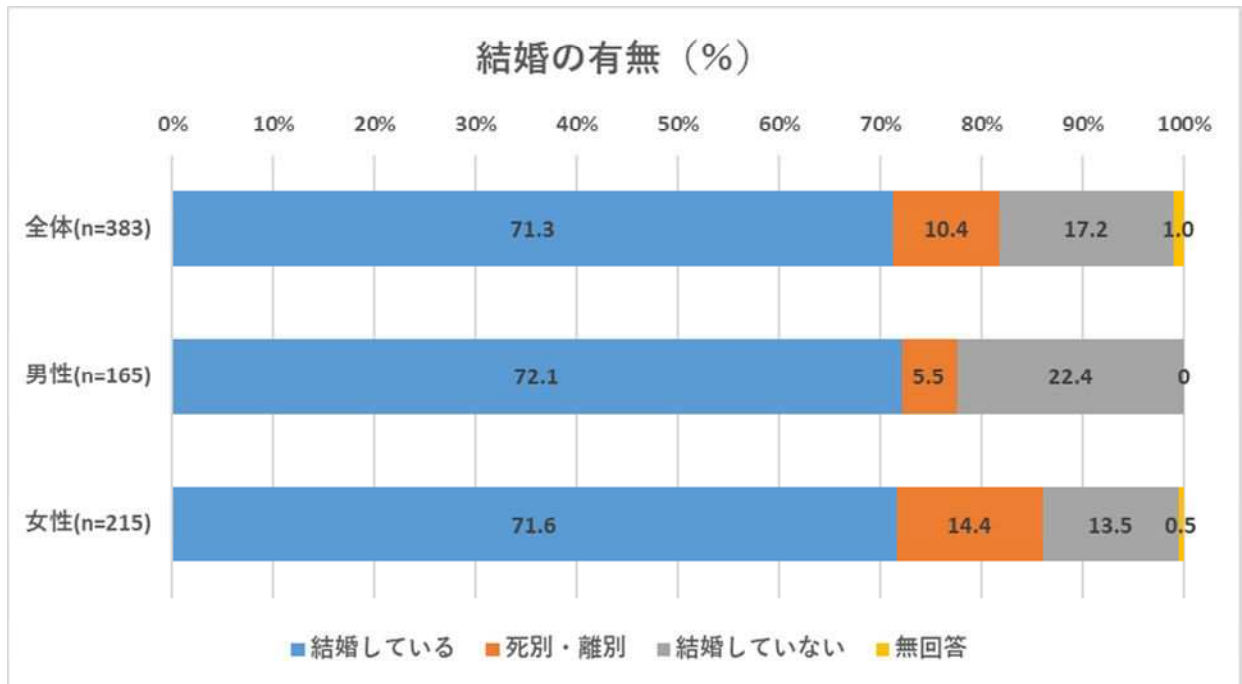
	合計	単身世帯	1 世代世帯	2 世代世帯	3 世代世帯	その他	無回答
全体	383	35	113	191	23	12	9
(%)	100	9.1	29.5	49.9	6.0	3.1	2.3
男性	165	20	52	75	12	4	2
(%)	100	12.1	31.5	45.5	7.3	2.4	1.2
女性	215	14	61	116	11	8	5
(%)	100	6.5	28.4	54.0	5.1	3.7	2.3
無回答	3	1	－	－	－	－	2
(%)	100	33.3	－	－	－	－	66.7



5. 結婚の有無

表は基数、グラフは構成比(%)

	合計	結婚している（事 実婚含む）	死別または離別 している	結婚していない	無回答
全体	383	273	40	66	4
男性	165	119	9	37	0
女性	215	154	31	29	1
無回答	3	1	-	-	2

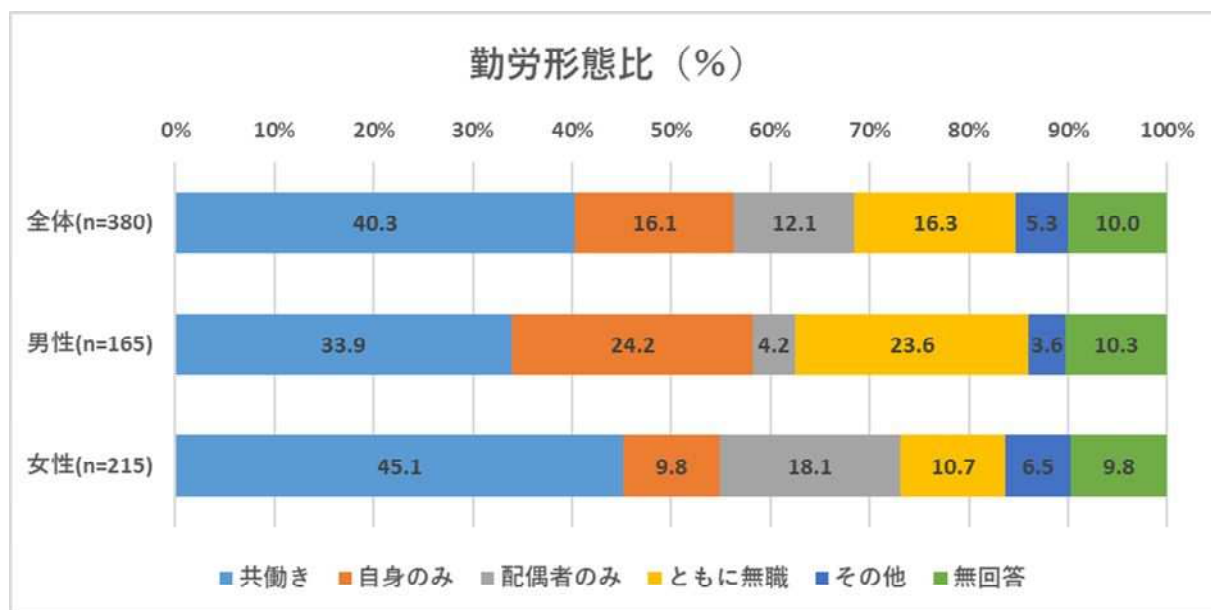


※グラフ中、性別の「無回答」は、基数が少ないため入れていません。

6. 勤労形態

表は基数、グラフは構成比(%)

	合 計	共働き	自身のみ 働いている	配偶者(パートナー)のみ 働いている	ともに無職	その他	無回答
全体	380	153	61	46	62	20	38
男性	165	56	40	7	39	6	17
女性	215	97	21	39	23	20	21
無回答	3	-	-	-	1	-	2



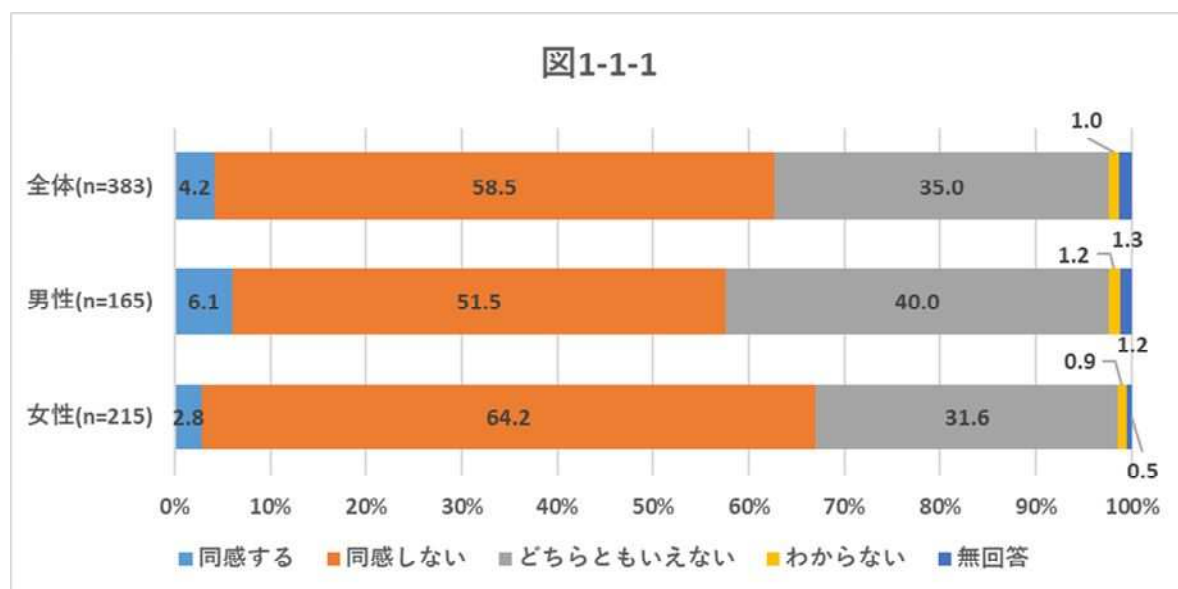
※グラフ中、性別の「無回答」は、基数が少ないため入れていません。

Ⅱ 調査結果

Ⅱ 調査結果

(1) 男女平等意識・人権について

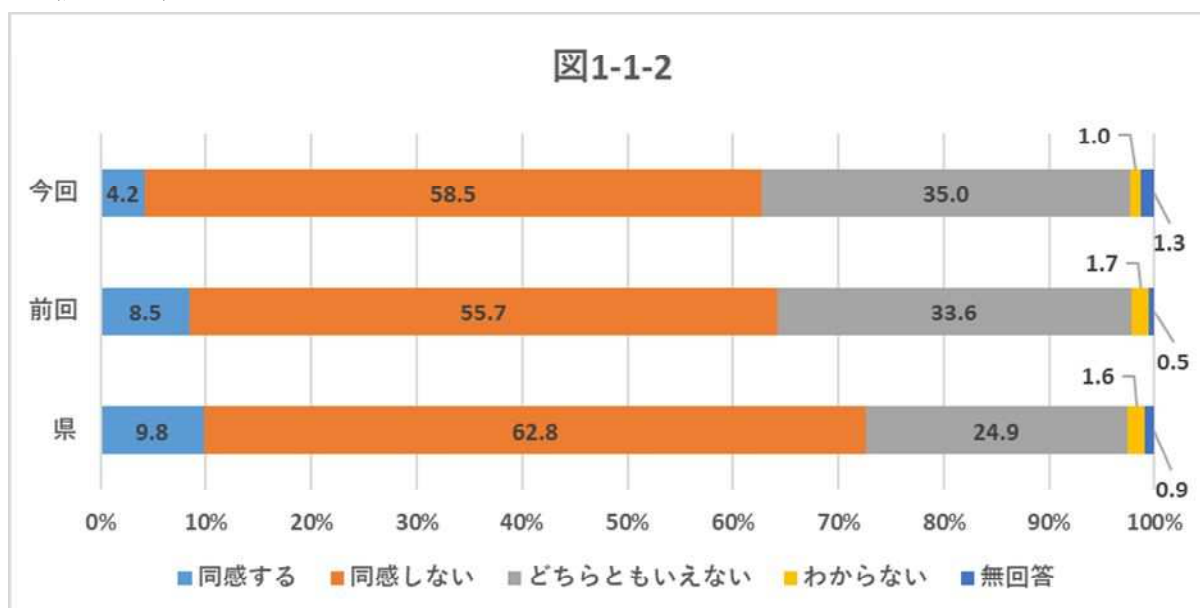
問1 あなたは、「男は仕事、女は家庭」という考え方について、どう思いますか。(数字を1つ)



全体では、「同感する」が4.2%、「同感しない」が58.5%、「どちらともいえない」が35.0%となっている。

男女別でみると、男女とも「同感しない」が高くなっており、男性が51.5%、女性が64.2%となっている。また、「同感する」は男性が6.1%に対し、女性が2.8%となっている。

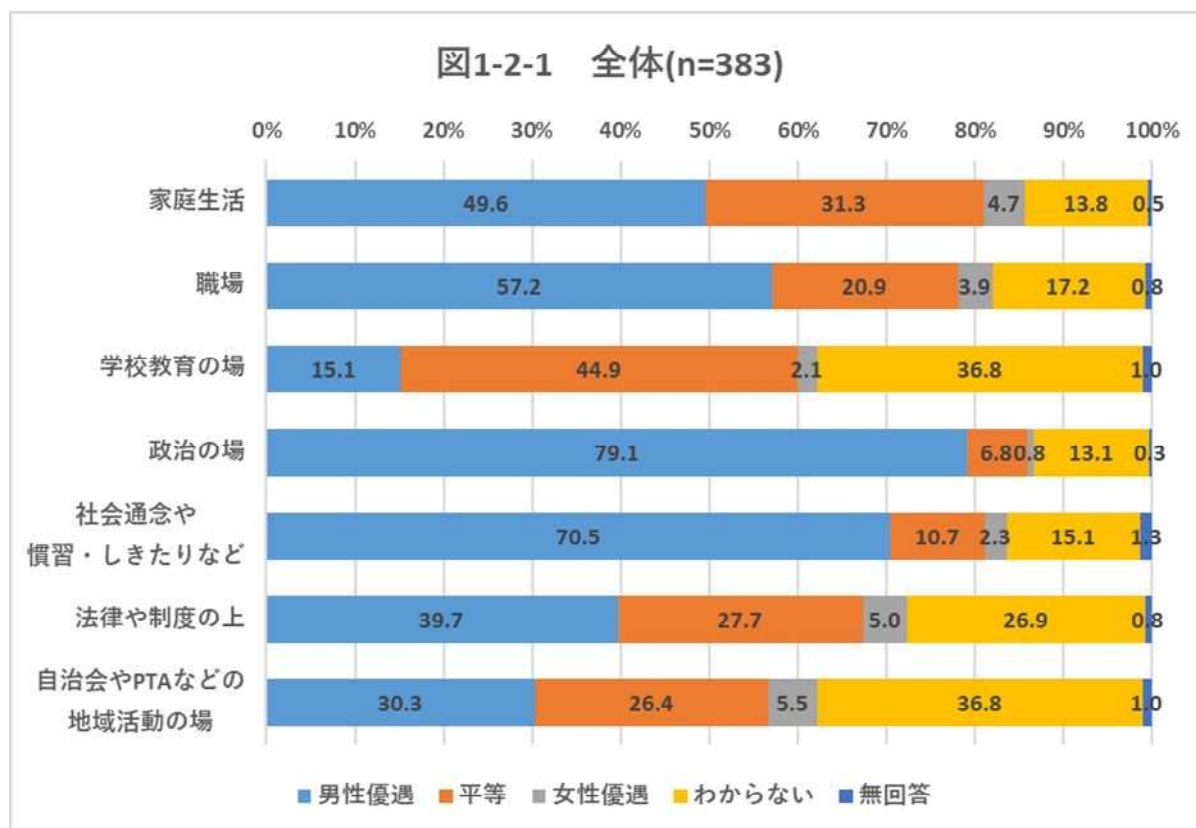
(図1-1-1)



〈前回と県との比較〉

「同感しない」の割合は、県に比べると低くなっている。「同感する」の割合は前回及び県の割合よりも低くなっている。

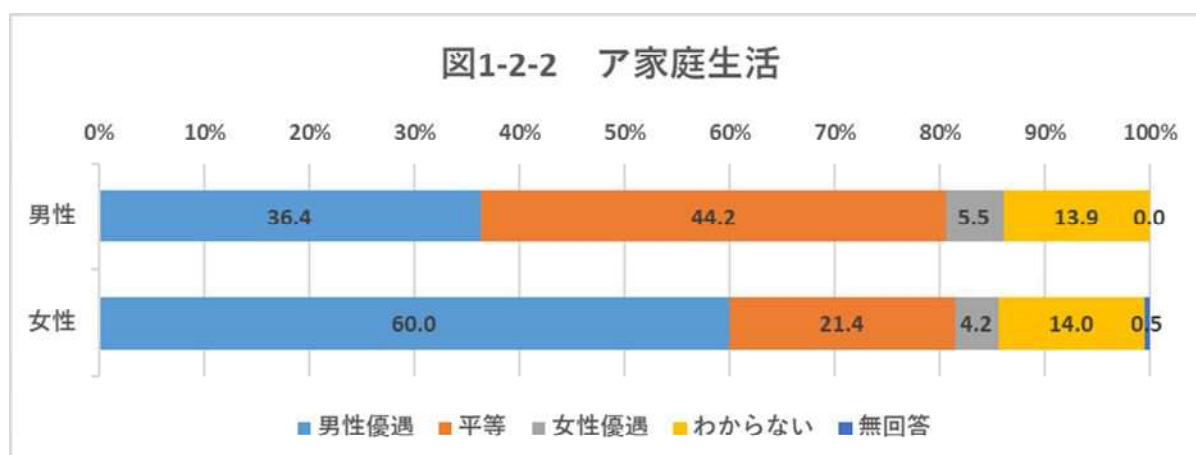
問2 次のような分野で、男女の地位は平等になっていると思いますか。
(ア～キそれぞれ、あてはまる数字を1つ)



全体では、「平等になっている」の上位は、「学校教育の場」が44.9%、次いで「家庭生活」が31.3%となっている。

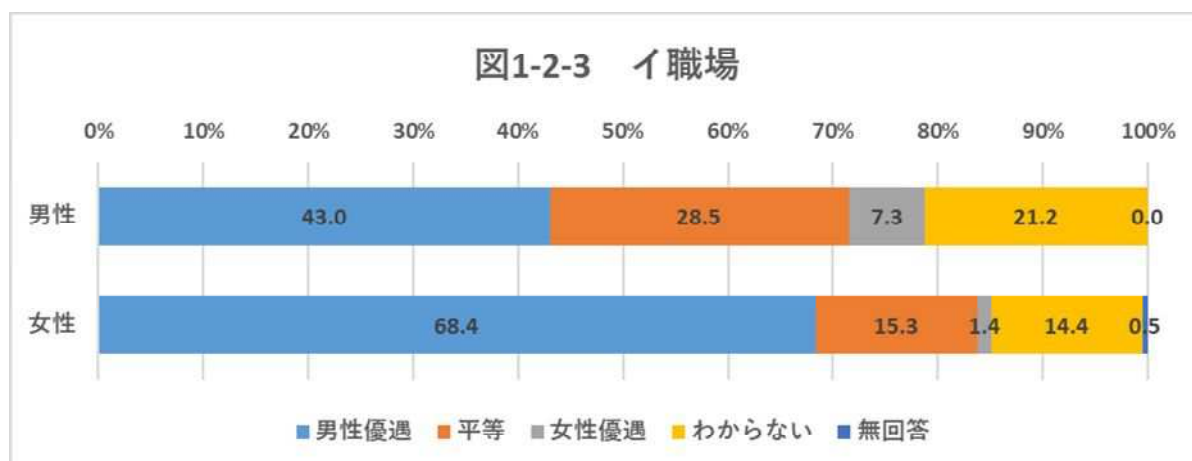
全体的に「男性が優遇されている」の項目が高くなっている。中でも「政治の場」「社会通念や慣習・しきたりなど」が高くなっている。(図1-2-1)

ア 家庭生活



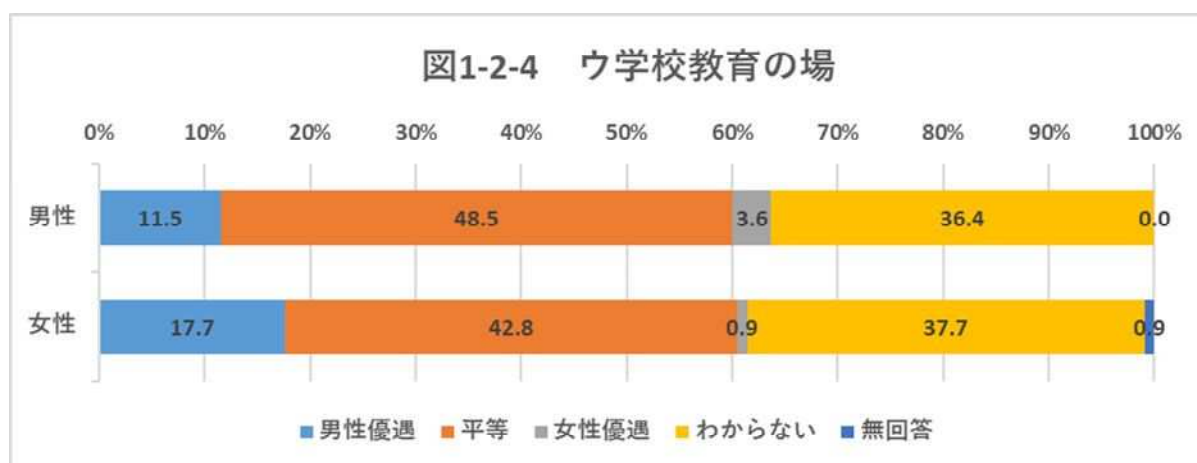
男女別にみると、男性は「男性の方が優遇されている」が36.4%であるが、女性は60.0%となっている。男性は「平等」が44.2%であるが、女性は21.4%となっている。(図1-2-2)

イ 職場



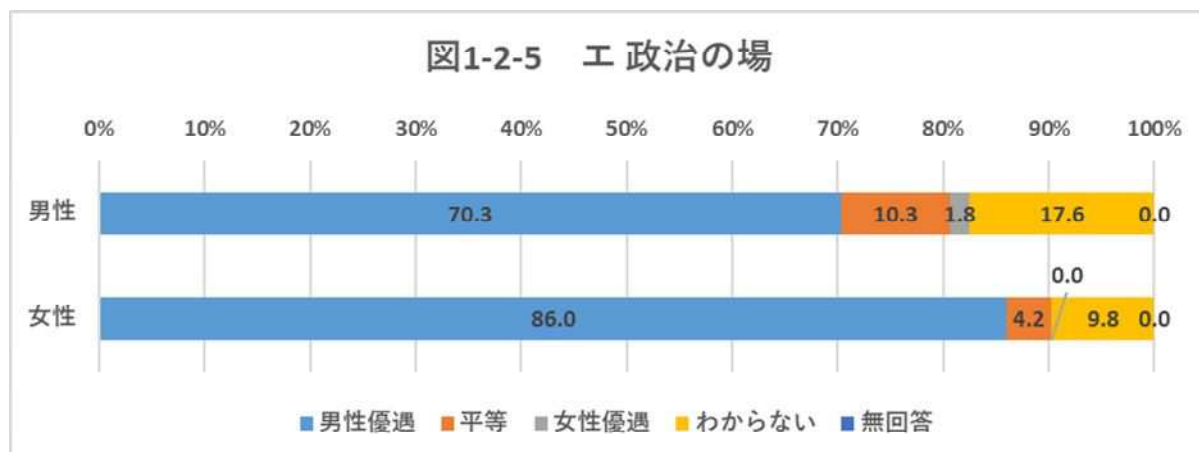
男女別にみると、男女とも「男性の方が優遇されている」が高くなっており、男性が 43.0%、女性が 68.4%となっている。男性は「平等になっている」が 28.5%であるが、女性は 15.3%となっている。(図 1-2-3)

ウ 学校教育の場



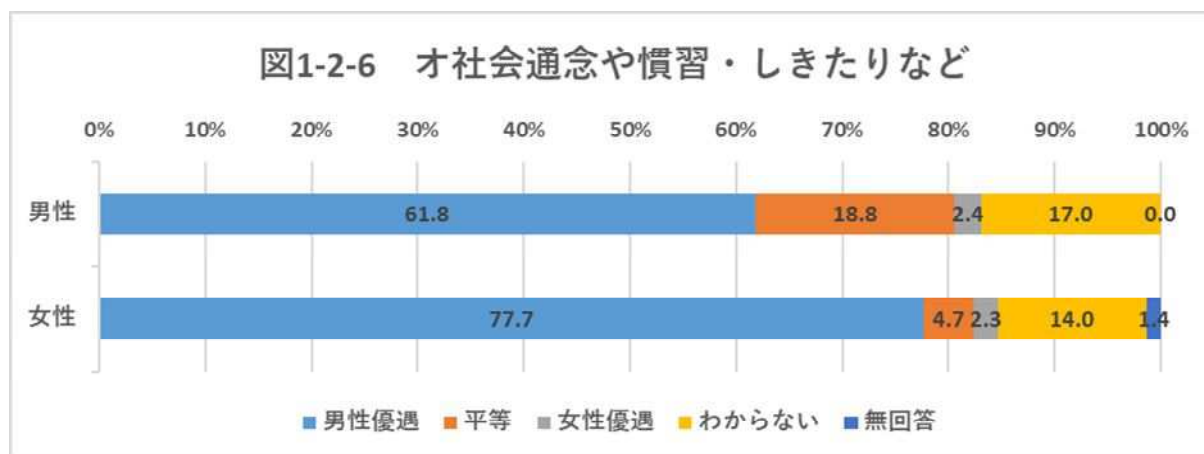
男女別にみると、男女とも「平等になっている」が高くなっており、男性が 48.5%、女性が 42.8%となっている。(図 1-2-4)

エ 政治の場



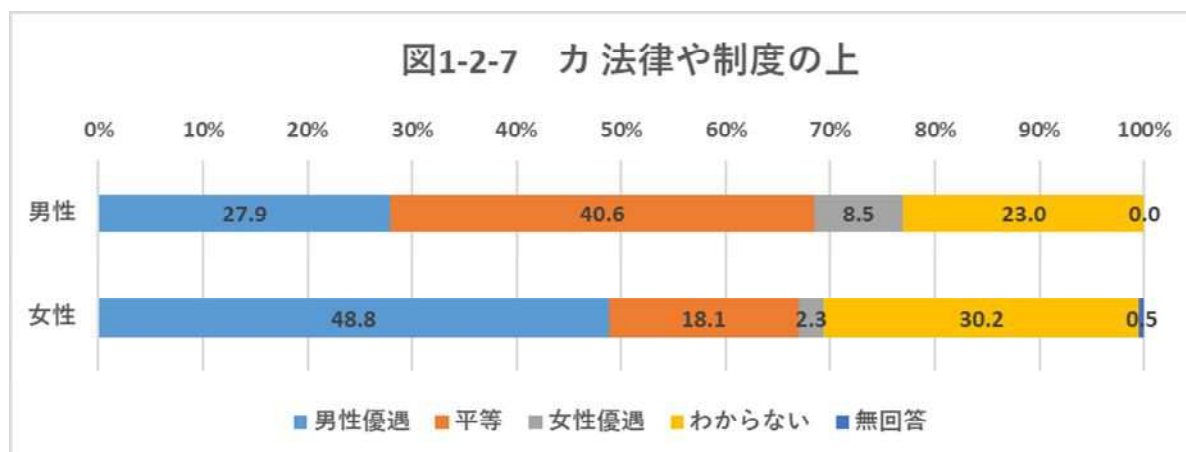
男女別にみると、男女とも「男性の方が優遇されている」が高くなっており、女性が 86.0%、男性が 70.3%となっている。(図 1-2-5)

オ 社会通念や慣習・しきたりなど



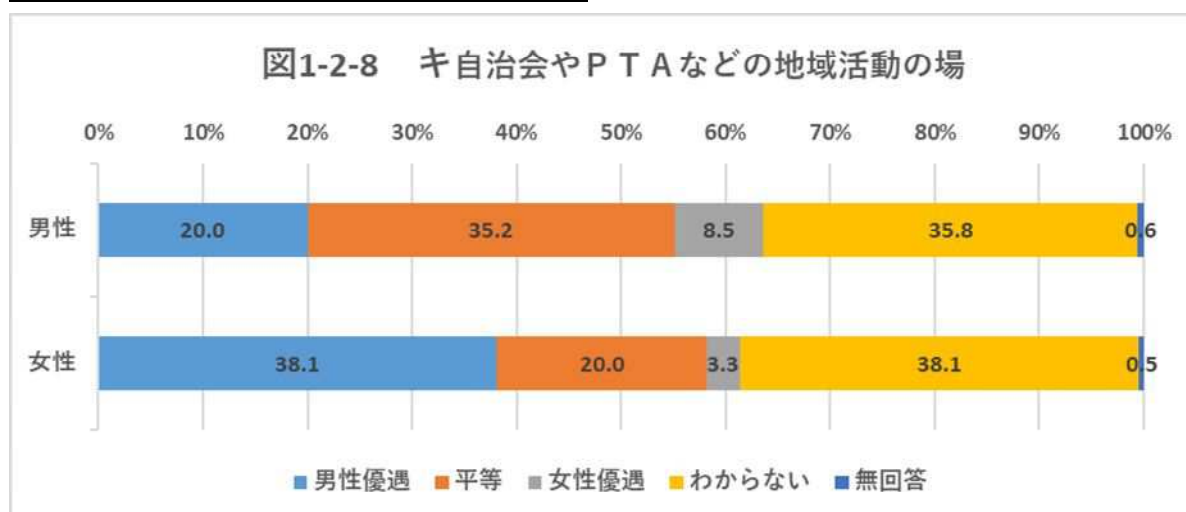
男女別にみると、男女とも「男性の方が優遇されている」が高くなっており、女性が 77.7%、男性が 61.8%となっている。男性は「平等になっている」が 18.8%であるが、女性は 4.7%となっている。(図 1-2-6)

カ 法律や制度の上



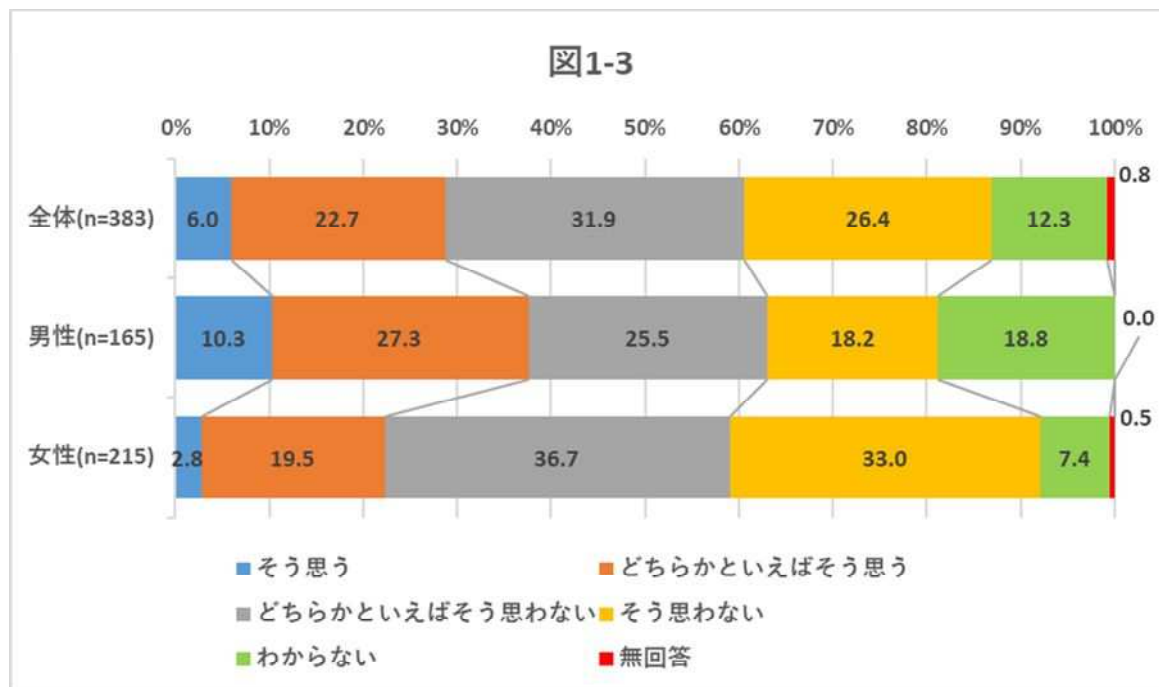
男女別にみると、男性は「平等になっている」が40.6%と高くなっており、女性は「男性の方が優遇されている」が48.8%と高くなっている。(図1-2-7)

キ 自治会やPTAなどの地域活動の場



男女別にみると、男性は「わからない」が35.8%、次いで「平等になっている」が35.2%となっている。女性は「男性のほうに優遇されている」「わからない」が38.1%と高くなっている。(図1-2-8)

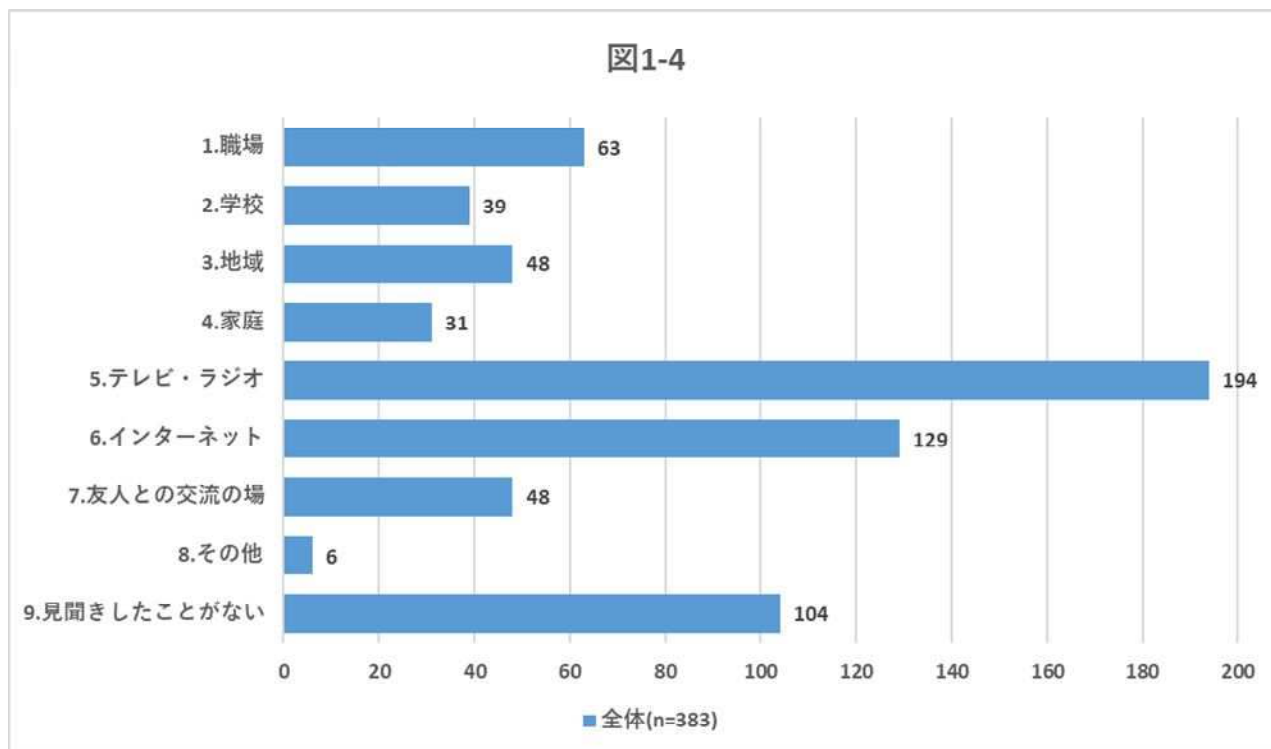
問3 女性の性と生殖に関して、妊娠・出産・中絶・更年期など生涯を通じた健康が保証されていると思いますか。(数字を1つ)



全体では、「そう思わない」(26.4%)と「どちらかといえばそう思わない」(31.9%)の合計が58.3%で、「そう思う」(6.0%)と「どちらかといえばそう思う」(22.7%)の合計の28.7%より高くなっている。

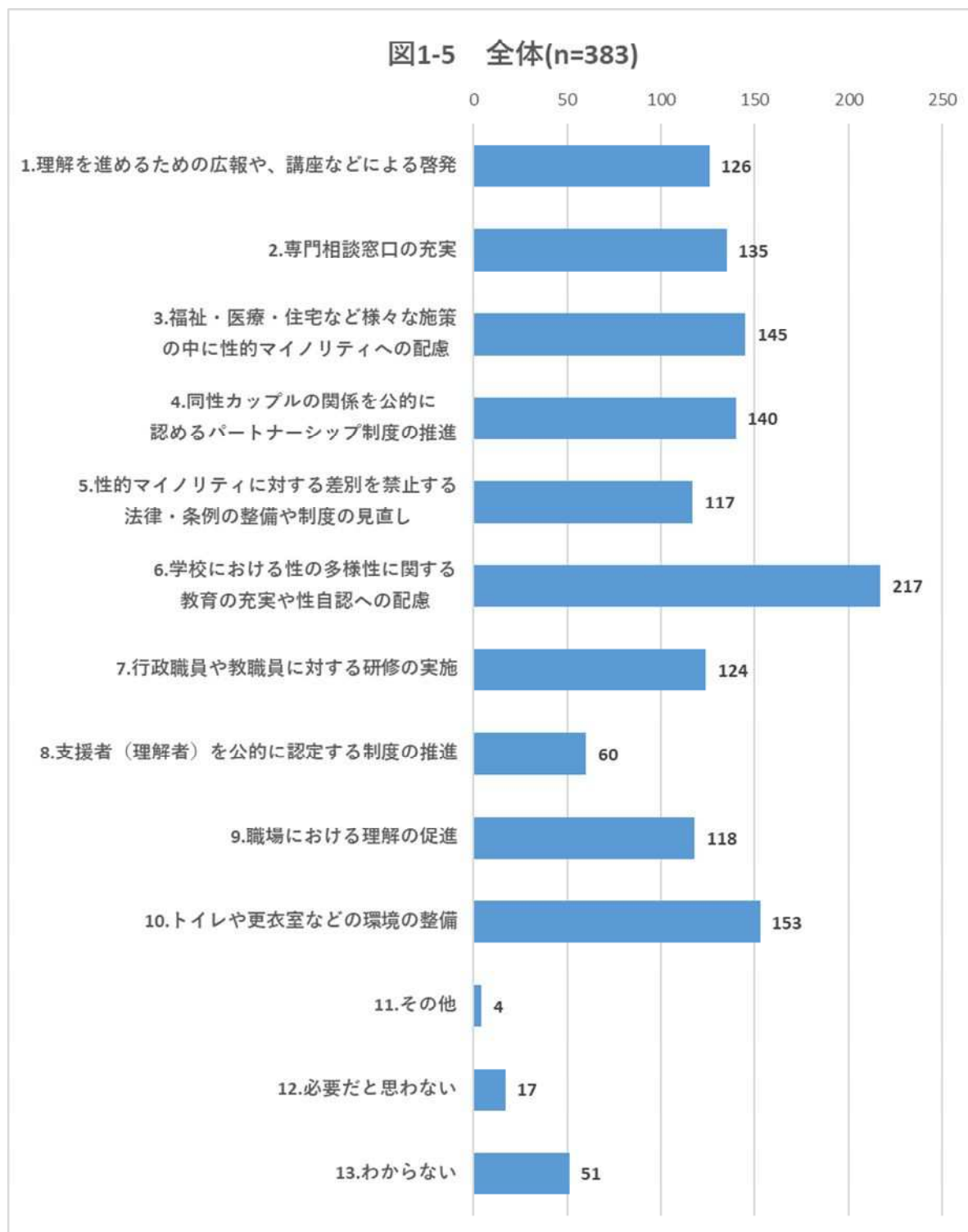
男女別でみると、男性は「そう思わない」(18.2%)と「どちらかといえばそう思わない」(25.5%)の合計が43.7%であるのに対して、女性は「そう思わない」(33.0%)と「どちらかといえばそう思わない」(36.7%)の合計が69.7%となっている。(図1-3)

問 4 あなたは性的マイノリティ（LGBTQ^{※1}など）に対する差別的な言動を、次の場所で見聞きしたことがありますか。（あてはまる数字すべて）



全体では、「テレビ・ラジオ」が最も高く、次いで「インターネット」となっている。「見聞きしたことがない」も高くなっている。（図 1-4）

問 5 あなたは性的マイノリティ（LGBTQなど）に対する理解の促進や支援にはどのようなものが必要であると思いますか。（あてはまる数字すべて）



全体では、「学校における性の多様性に関する教育の充実や性自認への配慮」が高く、次いで「トイレや更衣室などの環境の整備」高くなっている。（図 1-5）

(2) ワーク・ライフ・バランスについて

問6 あなたは「仕事」、「家庭生活」、「個人の生活」について、希望・理想に最も近いものはどれですか。(数字を1つ)

問7 あなたの「仕事」、「家庭生活」、「個人の生活」について、現状に近いものはどれですか。(数字を1つ)

図2-1 希望・理想に近いもの

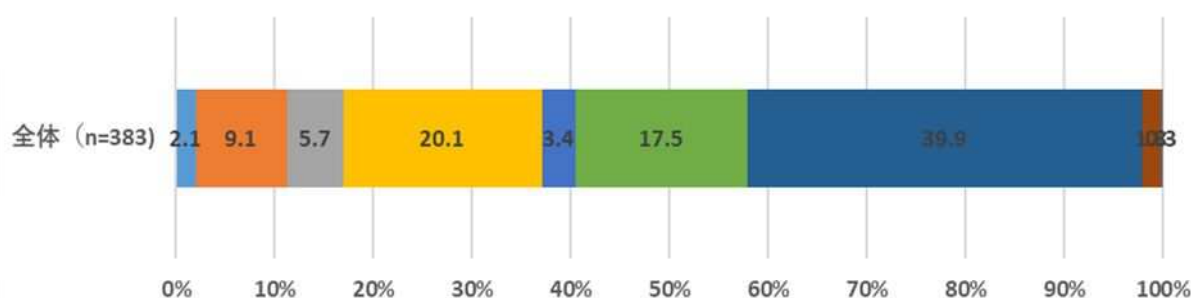
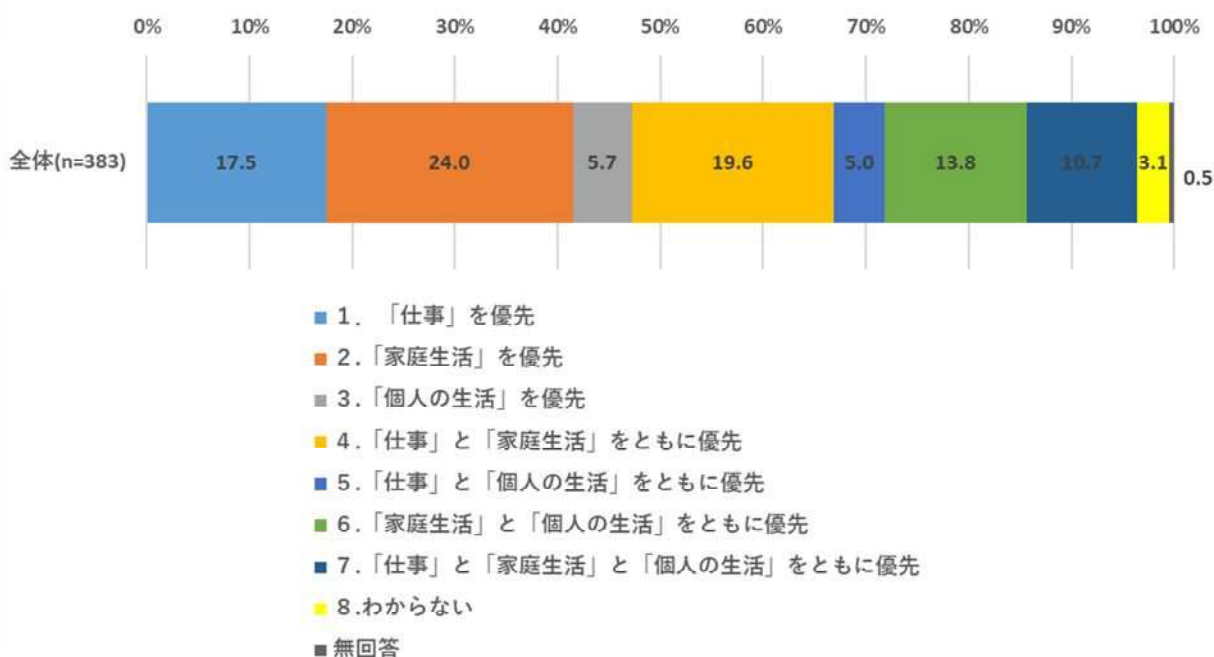


図2-2 現状に近いもの

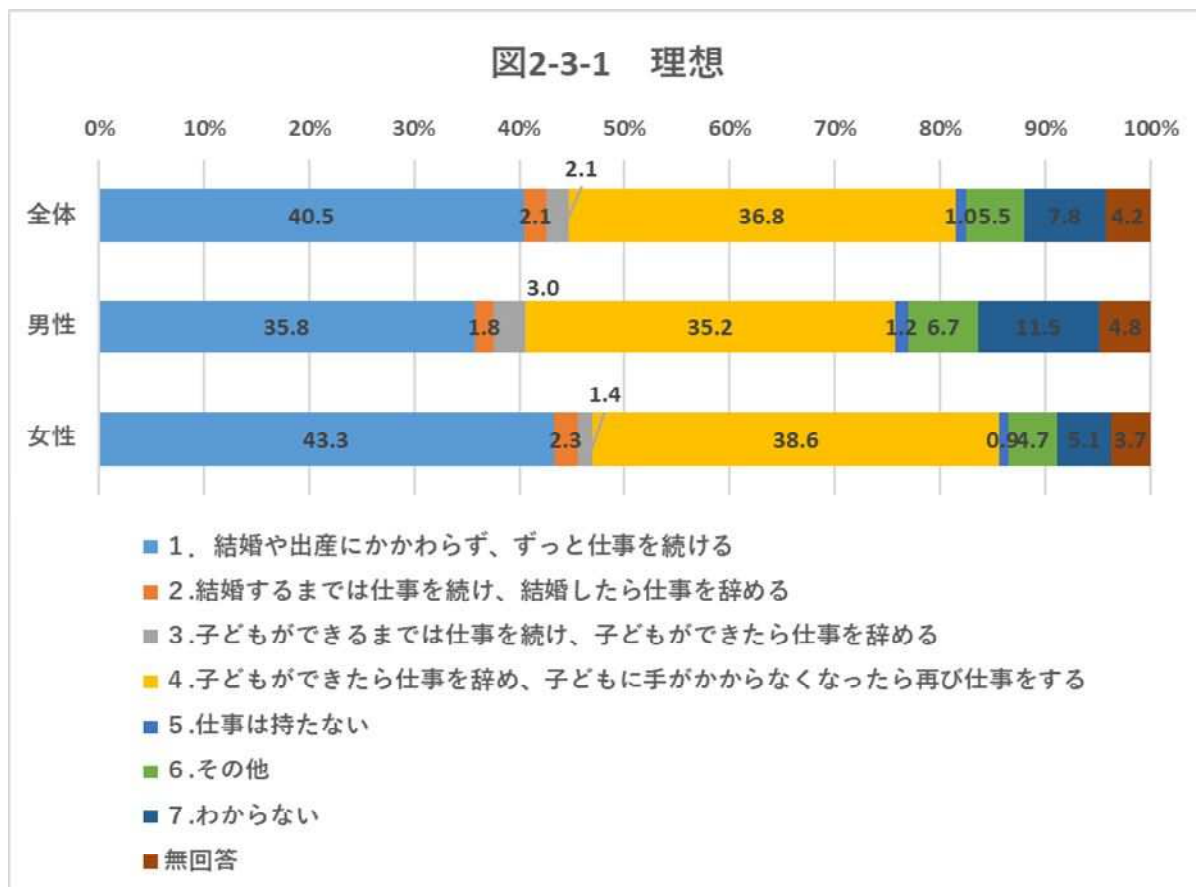


希望・理想に近いもので全体は、『「仕事」と「家庭生活」をともに優先』が20.1%と最も高く、次いで『「家庭生活」と「個人の生活」をともに優先』が17.5%と高くなっている。(図2-1)

現状に近いもので全体は、『「家庭生活」を優先』が24.0%と最も高く、次いで『「仕事」と「家庭生活」をともに優先』が19.6%、『「仕事」を優先』が17.5%と続いている。(図2-2)

問 8 女性の働き方について、あなたが望ましいと思うものはどれですか。
(それぞれ、あてはまる番号を1つ)

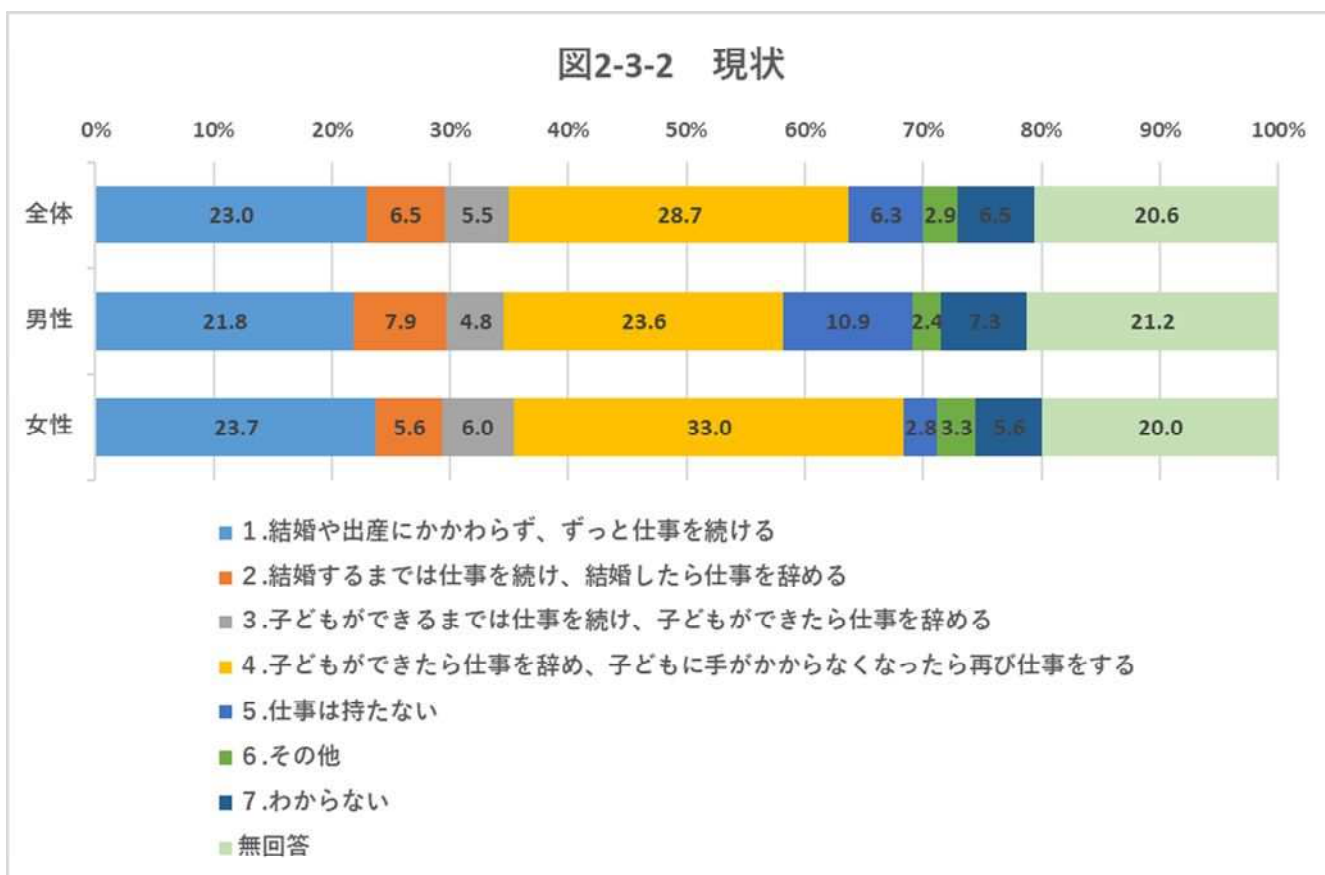
〈理想〉



全体では、「結婚や出産にかかわらず、ずっと仕事を続ける」が 40.5%、次いで「子どもができたら仕事を辞め、子どもに手がかからなくなったら再び仕事をする」が 36.8%と高くなっている。

男女別にみても、「結婚や出産にかかわらず、ずっと仕事を続ける」は、男性が 35.8%、女性が 43.3%で高く、次いで「子どもができたら仕事を辞め、子どもに手がかからなくなったら再び仕事をする」では、男性が 35.2%、女性が 38.6%となっている。(図 2-3-1)

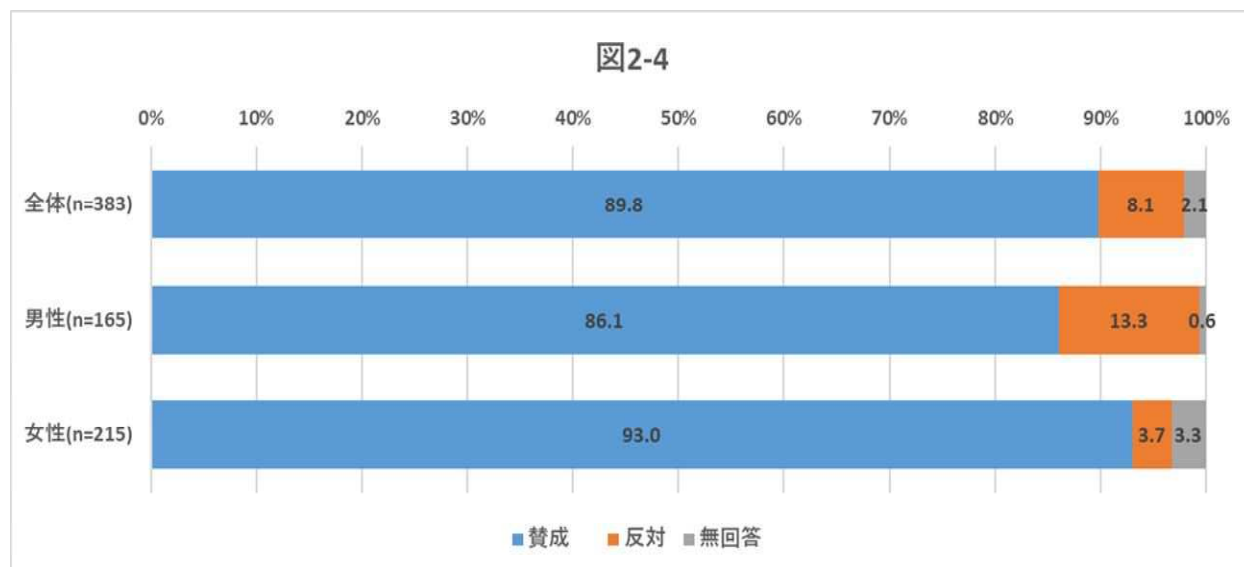
〈現状〉



全体では、「子どもができたら仕事を辞め、子どもに手がかからなくなったら再び仕事をする」が28.7%、次いで「結婚や出産にかかわらず、ずっと仕事を続ける」が23.0%と高くなっている。

男女別にみても、「子どもができたら仕事を辞め、子どもに手がかからなくなったら再び仕事をする」が男性23.6%、女性33.0%となっている。次いで「結婚や出産にかかわらず、ずっと仕事を続ける」が、男性21.8%、女性23.7%と高くなっている。(図2-3-2)

問9 あなたは、男性が「育児休業制度」を利用することについてどう思いますか。
(数字を1つ)

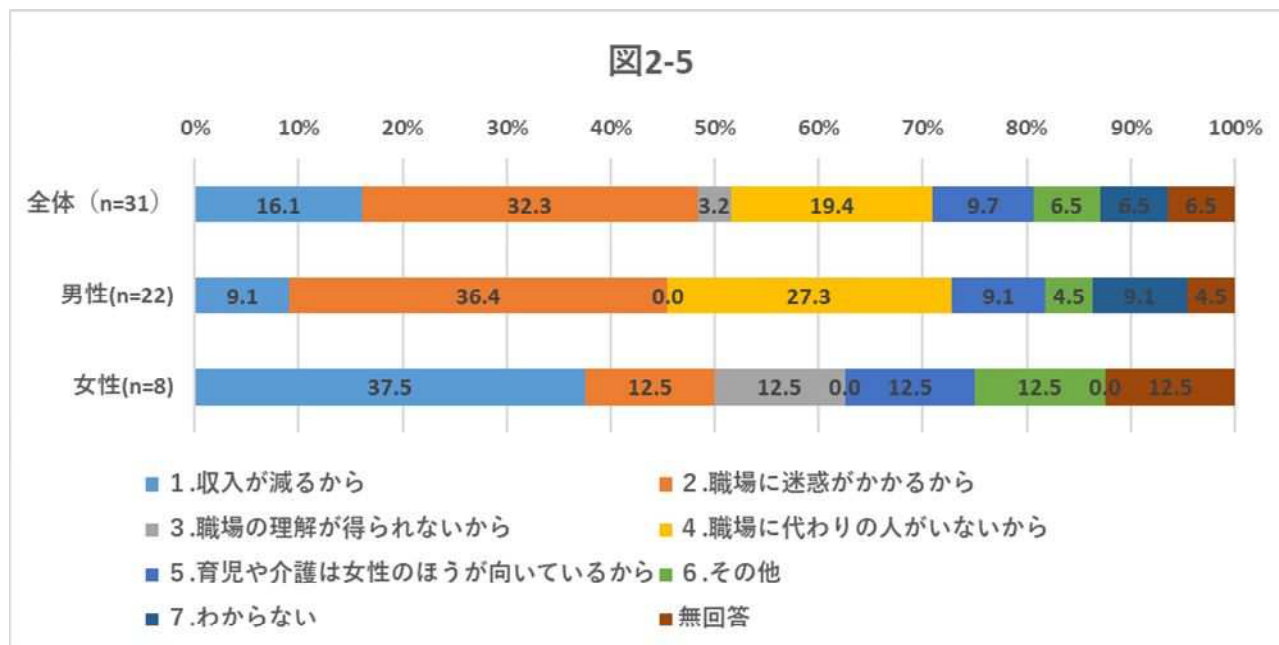


全体では、「賛成」が89.8%と高くなっている。

男女別にみても、男女とも「賛成」が高くなっている。「反対」が、男性13.3%、女性3.7%となっている。(図2-4)

(問9で「2. 反対」と答えた方)

問10 男性が「育児休業制度」を利用することについて反対する理由は何ですか。
(数字を1つ)



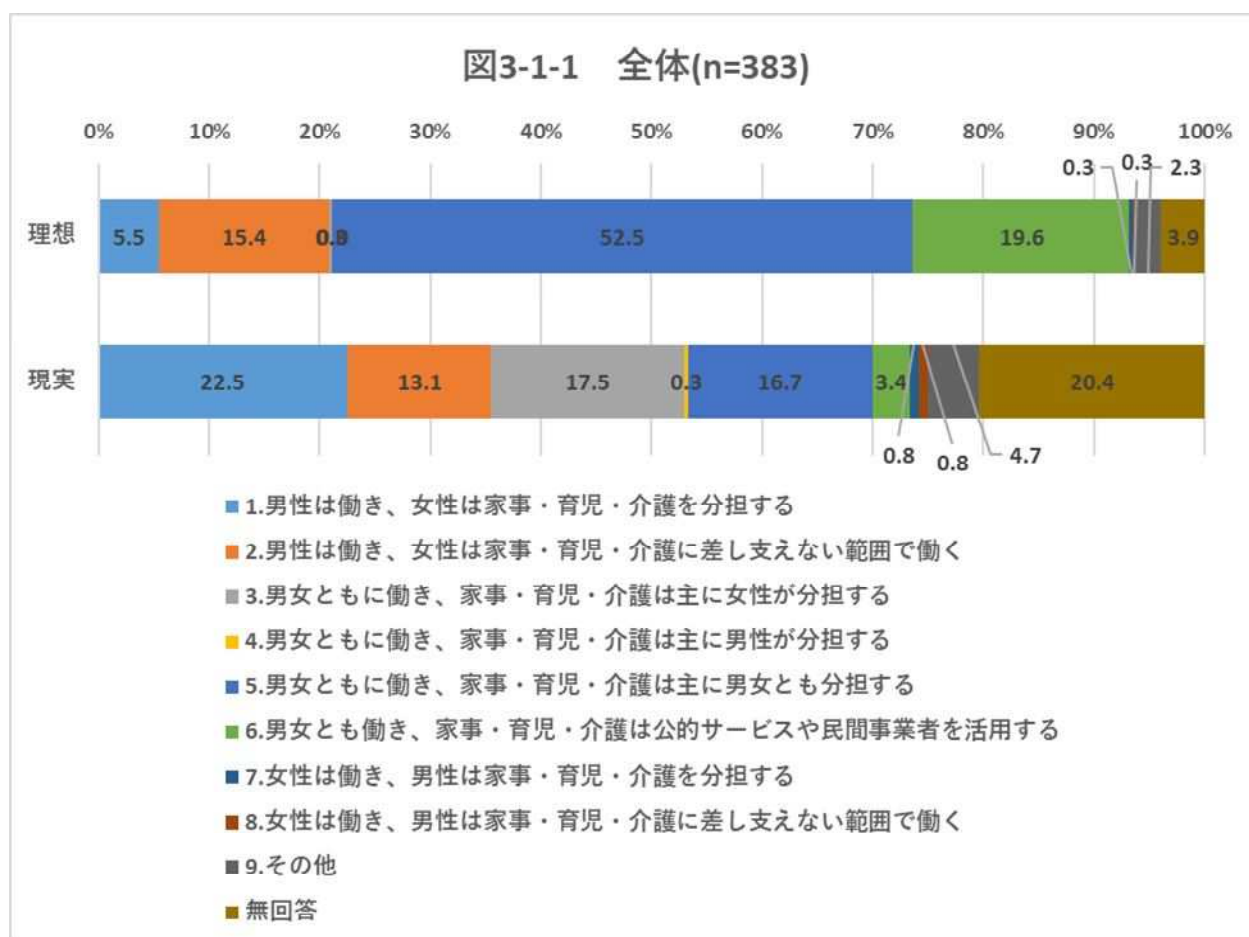
全体では、「職場に迷惑がかかるから」が32.3%と最も高く、次いで「職場に代わりの人がいないから」が19.4%、「収入が減るから」が16.1%と続いている。

男女別でみると、男性では、「職場に迷惑がかかるから」が36.4%、次いで「職場に代わりの人がいないから」が27.3%となっている。女性では「収入が減るから」が37.5%、次いで「職場に迷惑がかかるから」、「職場の理解が得られないから」がともに12.5%と同数で続いた。反対する理由に男女差がみられた。(図2-5)

(3) 家庭生活について

問 11 家庭における男女の役割分担について、あなたの希望・理想に最も近いものはどれですか。(数字を1つ)

問 12 現在結婚している方、パートナーと同居している方に伺います。あなたの現実(現状)に最も近いものはどれですか。(数字を1つ)



全体では、理想で「男女ともに働き、家事・育児・介護は主に男女とも分担する」が52.5%と高くなっている。次いで「男女とも働き、家事・育児・介護は公的サービスや民間事業者を活用する」が19.6%となっている。現実で「男性は働き、女性は家事・育児・介護を分担する」が22.5%と高く、次いで「男女ともに働き、家事・育児・介護は主に女性が分担する」が17.5%となっている。

図3-1-2 理想

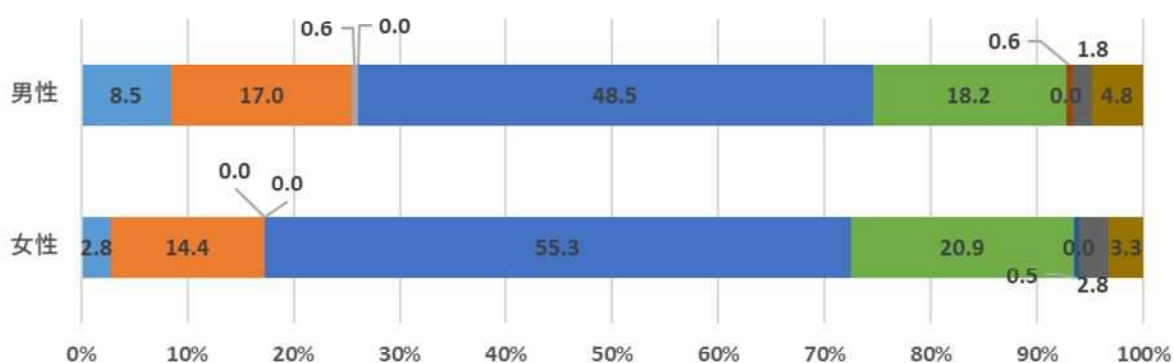
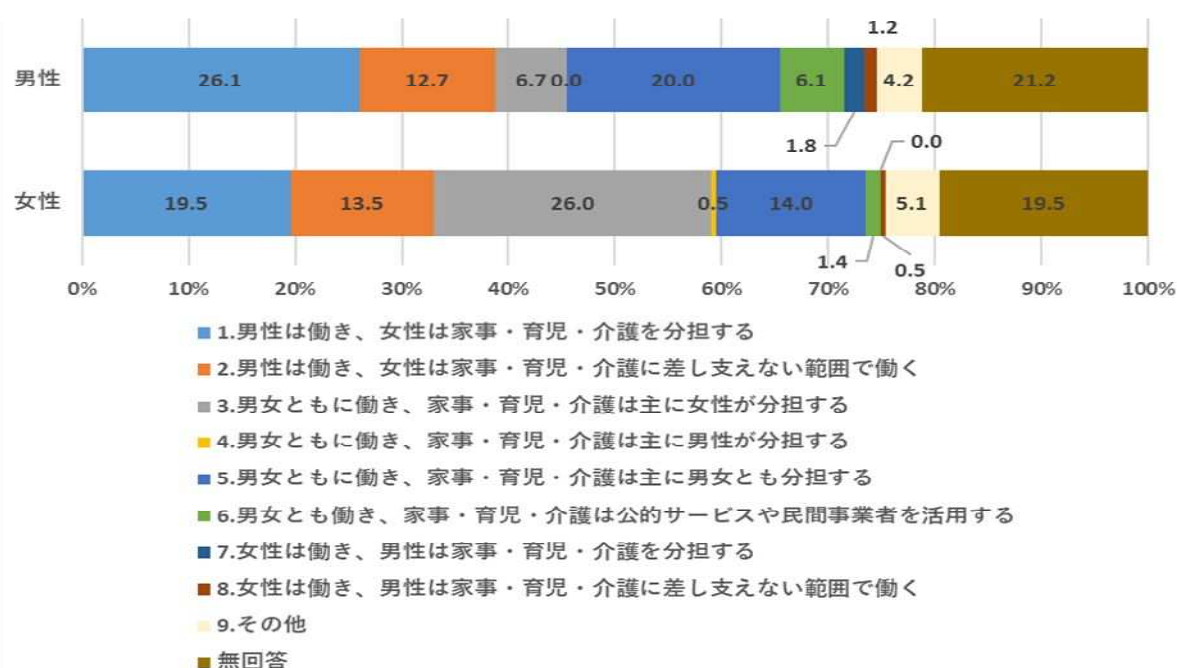


図3-1-3 現実

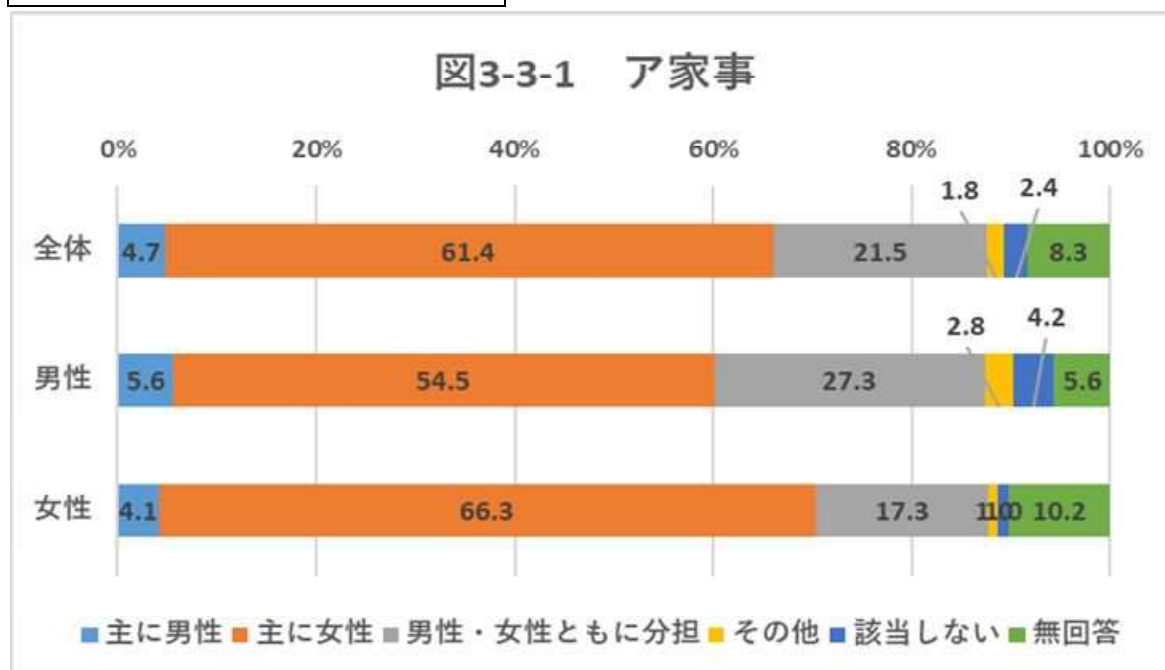


男女別に見ると、理想は、男女ともに最も高いのが「男女ともに働き、家事・育児・介護は主に男女とも分担する」で、次いで「男女ともに働き、家事・育児・介護は公的サービスや民間事業者を活用する」「男性は働き、女性は家事・育児・介護に差し支えない範囲で働く」となっている。(図3-1-2)

現実には、男性では「男性は働き、女性は家事・育児・介護を分担する」が26.1%で最も高いが、女性では「男女ともに働き、家事・育児・介護は主に女性が分担する」が26.0%で最も高くなっており、男女で差がある。(図3-1-3)

問 13 あなたの家庭では、次のようなことについて、主にどなたが行っていますか。
(ア〜クそれぞれ、あてはまる数字を1つ)

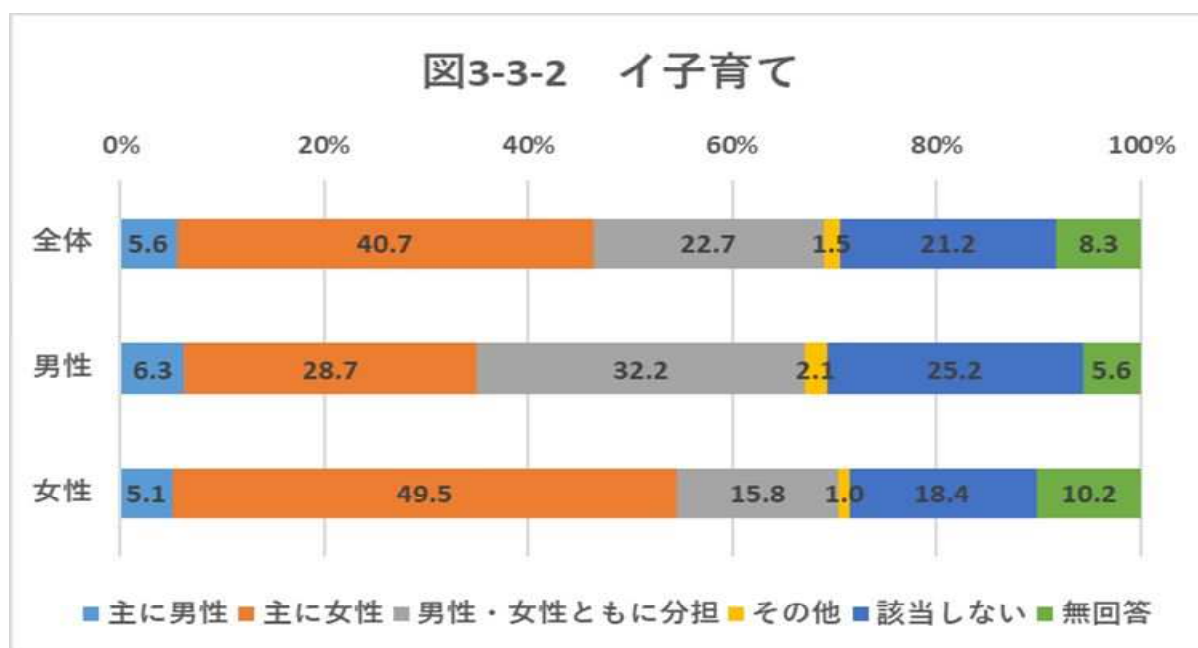
ア 家事（炊事・洗濯・掃除など）



全体では、「主に女性」が 61.4%、次いで「男性・女性ともに分担」が 21.5%となっている。

男女別では、「主に女性」が、男性で 54.5%、女性で 66.3%、次いで「男性・女性ともに分担」が男性で 27.3%、女性で 17.3%となっている。（図 3-3-1）

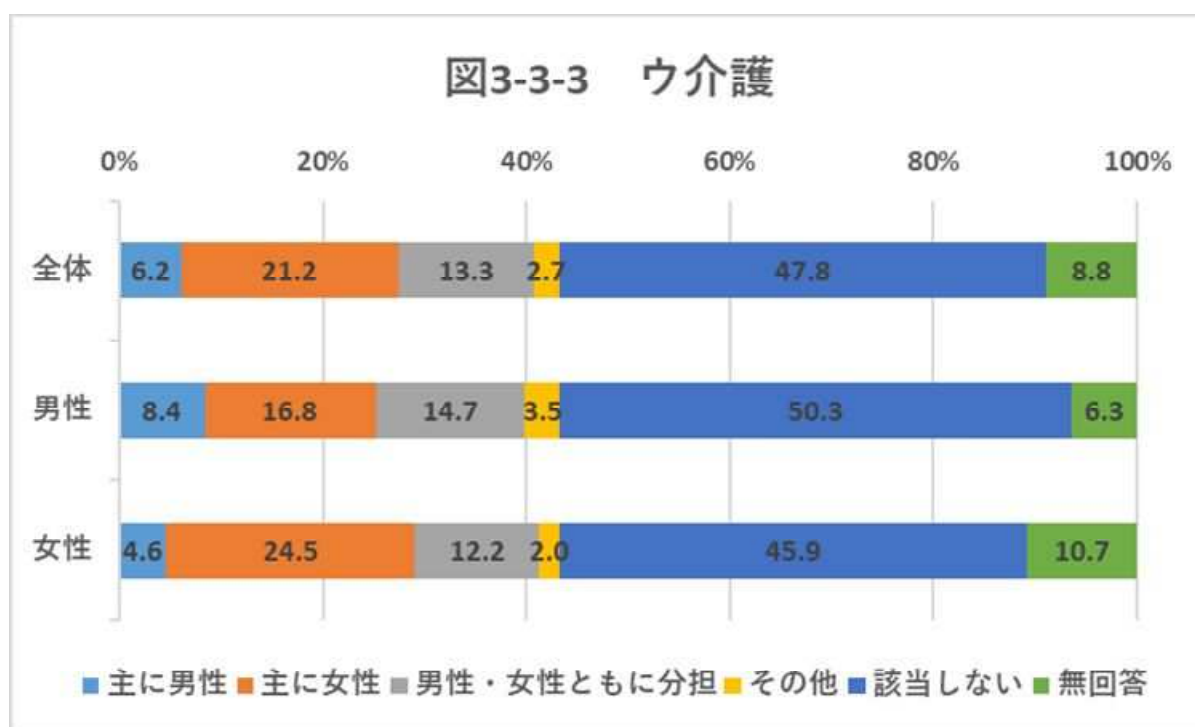
イ 子育て（子どもの世話、しつけ、教育など）



全体では、「主に女性」が 40.7%、次いで「男性・女性ともに分担」が 22.7%となっている。

男女別では、男性では「男性・女性ともに分担」が 32.2%、次いで「主に女性」が 28.7%となっている。女性では「主に女性」が 49.5%でほぼ半数を占め、男女間で子育てを担っている意識に違いが見られた。（図 3-3-2）

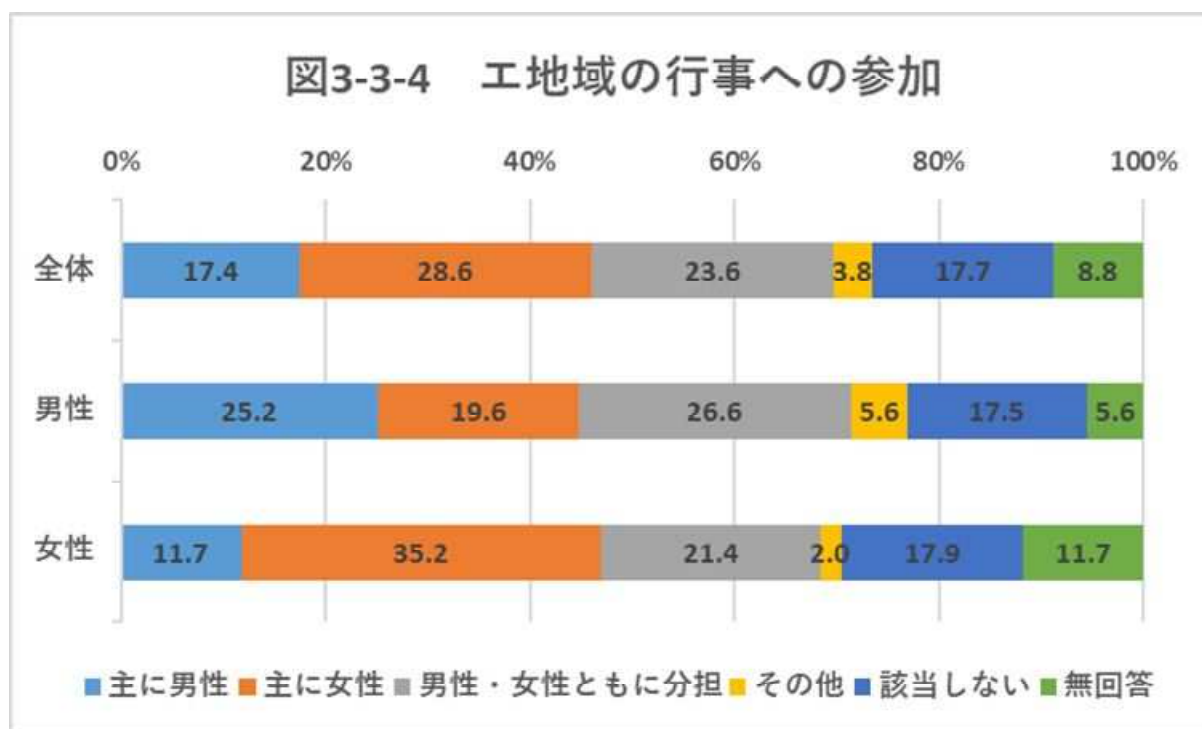
ウ 介護（介護の必要な親の世話、病人の介護など）



「該当しない」を除くと、全体では「主に女性」が21.2%、次いで「男性・女性ともに分担」が13.3%となっている。

男女別では、「該当しない」を除くと、男性では、「主に女性」が16.8%、次いで「男性・女性ともに分担」が14.7%、女性では「主に女性」が24.5%、次いで「男性・女性ともに分担」が12.2%となっている。（図3-3-3）

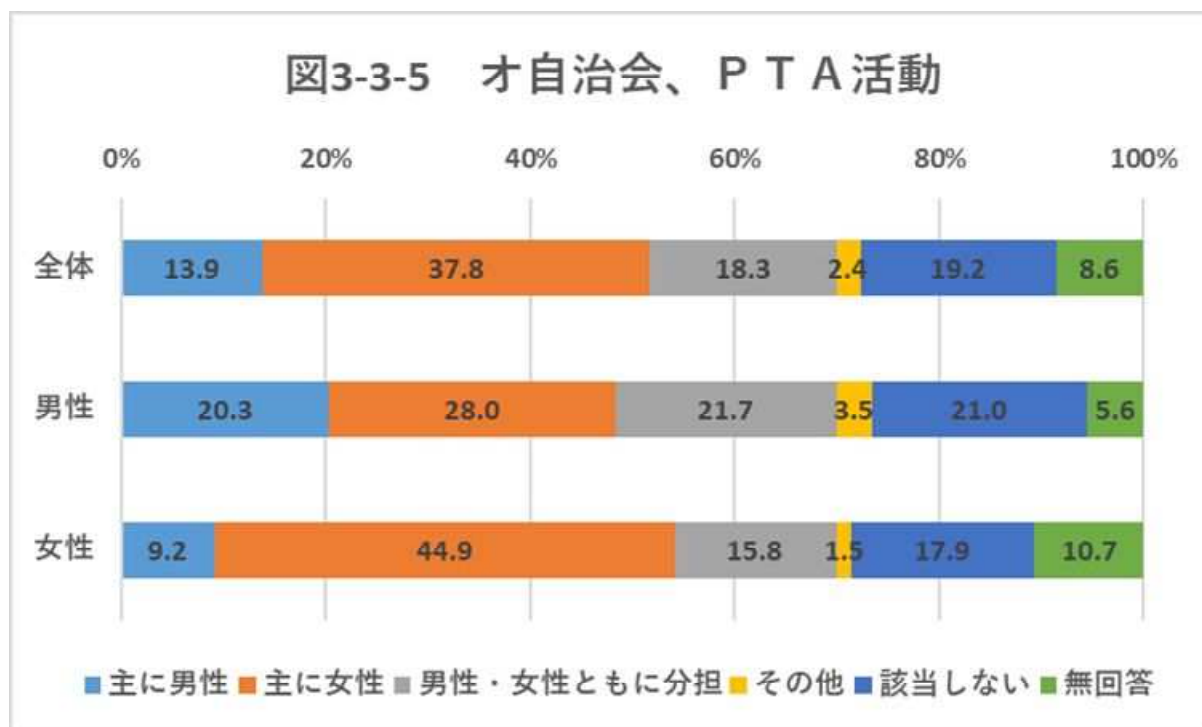
エ 地域行事への参加



全体では、「主に女性」が28.6%、次いで「男性・女性ともに分担」が23.6%となっている。

男女別では、「主に女性」が男性で19.6%、女性で35.2%、「主に男性」が男性で25.2%、女性で11.7%となっており、男女間の考え方に差が見られた。(図3-3-4)

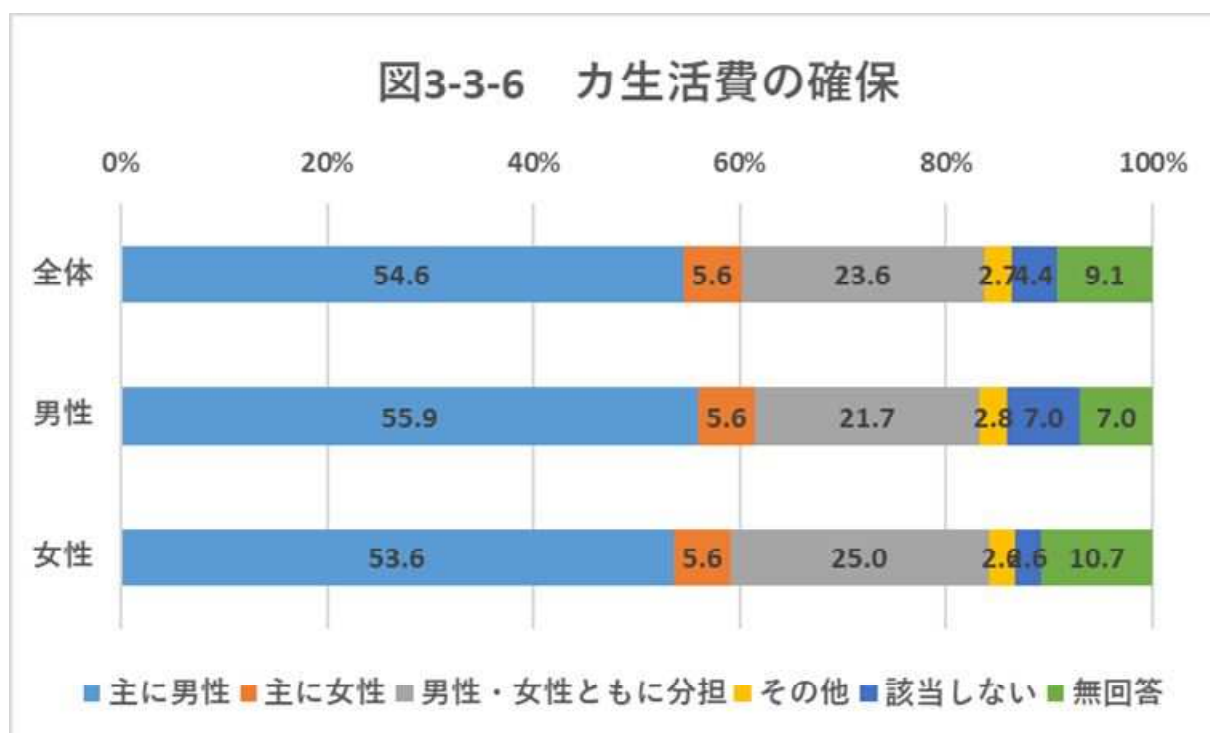
才 自治会、PTA活動



「該当しない」を除くと、全体では、「主に女性」が37.8%、次いで「男性・女性ともに分担」が18.3%となっている。

男女別では、「主に女性」が、男性で28.0%、女性で44.9%となっている。(図3-3-5)

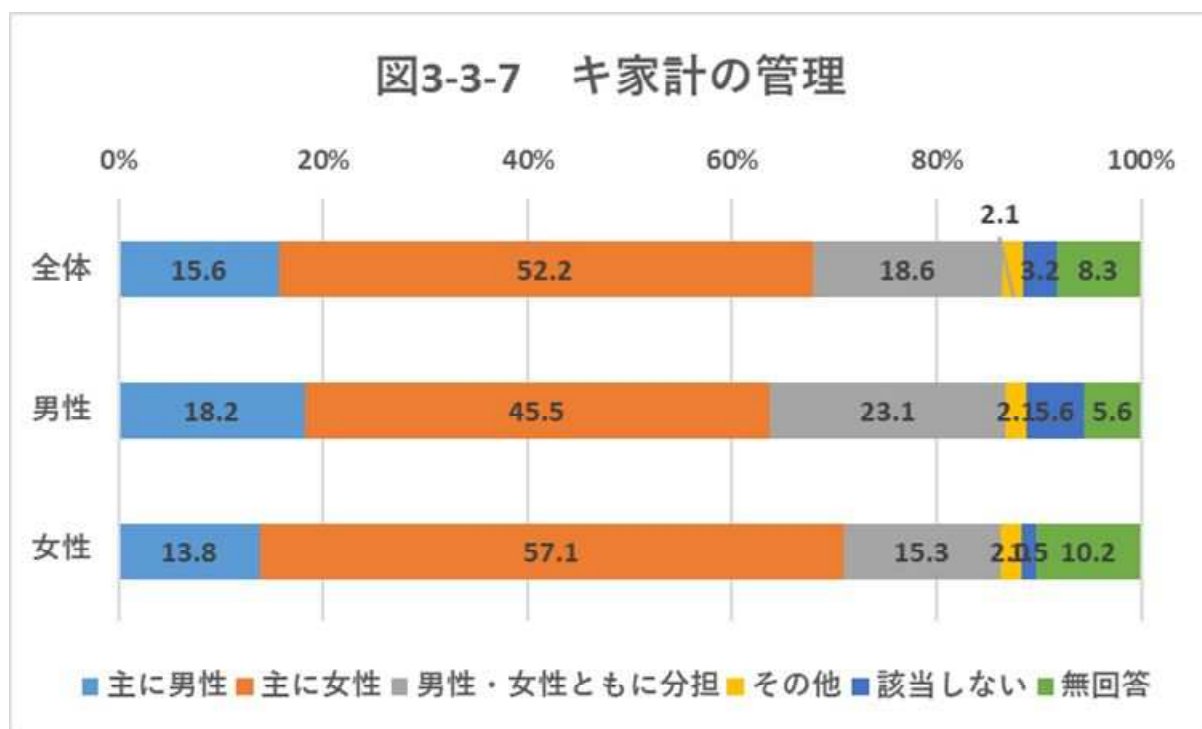
力 生活費の確保



全体では、「主に男性」が54.6%、次いで「男性・女性ともに分担」が23.6%となっている。

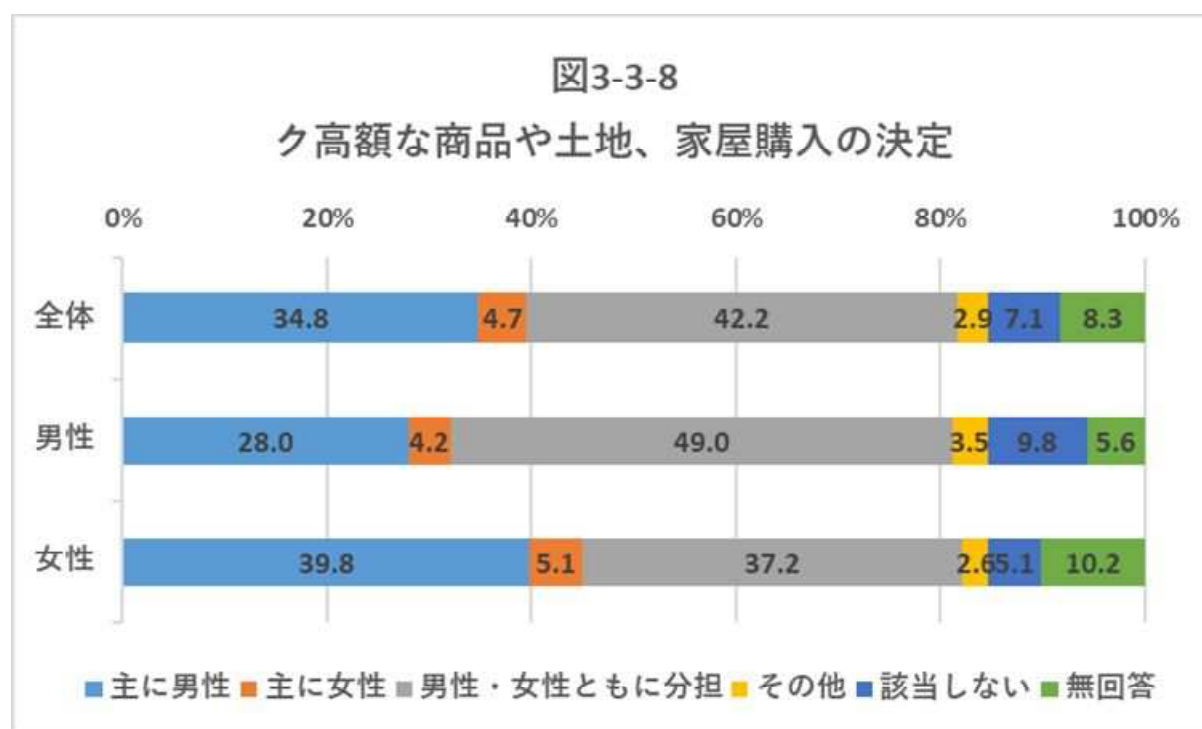
男女別でも、「主に男性」が男性で55.9%、女性で53.6%となっている。(図3-3-6)

キ 家計の管理



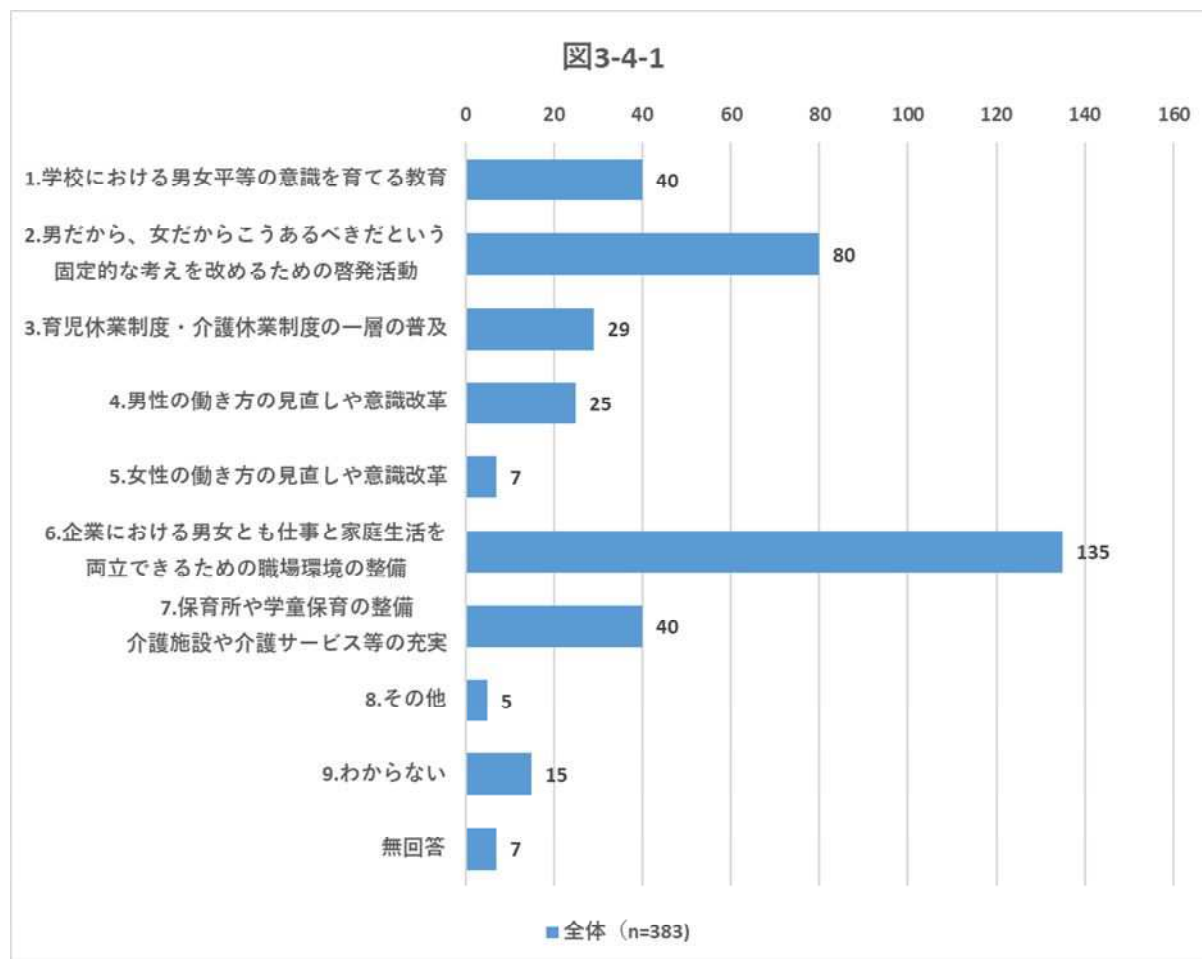
全体では、「主に女性」が 52.2%、次いで「男性・女性ともに分担」が 18.6%となっている。男女別でも、「主に女性」が男性で 45.5%、女性で 57.1%となっている。（図 3-3-7）

ク 高額な商品や土地、家屋の購入の決定



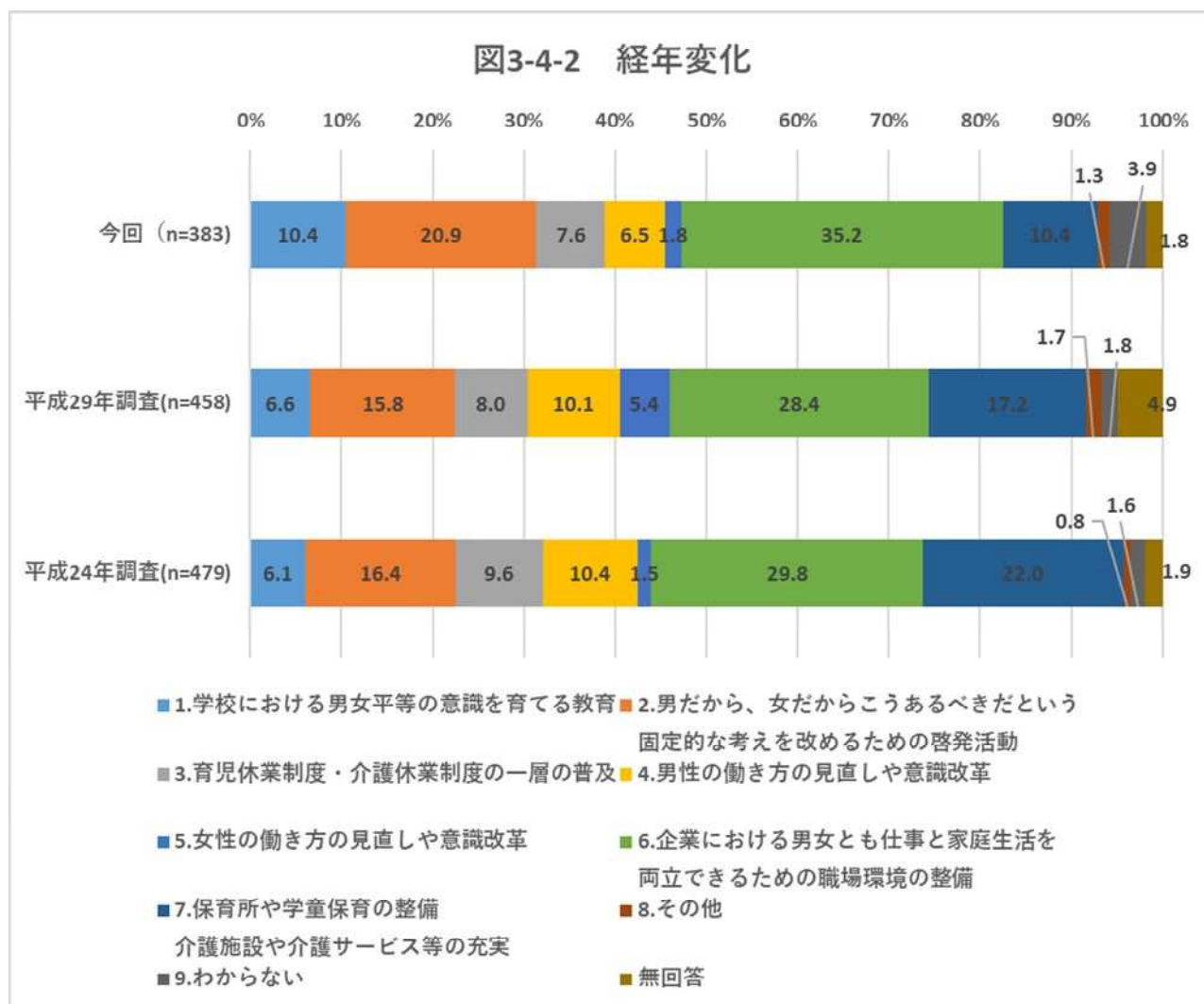
全体では、「男性・女性ともに分担」が42.2%、次いで「主に男性」が34.8%となっている。男女別でも、「男性・女性ともに分担」が男性で49.0%、女性で37.2%となっている。(図 3-3-8)

問 14 あなたは、男女が家事・育児・介護をともに分担していくために、何が必要だと思いますか。(数字を1つ)



全体では、「企業における男女とも仕事と家庭生活を両立できるための職場環境の整備」が最も高くなっている。

次いで「男だから、女だからこうあるべきだという固定的な考えを改めるための啓発活動」が高くなっている。(図 3-4-1)

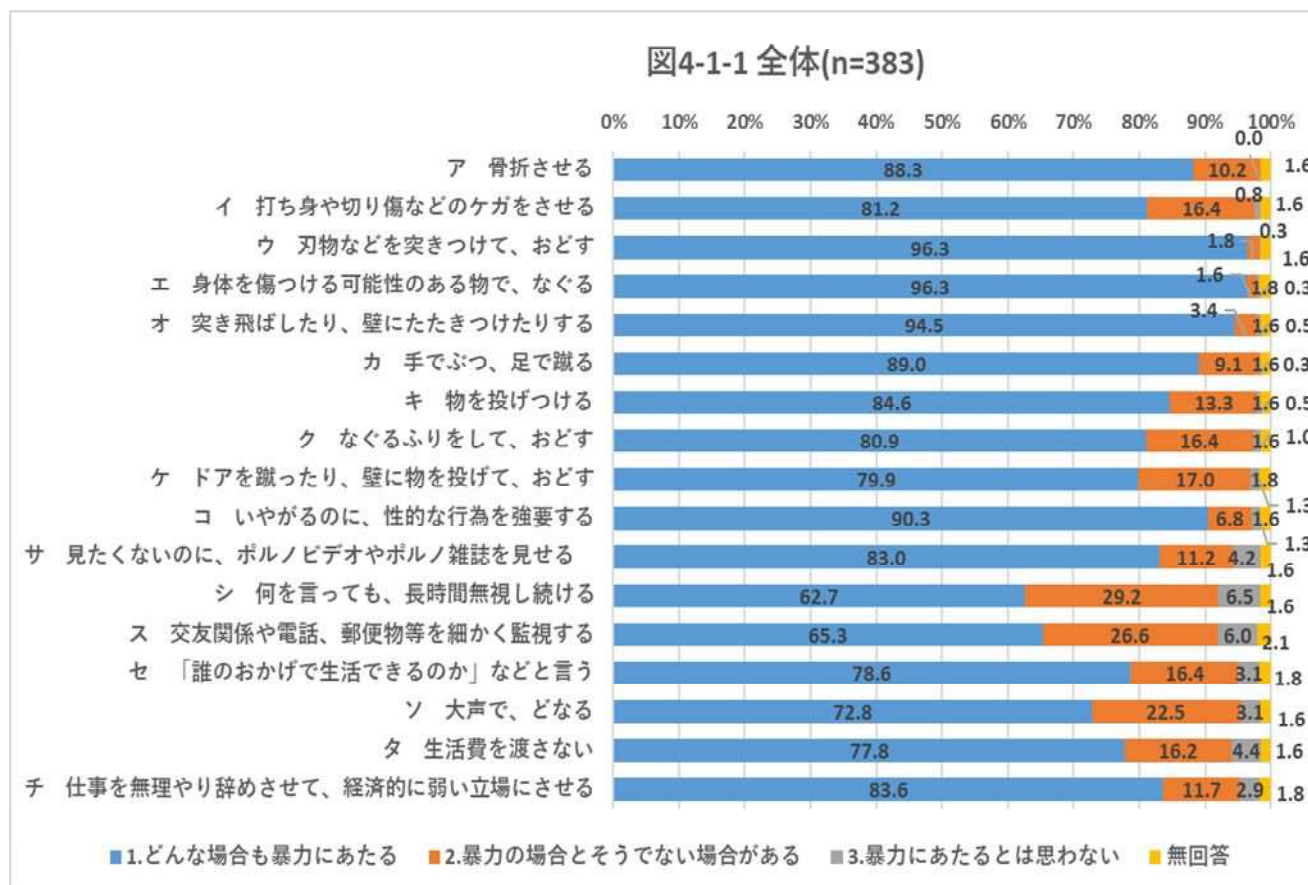


【経年変化】

「企業における男女とも仕事と家庭生活を両立できるための職場環境の整備」はどの調査年も最も高くなっている。今回調査で「男だから、女だからこうあるべきだという固定的な考えを改めるための啓発活動」が20.9%と高くなっている。(図3-4-2)

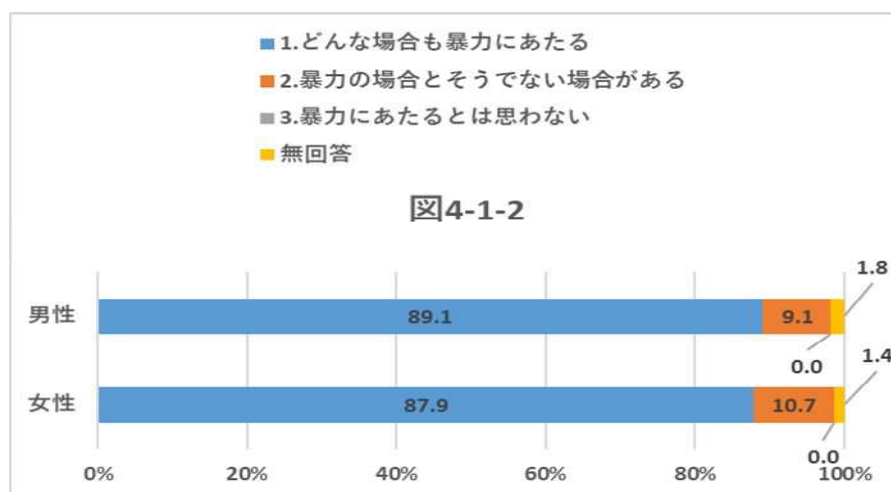
(4) 配偶者等からの暴力について

問 15 次のようなことが配偶者（事実婚や別居中を含む）やパートナーの間で行われた場合、それを暴力であると思いますか。（ア～チそれぞれ、あてはまる数字を1つ）

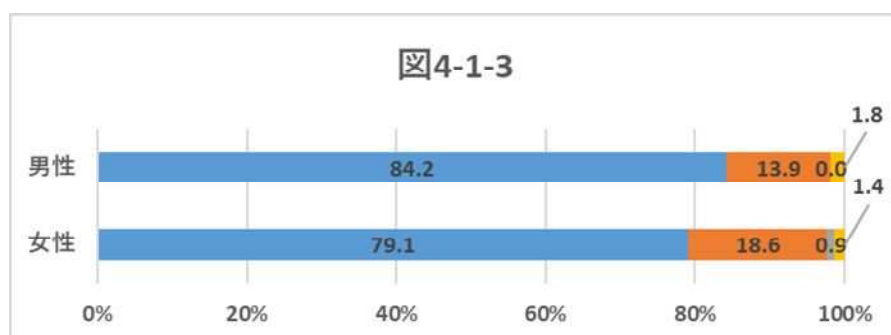


全体では、「どんな場合でも暴力にあたる」が9割を超えているのは、【刃物などを突きつけて、おどす】【身体を傷つける可能性のあるもので、なぐる】が96.3%、次いで【突き飛ばしたり、壁にたたきつけたりする】が94.5%、【いやがるのに、性的な行為を強要する】が90.3%である。8割を超えているのは、【手でぶつ、足で蹴る】で89.0%、【骨折させる】が88.3%、次いで【物を投げつける】が84.6%、【仕事を無理やり辞めさせて、経済的に弱い立場にさせる】が83.6%、【見たくないのに、ポルノビデオやポルノ雑誌を見せる】が83.0%、【打ち身や切り傷などのケガをさせる】が81.2%、【なぐるふりをして、おどす】80.9%である。（図4-1-1）

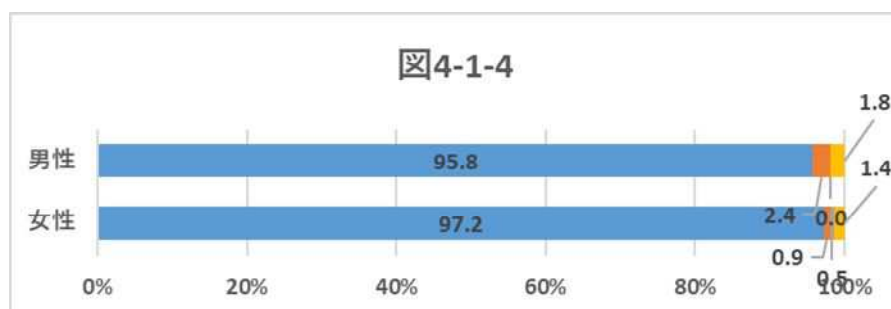
ア
骨折させる



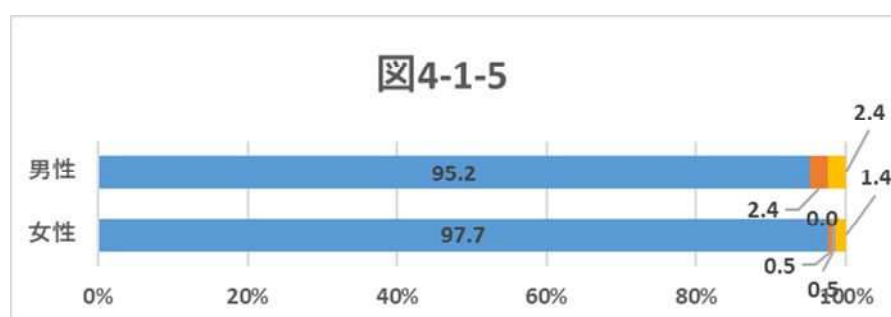
イ
打ち身や切り傷などのケガをさせる



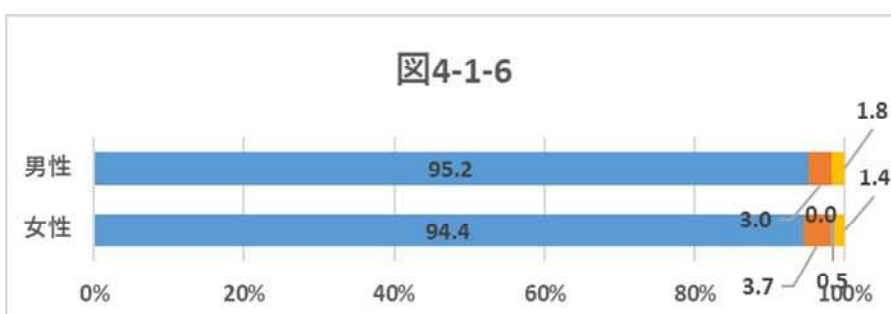
ウ
刃物などを突きつけて、おどす



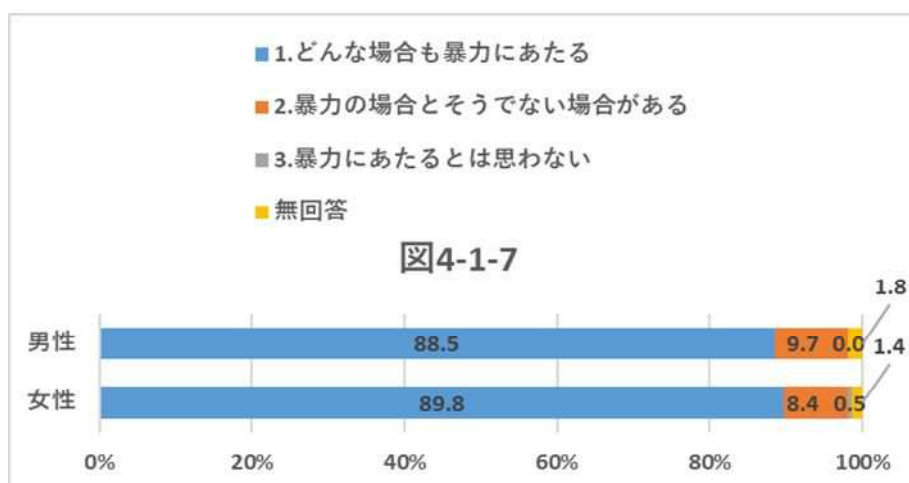
エ
工 身体を傷つける可能性のある物で、なぐる



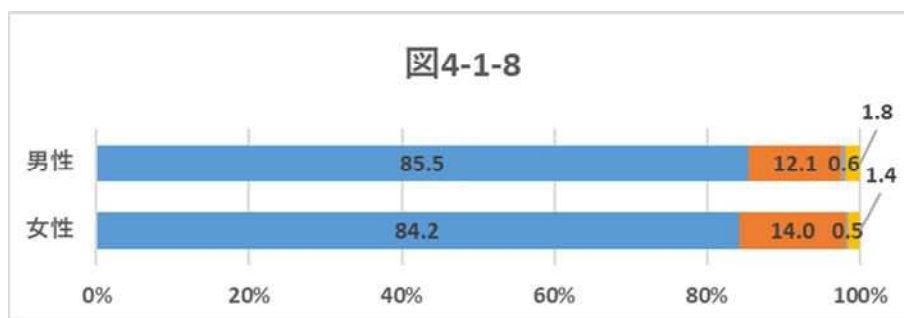
オ
突き飛ばしたり、壁にたたきつけたりする



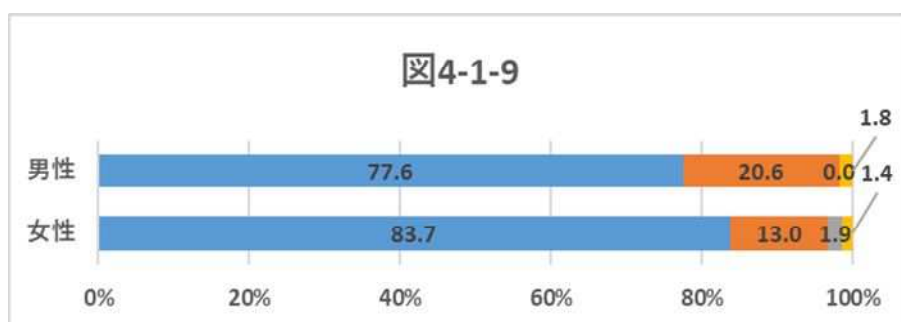
力
手でぶつ、足
で蹴る



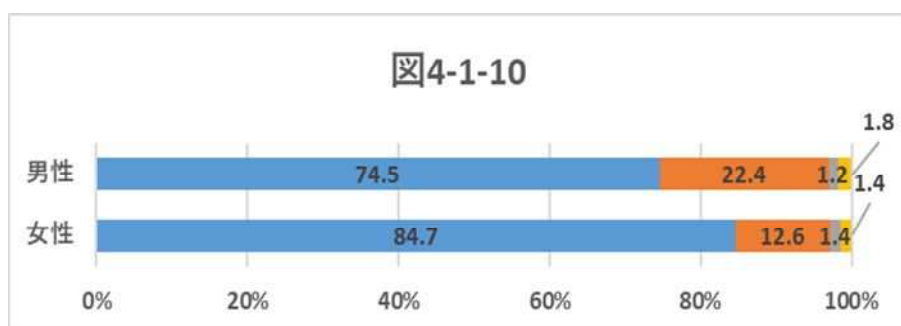
キ
物を投げつける



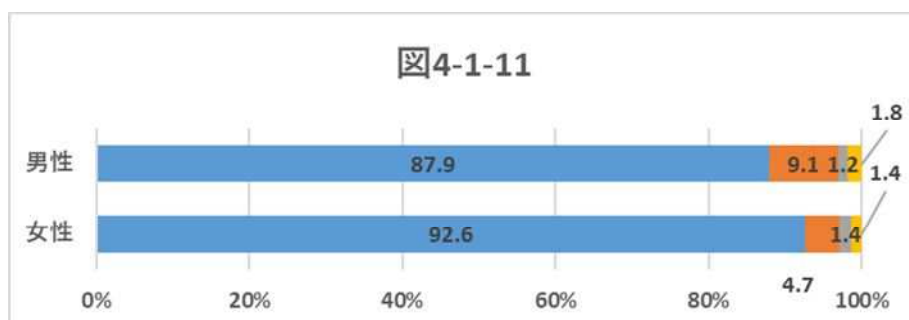
ク
なぐるふりを
して、おどす



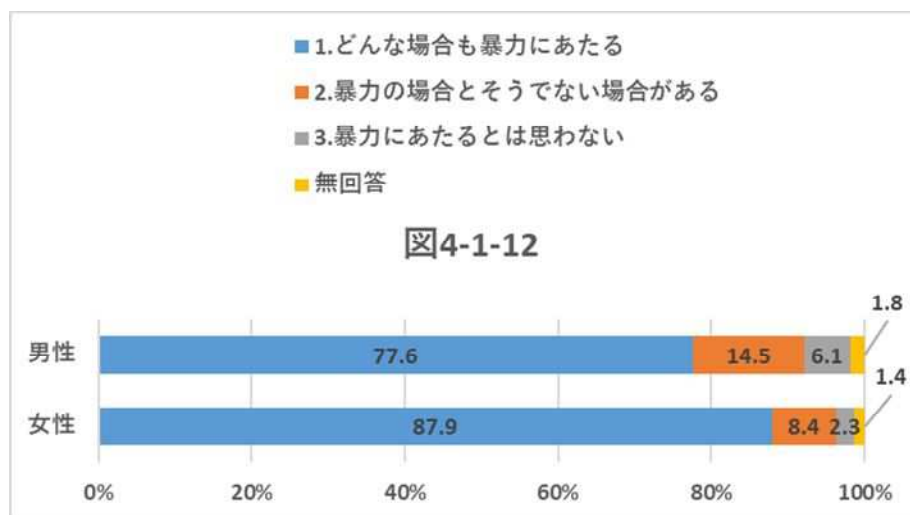
ケ
ドアを蹴ったり、
壁に物を投げて、
おどす



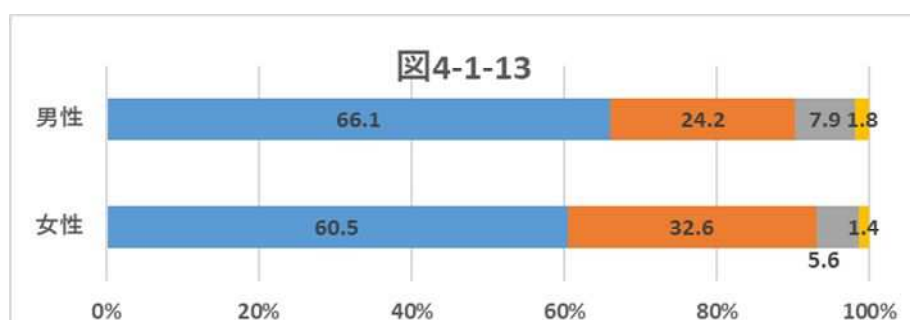
コ
いやがるのに、
性的な行為を強要
する



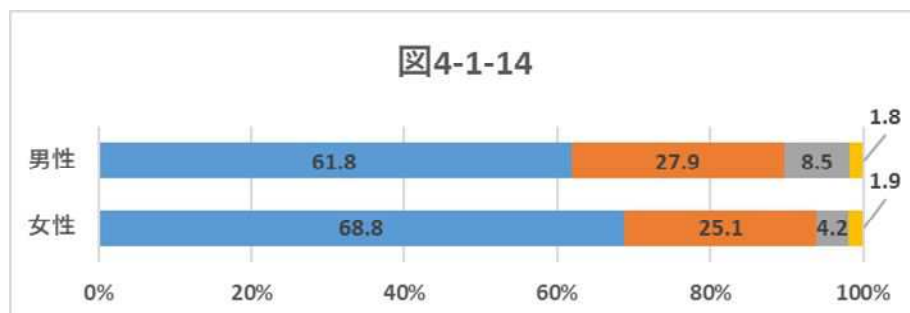
サ
見たくないのに、
ポルノビデオやポ
ルノ雑誌を見せる



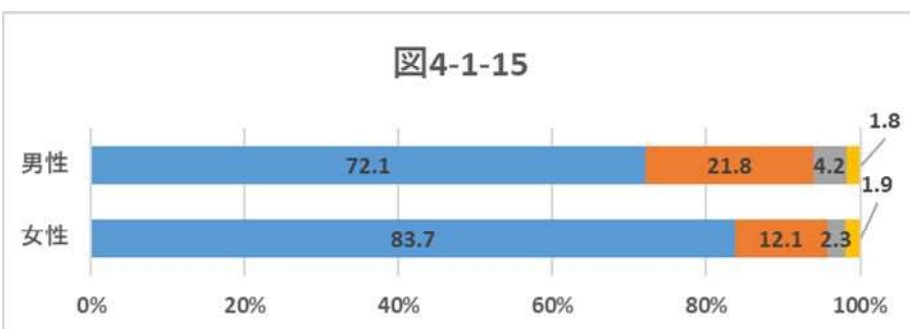
シ
何を言っても、
長時間無視し続ける



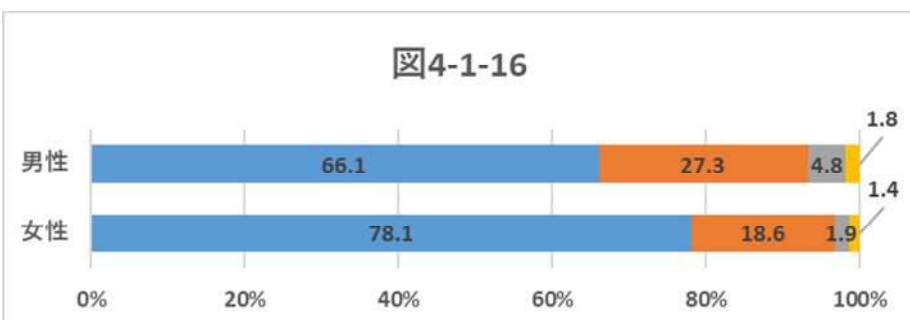
ス
交友関係や電話、
郵便物等を細かく
監視する



セ「誰のおかげで
生活できるのか」
などと言う

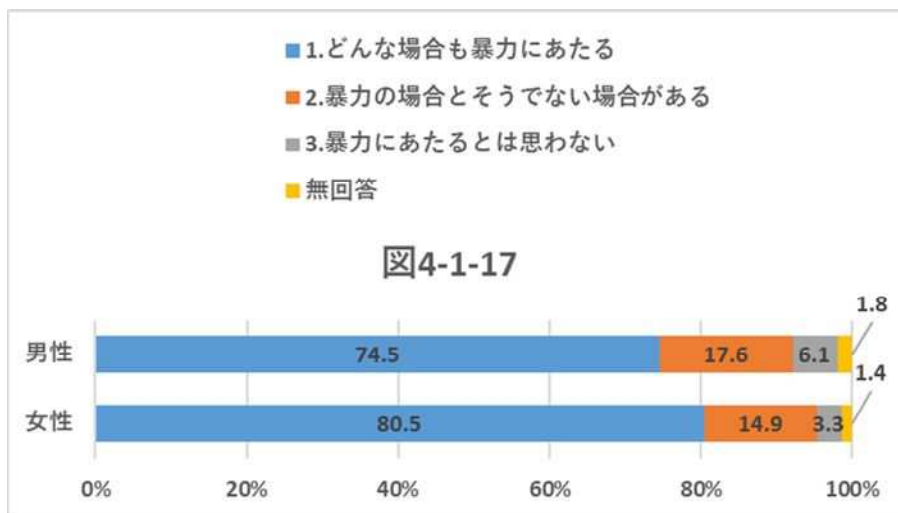


ソ
大声で、どなる



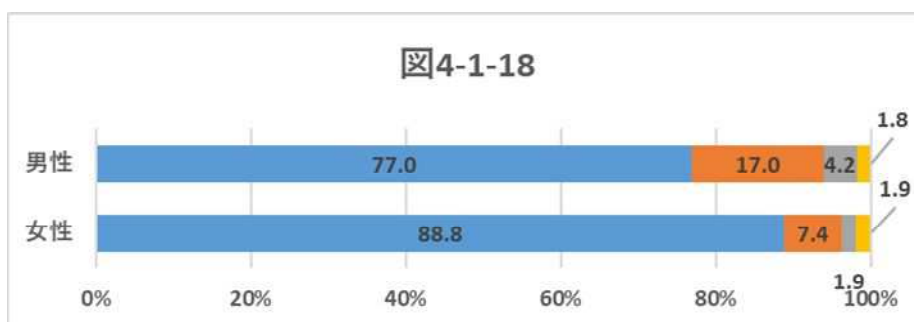
タ 生活費を渡さない

図4-1-17

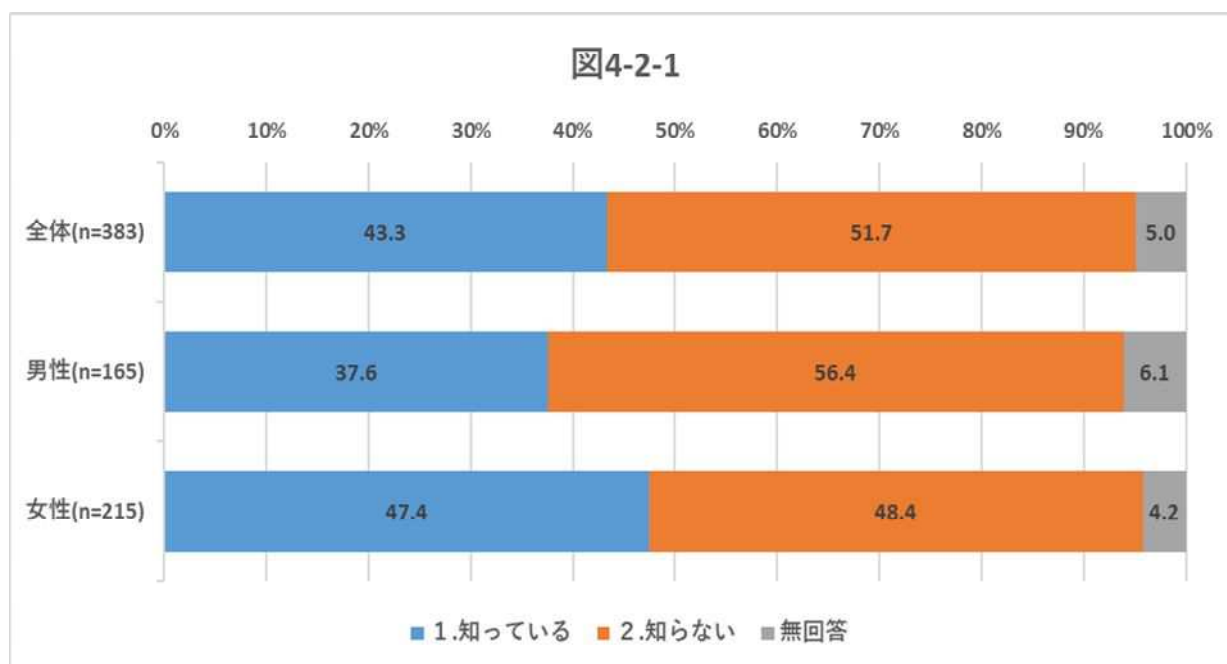


チ 仕事を無理やり辞めさせて、経済的に弱い立場にさせる

図4-1-18

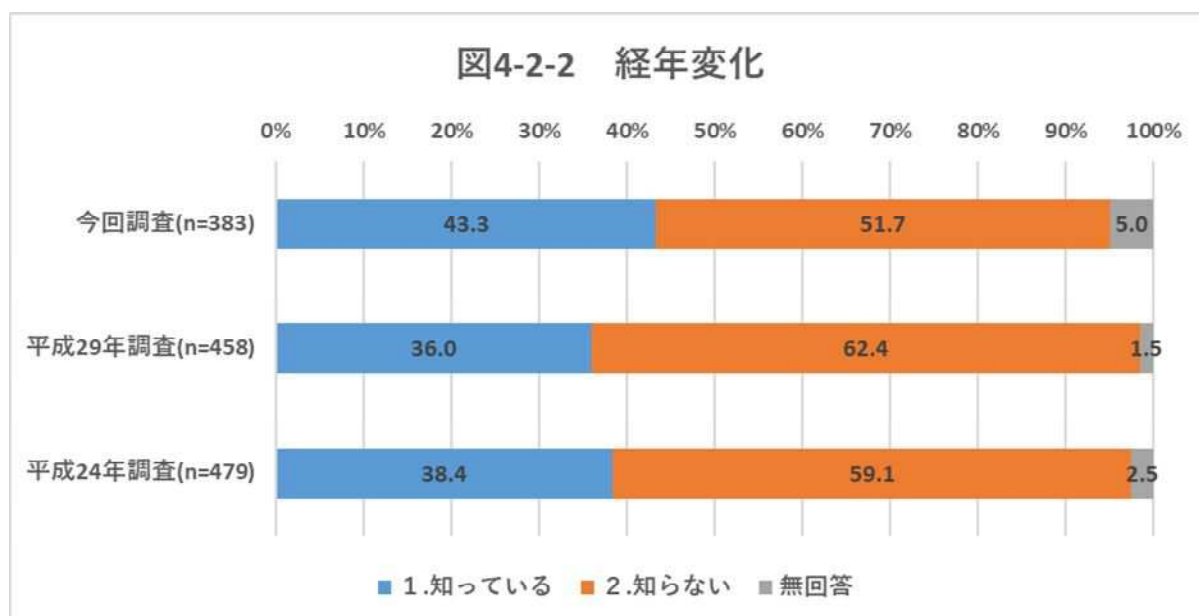


問 16 あなたは、配偶者等からの暴力について相談できる窓口を知っていますか。
(数字を1つ)



全体では、「知らない」が 51.7%となっており、「知っている」の 43.3%を上回っている。

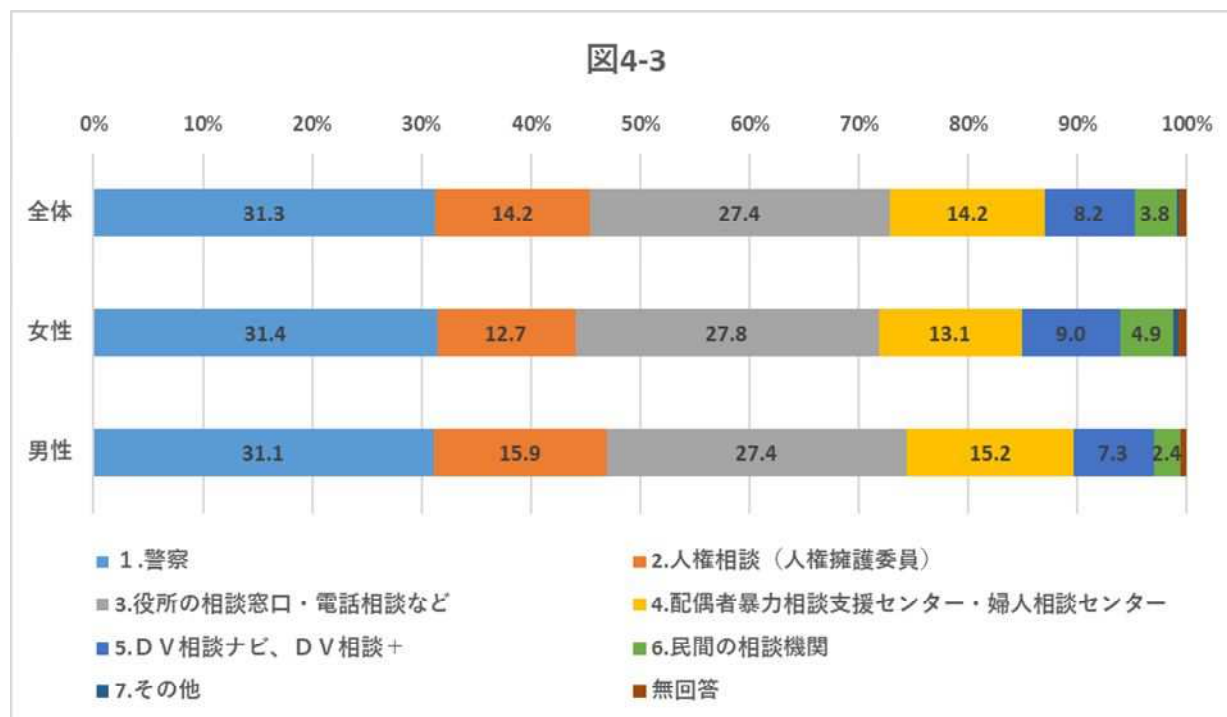
男女別にみると、「知っている」は女性が 47.4%、男性が 37.6%で、女性が男性を上回っている。(図 4-2)



【経年変化】

「知っている」が今回調査で 43.3%、相談窓口についての周知がされてきていることがわかる。

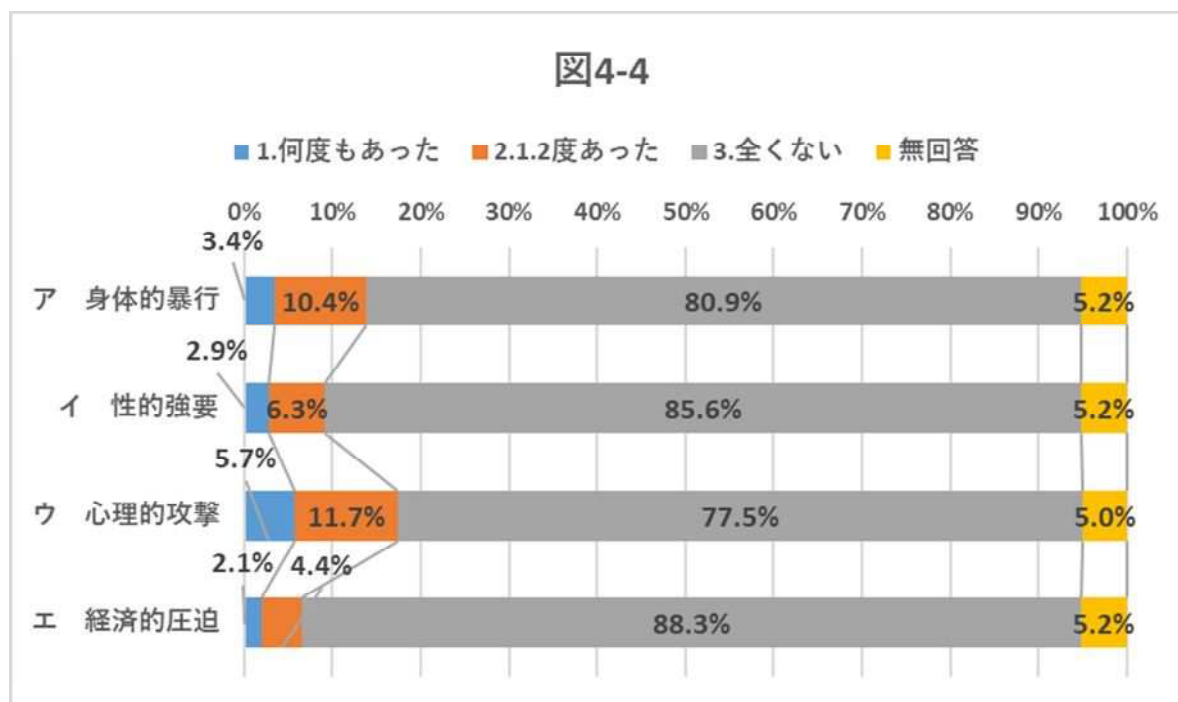
問 17 あなたが知っている「配偶者等からの暴力について相談できる窓口」はどれですか。（あてはまる数字すべて）



全体、男女別ともに「警察」が全体で 31.3%、女性で 31.4%、男性で 31.1%と高くなっている。次いで「役所の相談窓口・電話相談など」が全体で 27.4%、女性で 27.8%、男性で 27.4%となっている。

（図 4-3）

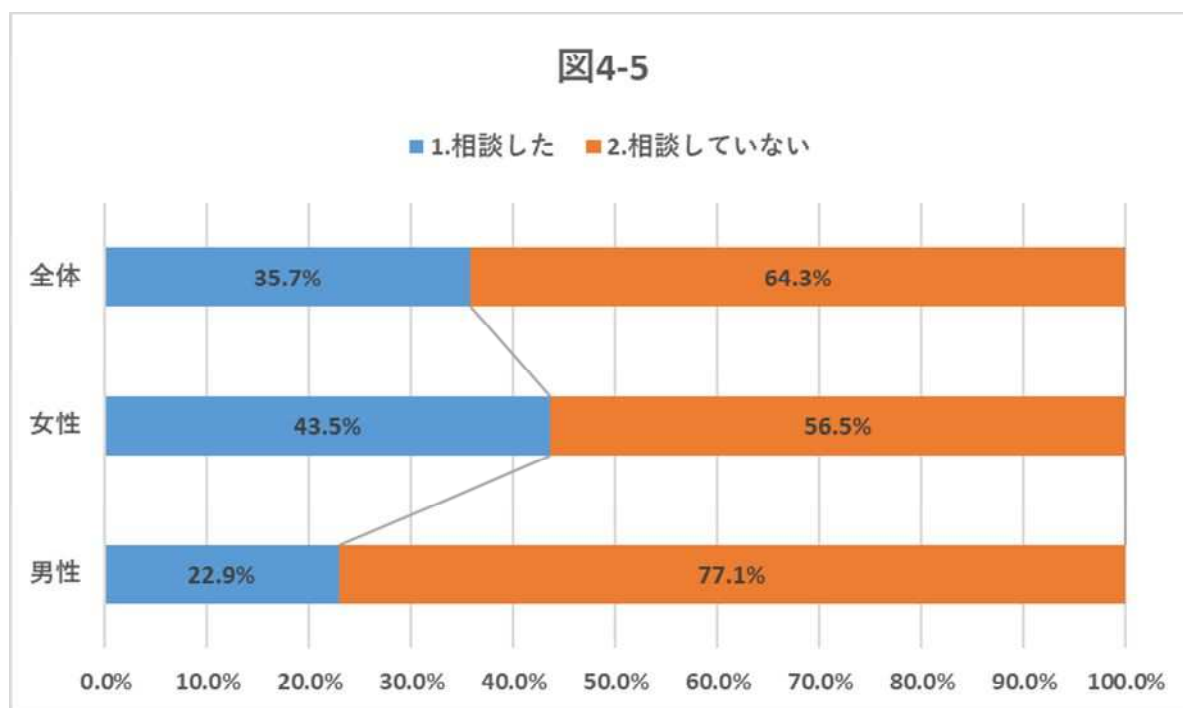
問 18 あなたは、これまでに配偶者（事実婚や別居中を含む）やパートナーから、次のような行為をされたことがありますか。（ア～エそれぞれ、あてはまる数字1つ）



「全くない」が7割以上となっている。次いで「何度もあった」「1、2度あった」とともに「心理的攻撃」「身体的暴行」「性的強要」「経済的圧迫」の順で高くなっている。（図4-4）

【問 18 で「何度もあった」、「1、2 度あった」とお答えの方にうかがいます】

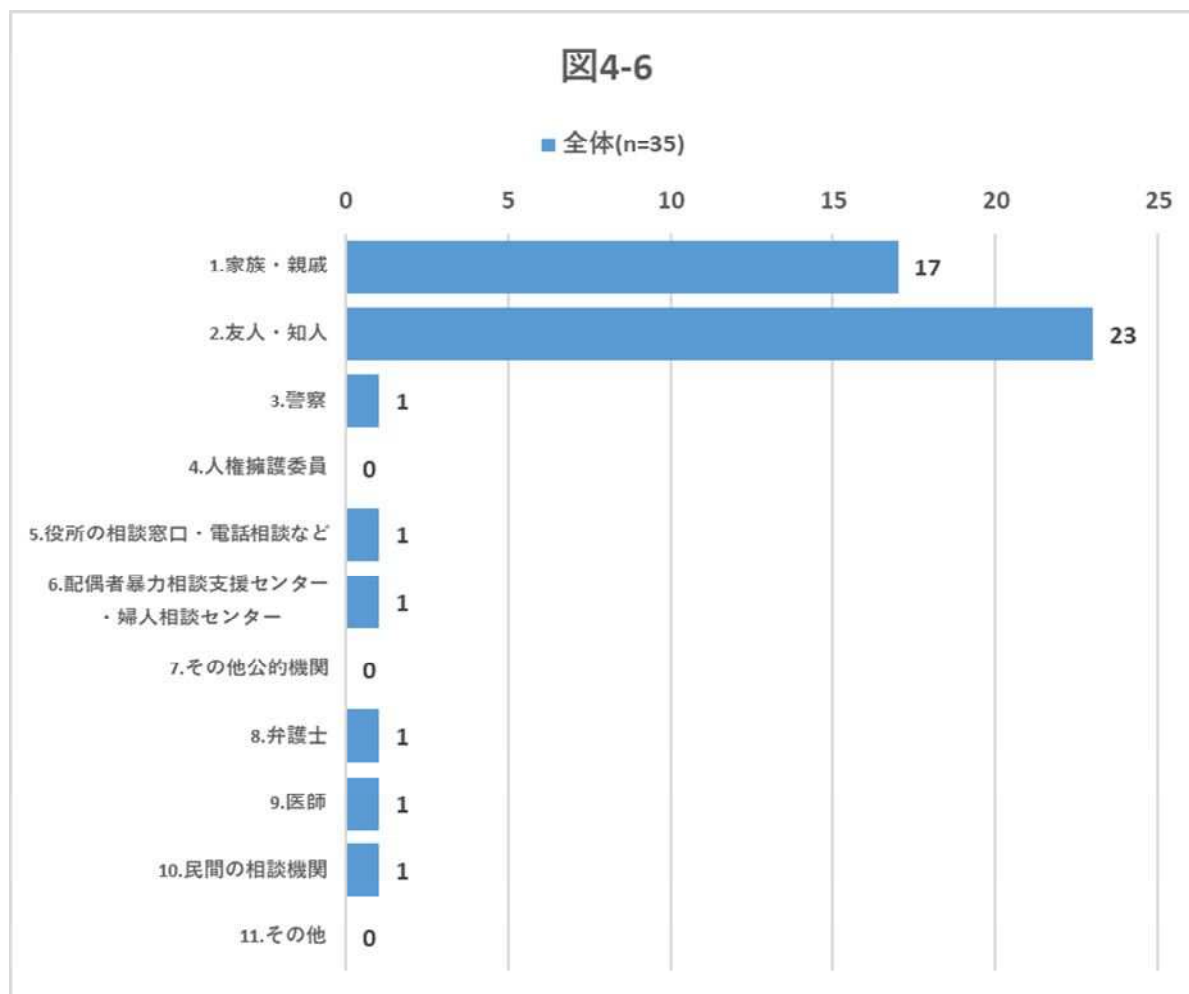
問 19 あなたは、その受けた行為について誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか。
(数字を 1 つ)



全体では、「相談していない」が 64.3%と高く、「相談した」は 35.7%となっている。
男女別にみると、「相談した」は男性が 22.9%、女性が 43.5%で女性が男性を上回っている。
(図 4-5)

【問 19 で「1. 相談した」とお答えの方にうかがいます】

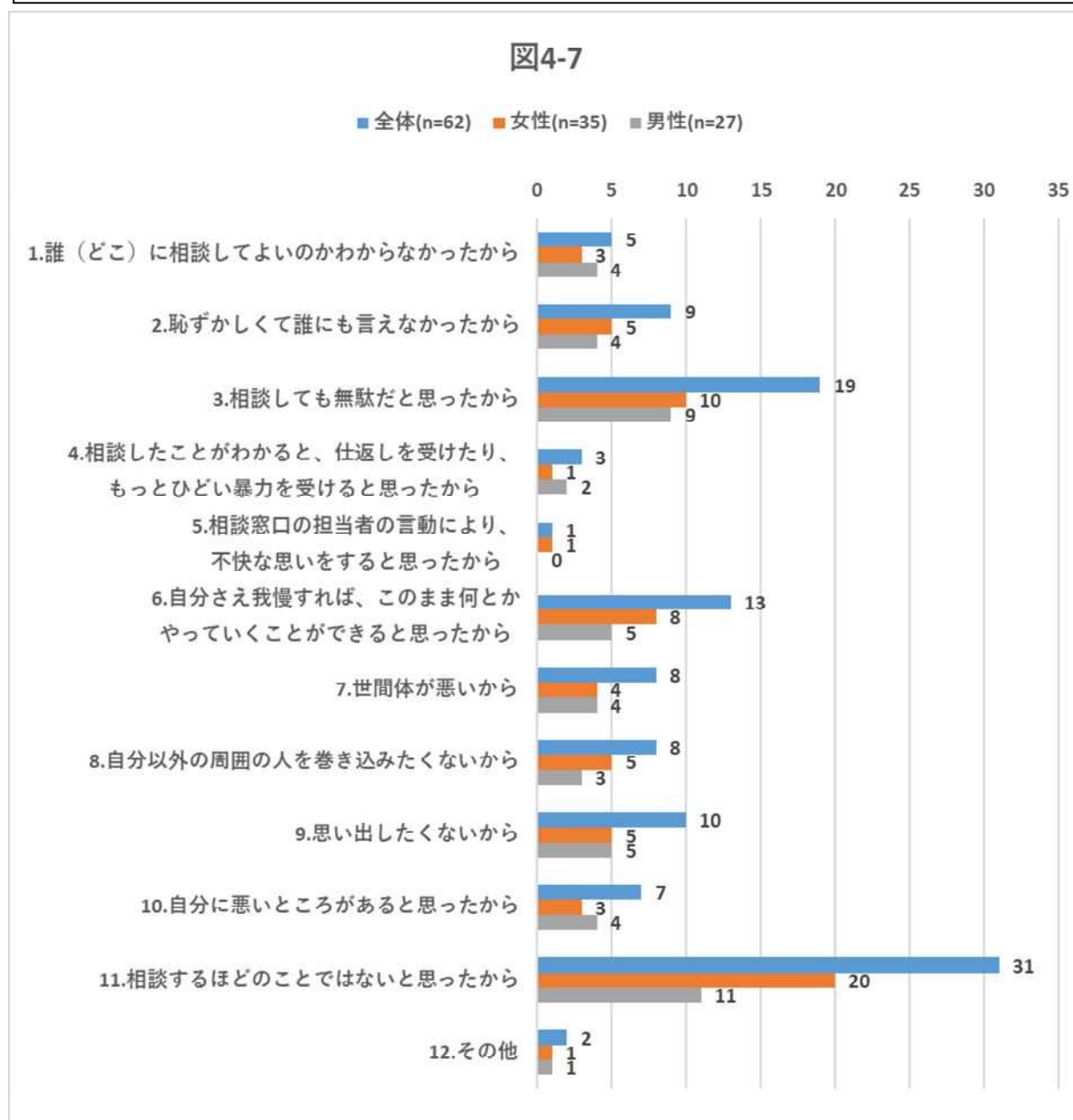
問 20 あなたが、相談した人（場所）を教えてください。（あてはまる数字すべて）



全体では、「友人・知人」が高く、次いで「家族・親戚」が高くなっている。（図 4-6）

【問 19 で「2. 相談していない」方にうかがいます】

問 21 あなたが、誰（どこ）にも相談していないのはなぜですか。（あてはまる数字すべて）

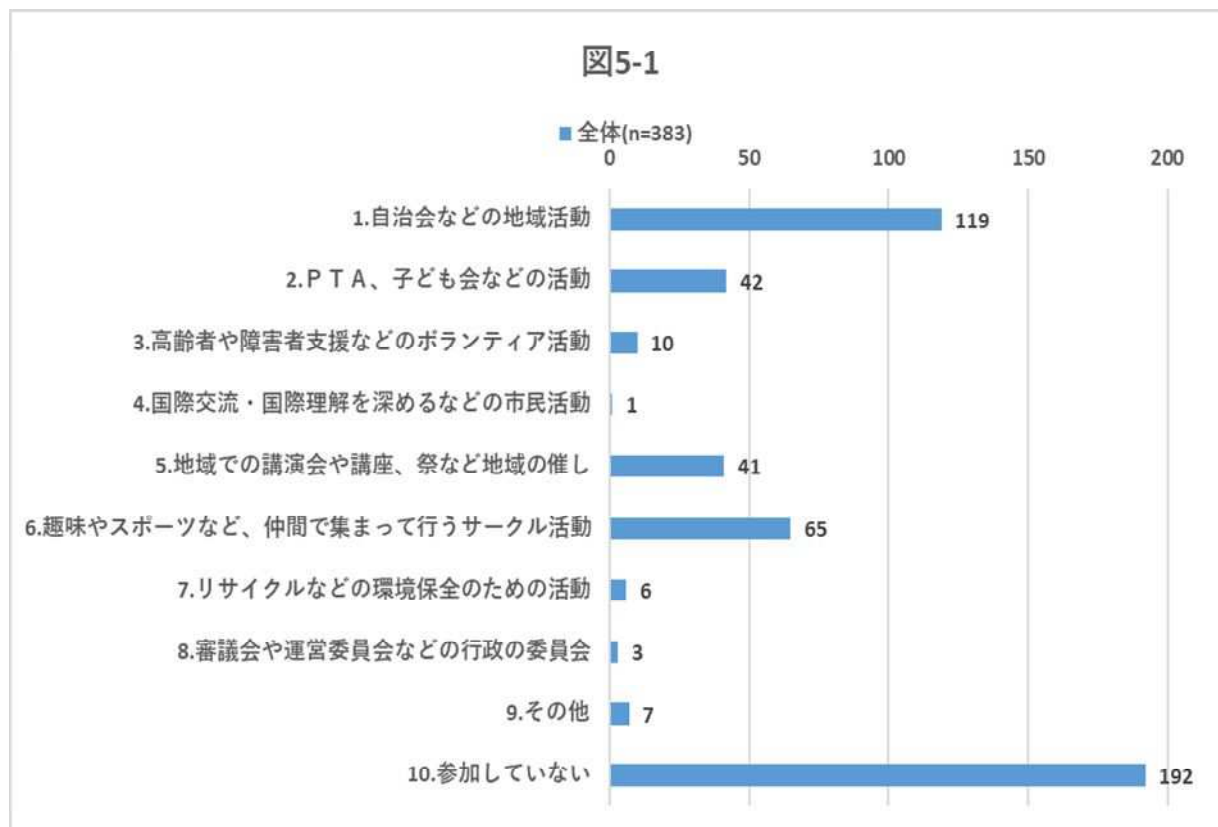


全体では、「相談するほどのことではないと思ったから」が高くなっている。

男女別でみると、男性は「相談するほどのことではないと思ったから」次いで「相談しても無駄だと思ったから」が続いている。女性は「相談するほどのことではないと思ったから」が高く、次いで「相談しても無駄だと思ったから」と「自分さえ我慢すれば、このまま何とかやっていくことができると思ったから」などが続いている。（図 4-7）

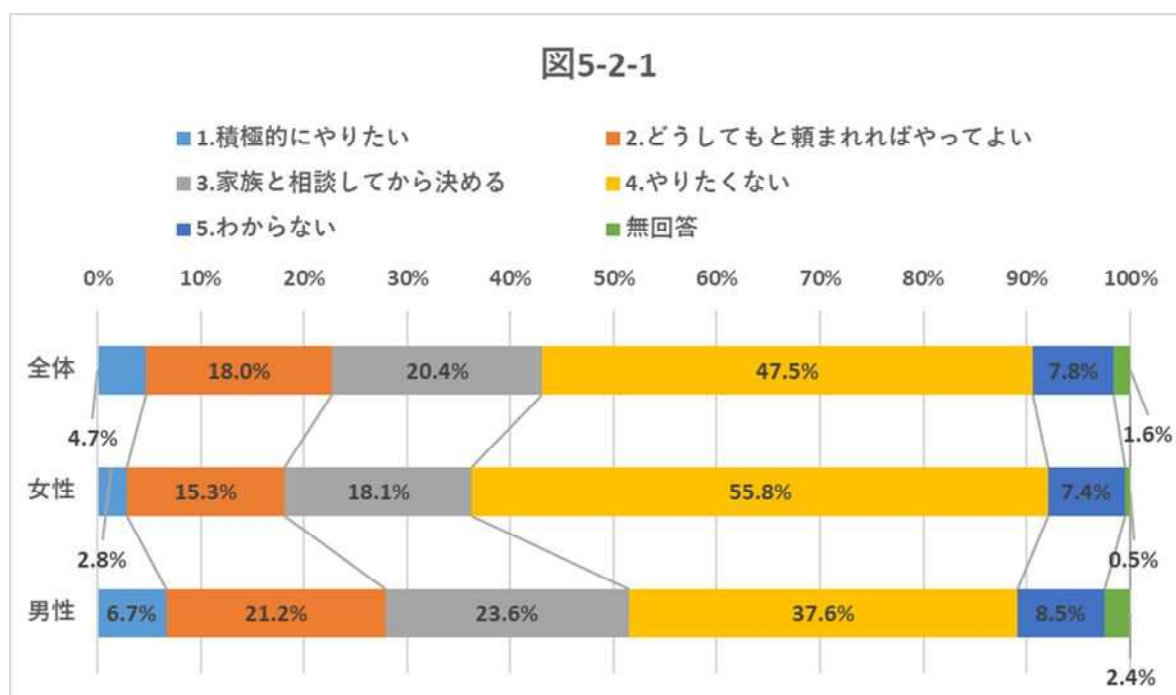
(5) 地域参加・社会参画について

問 22 あなたは現在、どのような活動に参加していますか。(あてはまる数字すべて)



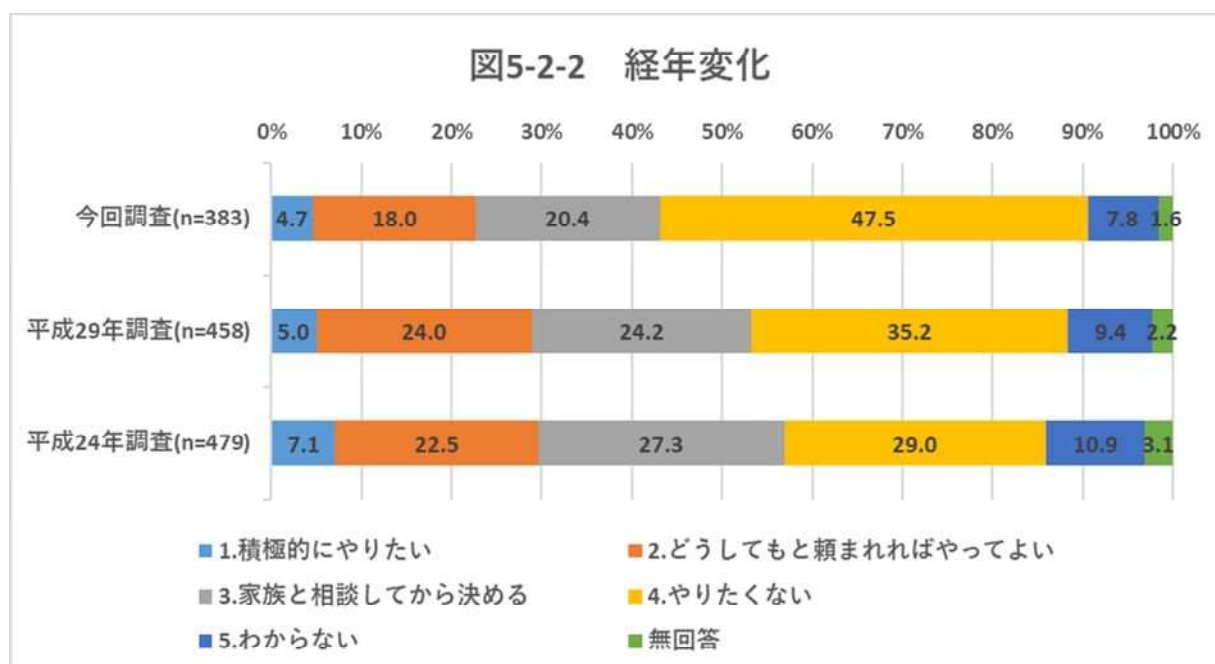
全体では、「参加していない」が高く、次いで「自治会などの地域活動」が高くなっている。(図5-1)

問 23 あなたが、町会・自治会やPTA等の代表に選ばれる機会があったらどうしますか。(数字を1つ)



全体では、「やりたくない」が47.5%、次いで「家族と相談してから決める」が20.4%と高くなっている。

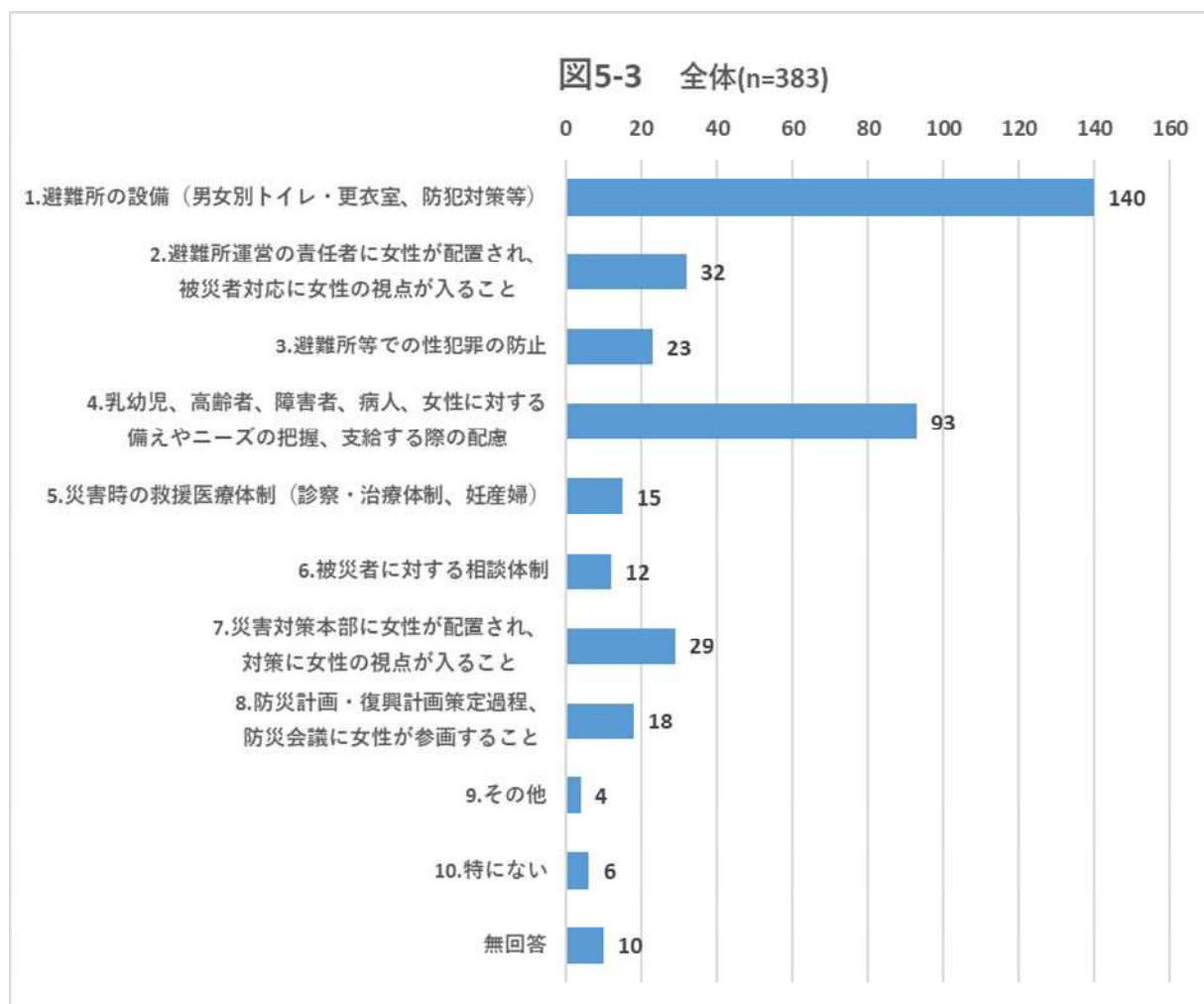
男女別にみると、男性は「やりたくない」が37.6%で最も高いが、「家族と相談してから決める」で23.6%、「どうしてもと頼まれればやってよい」で21.2%と20%を超えている。女性は「やりたくない」が半数以上(55.8%)と高くなっている。(図5-2)



【経年変化】

「やりたくない」が年々増加している。「家族に相談してから決める」は年々減少している。

問 24 防災・災害復興対策で、男女の性別に配慮して取り組む必要があると思うことは何ですか。（数字を1つ）



「避難所の設備（男女別トイレ・更衣室、防犯対策等）」が高くなっている。次いで「乳幼児、高齢者、障害者、病人、女性に対する備えやニーズの把握、支給する際の配慮」が高くなっている。「避難所運営の責任者に女性が配置され、被災者対応に女性の視点が入ること」「災害対策本部に女性が配置され、対策に女性の視点が入ること」「避難所等での性犯罪の防止」が続いている。（図 5-3）

(6) 新型コロナウイルス感染症の影響について

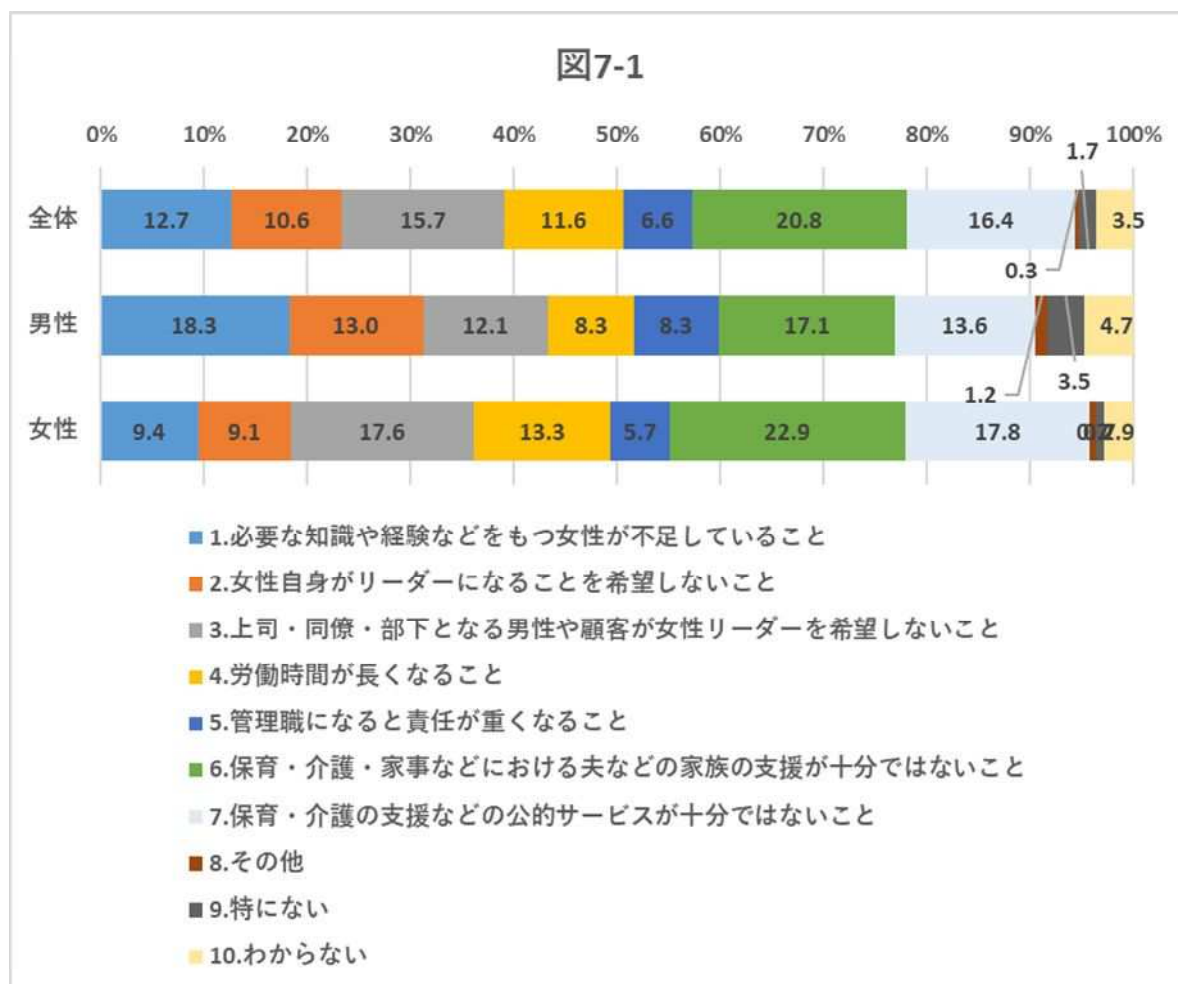
問 25 新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響で、あなたの生活や行動に変化がありましたか。(あてはまる数字すべて)



全体では、「友人などに会えなくなった」が高く、次いで「やりたいことができなくなった」が高くなっている。「子どもを叱ることが増えた」「ささいなことで配偶者・パートナーとケンカをするようになった」「配偶者・パートナーからDV・ハラスメントを受けるようになった」も数としては高くなっていないが、無視できない結果となっている。(図 6-1)

(7) 男女共同参画を推進するための取り組みについて

問 26 あなたが、政治・経済・地域などの各分野で、女性の参画が進み、女性のリーダーを増やすときに障害となるものは何だと思いますか。(あてはまる数字すべて)

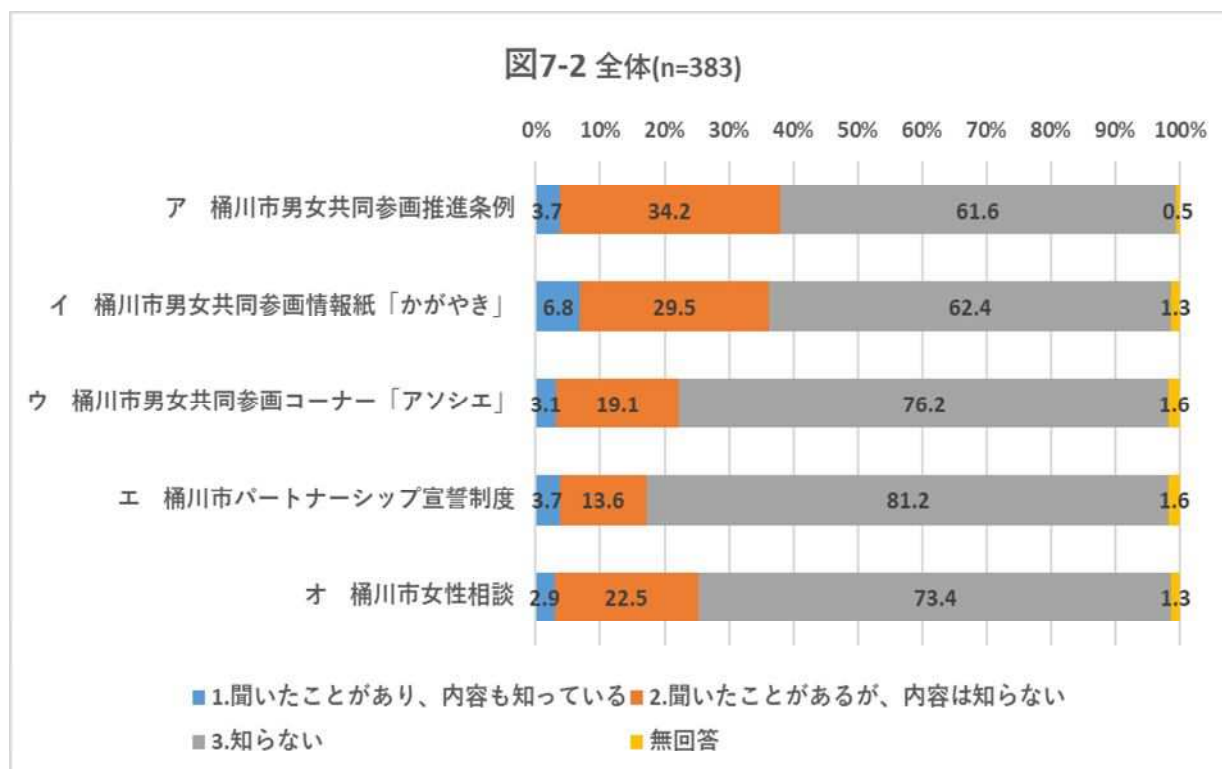


「必要な知識や経験などをもつ女性が不足していること」については、男性で 18.3%、女性で 9.4%、となっていて、男性が女性より 8.9%高くなっている。

「必要な知識や経験などをもつ女性が不足していること」(男性 18.3%、女性 9.4%)、「女性自身がリーダーになることを希望しないこと」(男性 13.0%、女性 9.1%)、「管理職になると責任が重くなること」(男性 8.3%、女性 5.7%) と考えるのは、女性より男性の方が高くなっている。

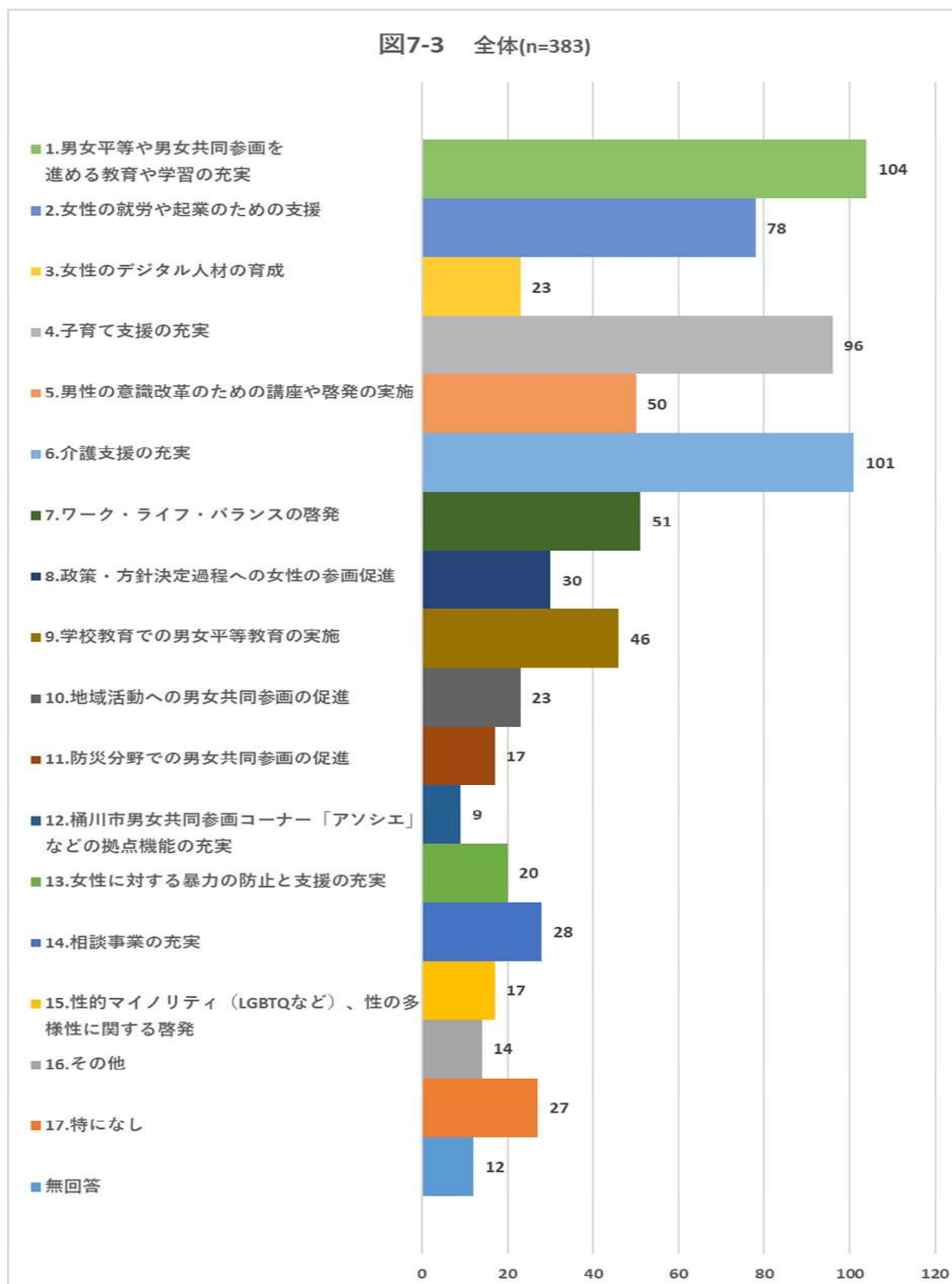
女性では、「上司・同僚・部下となる男性や顧客が女性リーダーを希望しないこと」が 17.6%、「保育・介護・家事などにおける夫などの家族の支援が十分ではないこと」が 22.9%、「保育・介護の支援などの公的サービスが十分ではないこと」が 17.8%、男性より高くなっている。(図 7-1)

問 27 男女共同参画に関する市の施策などについて、ご存知ですか。
(ア～オそれぞれ、あてはまる数字を1つ)



全体では、どの項目も「知らない」が高くなっている。「桶川市パートナーシップ宣誓制度」を知らない割合が最も高くなっている。(図 7-2)

問 28 市では、男女共同参画社会の実現を目指して、さまざまな施策を実施していますが、今後はどのようなことに力を入れていくのがよいと思いますか。(数字を2つ)



全体では、「男女平等や男女共同参画を進める教育や学習の充実」「介護支援の充実」「子育て支援の充実」「女性の就労や起業のための支援」の順に高くなっている。(図 7-3)

Ⅲ 記述部分と意見、要望等

Ⅲ 記述部分と意見・要望等

各設問における記述部分及び意見・要望等についての記述については、以下のとおり様々な意見をいただきました。

問 4 問 4 あなたは性的マイノリティ（L G B T Q※¹など）に対する差別的な言動を、次の場所で見聞きしたことがありますか。（あてはまる数字すべて）

男性

- ・親 ＜ 5 0 歳代＞
- ・ジェンダー担当者から教育 ＜ 7 0 歳代＞

問 5 あなたは性的マイノリティ（L G B T Qなど）に対する理解の促進や支援にはどのようなものが必要であると思いますか。（あてはまる数字すべて）

男性

- ・親族法との件で、相続等 ＜ 8 0 歳代以上＞
- ・個人の感性の向上 ＜ 5 0 歳代＞

女性

- ・性にとらわれず”人”を理解する。受け入れるための道徳や文化を培うこと。 ＜ 4 0 歳代＞
- ・性的に限らずあらゆるマイノリティに対する偏見からくる差別は認めないが、法的に公認するのは疑問。少子化問題へのカベになりそう。 ＜ 5 0 歳代＞
- ・日本にはもともとそのような差別はない。 ＜ 6 0 歳代＞

問 8 女性の働き方について、あなたが望ましいと思うものはどれですか。（それぞれ、あてはまる番号を1つ）

望ましいのは

男性

- ・本人の望みどうり ＜ 5 0 歳代＞
- ・個人のペースに合わせれば良い ＜ 5 0 歳代＞
- ・女性に聞いてみる ＜ 6 0 歳代＞
- ・個人の考えでよいと思う。 ＜ 6 0 歳代＞

女性

- ・本人の希望が通る働き方 ＜ 5 0 歳代＞
- ・仕事をあきらめないで良い社会 ＜ 7 0 歳代＞
- ・人それぞれ ＜ 3 0 歳代＞
- ・可能な範囲でずっと仕事を続ける ＜ 1 0 ・ 2 0 代＞

- ・働きたい人はずっと働ける。家庭を優先したい人が収入で困らないようであれば、働かなくても大丈夫な世帯収入が望ましい。 < 30歳代 >
- ・子供ができたらずパートで手がかからなくなったら正社員で仕事をする。 < 60歳代 >
- ・それぞれの家庭状況によって違いがあるので決められない。 < 50歳代 >
- ・当事者が望む形で働ける事が出来るようになればよい。 < 30歳代 >

現状は

男性

- ・妻にきいてみる < 60歳代 >

女性

- ・結婚、出産、仕事、介護終了 < 70歳代 >
- ・年金生活で仕事はしていない。子供たちは独立している。 < 60歳代 >
- ・共に無職 < 70歳代 >
- ・退職後仕事はしていない < 40歳代 >
- ・仕事が見つからない < 60歳代 >
- ・結婚するまで仕事を続け、子供が2歳と4歳の時に仕事再開。 < 40歳代 >
- ・パートだったので妊娠して退職。その後仕事はしたいが専業主婦のまま。 < 30歳代 >

問 10 男性が「育児休業制度」を利用することについて反対する理由は何ですか。
(数字を1つ)

女性

- ・まだ意識環境が整っていない < 50歳代 >
- ・休業取得したから、協力的に育児や奥さんのサポートをしてくれるとは限らない。 < 40歳代 >

問 11 家庭における男女の役割分担について、あなたの希望・理想に最も近いものはどれですか。(数字を1つ)

男性

- ・その時に一番いい方法にする < 50歳代 >

女性

- ・本人の希望する働き方 < 50歳代 >
- ・男女ともに分担し、公的サービスや民間事業者を活用するところは活用する。 < 30歳代 >
- ・男女ともに働き、家事・育児・介護は男女ともに分担し、子的サービスや民間業者も活用する。 < 60歳代 >
- ・パートナーどちらかが働きどちらかが家・育・介に差し支えなく働く。 < 50歳代 >

問 12 現在結婚している方、パートナーと同居している方に伺います。あなたの現実（現状）に最も近いものはどれですか。（数字を1つ）

男性

- ・体調を崩し働けない < 50 歳代 >
- ・年金生活 < 70 歳代 >
- ・男女とも無職、家事等は分担 < 70 歳代 >
- ・高齢で職なし < 80 歳代 >

女性

- ・高齢のため < 80 歳代 >
- ・男性が働き、女性が家事をしている。 < 60 歳代 >
- ・年金生活、女性がパートアルバイトを < 70 歳代 >
- ・男女とも退職している。家事は分担、育児は終了、介護は民間業者活用中。 < 60 歳代 >

問 14 あなたは、男女が家事・育児・介護をともに分担していくために、何が必要だと思いますか。（数字を1つ）

男性

- ・男性給与の倍増 < 80 歳代 >

女性

- ・親が家事をやらなければならない < 40 歳代 >
- ・1～7 すべてだが、特に男性育休制度の推進 < 30 歳代 >
- ・1 つには絞れない < 50 歳代 >

問 17 あなたが知っている「配偶者等からの暴力について相談できる窓口」はどれですか。（あてはまる数字すべて）が重要だと思いますか。（○は2つまで）

男性

- ・人権擁護委員 < 80 歳代 >

問 20 あなたが、相談した人（場所）を教えてください。（あてはまる数字すべて）

※その他欄に記述はありません

問 21 あなたが、誰（どこ）にも相談していないのはなぜですか。（あてはまる数字すべて）

男性

- ・1～2 度の回数だった（感情的） < 6 0 歳代 >

問 22 あなたは現在、どのような活動に参加していますか。（あてはまる数字すべて）

男性

- ・お寺の行事 < 6 0 歳代 >

女性

- ・部活動指導、地域団体役員 < 6 0 歳代 >
- ・自分の職種「医療保険系」団体の活動 < 7 0 歳代 >
- ・1 年間町内の班長をしている。人とのかかわりが上手ではない。 < 5 0 歳代 >

問 24 防災・災害復興対策で、男女の性別に配慮して取り組む必要があると思うことは何ですか。（数字を 1 つ）

男性

- ・1～8 全て必要 < 4 0 歳代 >

女性

- ・LGBTQ+に理解のある人を対策本部や相談窓口配置する。せっかく相談にきても、理解のない人であれば、担当が女性でも男性でも意味がないから。 < 3 0 歳代 >
- ・全て < 5 0 歳代 >

問 25 新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響で、あなたの生活や行動に変化がありましたか。（あてはまる数字すべて）

男性

- ・支出が増えた < 6 0 歳代 >
- ・会社の業績が下がった < 4 0 歳代 >
- ・外出が少なくなり、すっかり出不精になった < 8 0 歳代 >
- ・テレワークになり、生活にゆとりができた < 4 0 歳代 >
- ・解雇 < 4 0 歳代 >

女性

- ・実家へ行けなくなった。 < 5 0 歳代 >
- ・収入が減った < 5 0 歳代・6 0 歳代 >

- ・運動不足になった。 < 30 歳代 >
- ・職場が休業となり、別の系列の職場へヘルプへ行った。 < 30 歳代 >
- ・家族との時間が増えた < 40 歳代 >
- ・デジタルが進んでいる、追いつかなくてしんどくなる、世の中ゆっくりの人はダメなのかなあ。 < 50 歳代 >
- ・給料が減って生活が苦しくなった。 < 30 歳代 >
- ・離れて暮らす家族に会えなくなった < 50 歳代 >
- ・仕事が激務になった < 50 歳代 >
- ・帰省出来なくなった < 50 歳代 >

問 26 あなたが、政治・経済・地域などの各分野で、女性の参画が進み、女性のリーダーを増やすときに障害となるものは何だと思いますか。(あてはまる数字すべて)

男性

- ・男性の嫉妬心 < 50 歳代 >
- ・社会の概念と構造 < 40 歳代 >
- ・教育を受けていない世代 < 40 歳代 >
- ・まだまだ女性が積極的でない < 80 歳代 >

女性

- ・リモートワークの進化 < 50 歳代 >
- ・男性からのセクハラ < 30 歳代 >
- ・女性管理職によるパワハラ防止の講習がないこと < 30 歳代 >
- ・子供より仕事優先になること < 10・20 歳代 >

問 28 市では、男女共同参画社会の実現を目指して、さまざまな施策を実施していますが、今後はどのようなことに力を入れていくのがよいと思いますか。(数字を2つ)

男性

- ・市は何もしなくて良い < 50 歳代 >

《自由回答》

桶川市の男女共同参画に関する施策について、ご意見やご要望等がございましたら、自由にご記入ください。

市の男女共同参画に関する施策について意見、要望を自由に記入していただいたところ、延べ 71 件の回答が寄せられました。意見や要望等について、下記の内容に分類して、掲載いたします。

内 容 分 類	件 数
男女平等意識・人権について	12
ワーク・ライフ・バランス（就業）について	9
家庭生活（育児・介護等）について	8
配偶者からの暴力について	2
地域参加・社会参画について	2
男女共同参画を推進するための取り組みについて	20
アンケートについて	10
その他	8
合 計	71

【男女平等意識・人権について】12件

- ・特に男女の差別意識は個人的にはないが、このようなアンケートを見ると世の中がまだ意識が変わっていないと感じる。
- ・人は違いがある。LGBTQ のように男女に分ける事が無理な事もある。全ての人がお互いを上でも下でも無い平等な人として尊重する社会であってほしい。
- ・男性にももっと補助してほしい。
- ・色々ありますが親が意識が変わり子供達の時代は男女 etc 区別なく普通の事になればと思っています。
- ・男女共同参画、知らないことばかり。これからもう少し意識をもって勉強していきます。
- ・性別、年齢、生まれに関係なく、何かの問題の時等、相手に自分の思いを的確に伝えられる事が大事と思います。
- ・女性が権利を主張すべきである
- ・私自身関心の薄さに考えさせられました。
- ・社会は男女平等を課題にしていますがその前に人として平等を考えてもらいたいです。

- ・長年生きてきた中では、特に不自由さは感じていません。これからの世の中を若い人々の考えで変えていって欲しい。
- ・男女が同様に育児休暇がとれ子育てできるのは、かなりの進歩前進である。日本はもともと差別的意識が少ない国です。ことさらキャンペーンを盛り上げず、実質的・地道に推進して欲しいです。
- ・男女に差など全くない。特別視することが間違っていると思います。男女共同参画ということにたくさんの人やお金や時間を費やすことより、もっと大切なことが山積していると思います。自分勝手な意見で申し訳ありません。

【ワーク・ライフ・バランス（就業）について】 9件

- ・働いている女性は、こうした市の条例などの制度があっても、参画は物理的・現実的に無理です。学校のPTAの活動ですら無理です。職場を離れて参画。不可能です。世界の後進国、日本です。先進国の国の形をだちに導入すること。
- ・男性も育児や家事に関われる様な働き方ができる様になるといいなと思います。
- ・現在74歳で働いておりますが、若い時はスポーツ大会等に参加しておりましたが、なかなか機会が無。エルダー・シニア等で働いて見たいと思います。
- ・男女同一賃金、非正規雇用をなくし安心して働ける賃金が得られること。労働時間の短縮で、家庭で家事労働等役割分担ができ、男女が協力して子育てできる環境を作り、求められる支援をすること。
- ・働きたい気持ちがあっても、保育所が少ない。人数に空きがあっても遠くでは通えない。保育所にかかるお金の分と、家庭のことをやりながらのパート等で稼げる額が同じくらいでは意味がない。（重複）
- ・男性の職場が、家庭の男女平等にもっと理解してほしい。
- ・家庭や子供優先の働き方をしたいが、パートタイムの仕事を探す際、子供を預ける事ができないと難しいです。ですが、求職での保育所入所は加点も低く、難しいのが現状です。そういった所の改善や短時間認定の時間をもう少し短くする事で働こうと思える女性も増えるとおもいます。物価上昇もあり、少しでもいいから働きたいと望む女性も多いのではないのでしょうか。
- ・まずは男女共同参画というよりも、性別関係なくマイノリティも関係なく、どの親も育児の責任を果たすことを社会が当たり前だと思えることが必要だと思う。会社の仕組みも仕事量の割り方、共有の仕方、誰が欠けても支え合えるシステムが必要だと社会全体が変わらないと介護も育児も仕事も抱えることになるこれからの働き盛りは心も身体ももたない。（重複）

【家庭生活（育児・介護等）について】 8件

- ・高齢（84歳）のため、関心が薄くなっている。老後や介護が心配。
- ・働きたい気持ちがあっても、保育所が少ない。人数に空きがあっても遠くでは通えない。保育所にかかるお金の分と、家庭のことをやりながらのパート等で稼げる額が同じくらいでは意味がない。（重複）
- ・男女平等とは名ばかり。家庭ではまだまだ夫の家事・育児意識が足りない。働いていれば偉いと思っている。女性の負担が増えるばかり。
- ・市内で勤めているが、男は掃除しなくてもいい、女がやるべきという風習がある。そういう

方面での不平等さも啓発してほしい。なぜ男は許されるのか。(重複)

- ・介護に関することを色々と知りたいです。
- ・まずは男女共同参画というよりも、性別関係なくマイノリティも関係なく、どの親も育児の責任を果たすことを社会が当たり前だと思えることが必要だと思う。会社の仕組みも仕事量の割り方、共有の仕方、誰が欠けても支え合えるシステムが必要だと社会全体が変わらないと介護も育児も仕事も抱えることになるこれからの働き盛りは心も身体ももたない。(重複)

【配偶者からの暴力について】 2 件

- ・現在の政策を徹底する事が大事。男性の女性に対する暴力はどんな理由があろうともいけない。絶対になくしたい
- ・男女共同参画とDVは別の問題だと思います。存じ上げていませんが同じ部署で扱っているのであれば無理があると思います。

【地域参加・社会参画について】 2 件

- ・学校や保育所の PTA の仕事は共働きには大変、そして、女性が実施することが主流になっている。男性も PTA の仕事のために会社を休んで欲しい。もしくは、PTA の仕事を親ではなく外部にしてほしい。
- ・自治会活動が負担に思います。みんながやりたがらないし私もやりたくありません。もっとスマホやネットを利用して簡潔化できないか考えています。
- ・学校や保育所の PTA の仕事は共働きには大変、そして、女性が実施することが主流になっている。男性も PTA の仕事のために会社を休んで欲しい。もしくは、PTA の仕事を親ではなく外部にしてほしい。
- ・自治会活動が負担に思います。みんながやりたがらないし私もやりたくありません。もっとスマホやネットを利用して簡潔化できないか考えています。

【男女共同参画を推進するための取り組みについて】 20 件

- ・知らないことが多いので、情報発信を積極的にしてほしい。
- ・行政でも、世帯主などが男性などが中心となっているように思う、男性中心の手続きが多いのではないかな？
- ・男女共同参画に関する意識が低い、広報・啓発活動を増やすことが大切と思う。
- ・政策・施策・決定のプロセスで女性視点は必要と考える。防災・避難所で女性視点は必須。諸々の啓発には職員教育・学校教育・広報。広報はやりっ放しが多いので認知率をとることが必要です。桶川市の将来の為の調査に感謝します。(重複)
- ・子育て世代の若い人達が、生活しやすい桶川市となるよう御努力お願い致します。
- ・ある程度女性のレベルアップも必要
- ・市内で勤めているが、男は掃除しなくてもいい、女がやるべきという風習がある。そういう方面での不平等さも啓発してほしい。なぜ男は許されるのか。(重複)
- ・男女共同参画の推進において、男性側から女性への言葉の暴力(モラハラ)についても項目を加えるべきだと思います。また、女性の月経に対する理解を高年齢層の男女、就労している男女へ促すことも

大事だと考えます。生理休暇なども必要です。

・子育て、介護の対象となる方への支援は充実しているが、働いている世代や独身の人達への支援がないので、そこが充実すると思う。(桶川市だけの問題ではありませんが、、、)一番税金を納めていると思うので、その人達に返ってくると嬉しい。

・「男女共同参画」という言葉自体が分かりにくいので、分かりやすくした方がよいのでは。例えば、まんがアニメ等を使い親しみやすく受け入れられると思います。

・桶川市がより住みやすい街になることを望んでいます。桶川市は高齢化が進んでいるようなので、もっと若い人が住みたくなるようにしてほしい。

・未就学児の保育所だけでなく、小中学校に通う子供達のための施設やサービスの充実、安全面の強化を強く希望します。(学童が少なすぎるので保育所同等の規模で学童を構えてほしいです)

共働きも多く、親も高齢の中で育児している家庭も多いです。経済面でも子育て世代の負担が増えてきています。

さらに最近の治安の悪さもあり、子供への安全も不安です。

行動が広がる小中学生へのサポートも力を入れてもらえると嬉しいです。

地域のサポートという土台の安心感が男女の活躍へとつながると思います。

ぜひお願いします。

・桶川市に 10 年ほど在住していますが、市内の情報があまり届かないので市がどのような活動を行っているのかがよく分かりません。広報は図書館等で拝見することはありますが、家に届いたことは一度もないです。他の桶川市民の方に伺うと、ご自宅ポストに届くそうなので、情報が届く人、届かない人で情報に差があるように思います。男女共同参画に関するお知らせも住民の方に一律に届くような方法があれば施策や活動が進むのではと思います。(重複)

・小中学生へ包括的性教育を実施すべきだと思います。

生きていくために、自分の身を自分で守るために、非常に大切なことだと考えるからです。

・まだまだ男女共同参画に対する認知が浸透しきれてないというのが体感としてある。

現代の問題点、男女共同参画が実現することのメリット、実現に向けて各自の意識、行政が取り組んでる内容を市民に把握?理解を深めるというような一連の施策を社会的に動くべきだと考える。

・女性からの意見は男性ではなく女性担当者が聞くようにしてください

男女共同参画プロジェクトの承認者は男性ではなく女性にしてください

市長が男性なら副市長は女性にするなど、同等の権限を男女平等に設定してください

・男女共同参画基本計画に基づき様々な事業を実施されていますが、計画通りに実行できたかどうかを評価基準にするのは適切ではないと思います。各事業に対してアンケート調査のどの項目の数値が改善されるのか、全国平均や近隣の市町村と比較してどの程度優位性があるのかなどが定量的に明示されていないため、事業を計画通り進めたとしても、事業そのものに効果があったかどうかを判断することができません。それぞれの事業に対して望みの結果を数値で明確にして、効果があった事業はさらに拡大させ、効果が無かった事業は中止することでより質の高い施策を講じることができると考えます。(重複)

【アンケートについて】 10件

- ・設問が長い。これをして何が良くなるかわからない。男女共同参画は啓蒙としてどうのこうではないと思う。社会のニーズがあれば、必然的に備わってくると思う。桶川市が試行していく話ではないし、費用（市の経費）の無駄です。
- ・政策・施策・決定のプロセスで女性視点は必要と考える。防災・避難所で女性視点は必須。諸々の啓発には職員教育・学校教育・広報。広報はやりっ放しが多いので認知率をとることが必要です。桶川市の将来の為の調査に感謝します。（重複）
- ・統一教会系の団体が議員が発議して市役所に委託したのですか。
- ・このアンケートの内容の中には、答えが一方に行ってしまう内容もあると思うし夫婦の関係は色々な形もあるのでアンケートに当てはまらないことが多い。
- ・この調査が生かされるのを期待します。
- ・主人が忙しいので私自身の意見で書きましたので申し訳ございません。
- ・アンケートの結果がどの様に活用、反映されているのかを沢山の方が周知出来るようにしてくださると良いかと存じます。
- ・男女共同参画基本計画に基づき様々な事業を実施されていますが、計画通りに実行できたかどうかを評価基準にするのは適切ではないと思います。各事業に対してアンケート調査のどの項目の数値が改善されるのか、全国平均や近隣の市町村と比較してどの程度優位性があるのかなどが定量的に明示されていないため、事業を計画通り進めたとしても、事業そのものに効果があったかどうかを判断することができません。それぞれの事業に対して望みの結果を数値で明確にして、効果があった事業はさらに拡大させ、効果が無かった事業は中止することでより質の高い施策を講じることができると考えます。（重複）

【その他】 8件

- ・桶川市に総合病院はできないのか？子どもの救急の場を作ってほしい。
- ・東口の開発を早めに実施
- ・市内に産婦人科が欲しいです。
- ・桶川市に10年ほど在住していますが、市内の情報があまり届かないので市がどのような活動を行っているのかがよく分かりません。広報は図書館等で拝見することはありますが、家に届いたことは一度もないです。他の桶川市民の方に伺うと、ご自宅ポストに届くそうなので、情報が届く人、届かない人で情報に差があるように思います。男女共同参画に関するお知らせも住民の方に一律に届くような方法があれば施策や活動が進むのではと思います。（重複）
- ・現実問題として共働きで、なかなか地域活動に参加する余裕がないですが、40代半ばになり、子育ては終盤に差し掛かり、最もお金のかかる時期であるとともに、親の健康問題が出始めています。情報の入手方法として、広報誌よりもメールやウェブサイトを利用することが多いのもあり、能動的に動かないと情報が得られないのが現実であると、今回のアンケートで痛感しました（知らないことがおあった！）実際の経験者の生の声が聞けるといいですね。
- ・桶川市の男女共同参画は、知りませんでした。
- ・恥ずかしながら桶川市の施策について全く知らなかった。高齢化社会になりこれから市の公的サービスにお世話になることが増えてくるので制度を理解していきたいと思いました。

参考資料 依頼文及び調査票

桶川市の男女共同参画について

ご意見をお聞かせください

桶川市男女共同参画に関する市民意識調査ご協力のお願い

市民の皆様には、日頃より市政に対しましてご理解・ご協力をいただき、深く感謝申し上げます。

桶川市では、男女共同参画社会の実現に向け、平成30年度に桶川市第四次男女共同参画基本計画を策定し、総合的、計画的にさまざまな取り組みを進めております。

このたび、次期計画となる桶川市第五次男女共同参画基本計画の策定にあたり、市民の皆様の男女共同参画に関する意識や実状等を把握し、本計画に反映するための調査を実施いたします。

ご多用のところ誠に恐縮ではございますが、何卒調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和4年10月

桶川市長 小野 克典

※ 今回の調査は、令和4年9月1日現在で市内にお住まいの18歳以上の方の中から、1,000人を無作為に抽出し実施するものです。

【ご回答方法】

- ◆ 令和4年10月31日（月）までに、下の①または②どちらかの方法でご回答をお寄せください。

① 郵送でご回答の場合	回答用紙にご回答をご記入いただき、同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずにご投函ください。
② インターネットでご回答の場合	下の二次元コードまたはURL アドレスから、ご回答サイトへお進みください。  二次元コード URL: https://www.city.okegawa.lg.jp/cgi-bin/inquiry.php/202

【調査票のご回答にあたって】

- ◆ あて名のご本人が、ご自分の考えでお答えください。なお、ご本人がご回答できない場合は、ご家族などが、ご本人の考えを聞きながらご回答ください。
- ◆ 質問によって、回答数が異なります。指定された回答数の範囲内でご記入ください。
- ◆ 「その他」をお選びになった場合は、（ ）内にできるだけ具体的にその内容をご記入ください。
- ◆ 回答時間の目安は20分程度です。
- ◆ 調査結果は、市ホームページなどで公表する予定です。

① 郵送でご回答の場合

- ◆ お答えは、回答用紙にご記入ください。
- ◆ 回答用紙及び封筒には、住所・氏名をご記入する必要はありません。
- ◆ ご記入いただきました回答用紙は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、郵便ポストへご投函ください。

② インターネットでご回答の場合

- ◆ 二重回答を防ぐため、次のIDをご入力ください。

ID:

(半角英数字)

※このIDにより、個人が特定されることはありません。

- ◆ インターネットで回答をしていただきましたら、調査票の返送の必要はありません。
- ◆ 複数回回答された場合は、最新のものを回答とさせていただきます。

ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

【お問い合わせ先】

桶川市役所 企画財政部 人権・男女共同参画課

TEL：048-788-4907

FAX：048-787-5409

E-mail：jinken@city.okegawa.lg.jp

◇あなたご自身のことについて◇

F 1 あなたの性別を教えてください。(数字を1つ記入)

1. 男性 2. 女性 3. その他

F 2 あなたの年齢は、おいくつですか。(数字を1つ記入)

1. 10・20代 2. 30代 3. 40代 4. 50代
5. 60代 6. 70代 7. 80代以上

F 3 あなたの職業を教えてください。(数字を1つ記入)

1. 正規雇用の会社員・団体職員 2. 自由業・自営業 3. パート・アルバイト
4. 派遣社員・契約社員・嘱託員 5. 公務員・教員 6. 家事専業
7. 学生 8. 無職 9. その他 ()

F 4 あなたの現在の家族構成はどれですか。(数字を1つ記入)

1. 単独世帯(一人住まい)
2. 夫婦(パートナー)のみの世帯
3. 2世代世帯(親と子ども)
4. 3世代世帯(親と子どもと孫)
5. その他 ()

F 5 あなたは現在結婚していますか。(数字を1つ記入)

1. 結婚している(事実婚含む)
2. 死別または離別している
3. 結婚していない

「1. 結婚している」とお答えの方はF 6へ。

それ以外の方は問1へ。

F 6 あなたのご家庭の現在の勤労形態はどれですか。(数字を1つ記入)

1. 共働き
2. 自身のみ働いている
3. 配偶者(パートナー)のみ働いている
4. とともに無職
5. その他 ()

男女平等意識・人権について

問1 あなたは、「男は仕事、女は家庭」という考え方について、どう思いますか。(数字を1つ)

- | | |
|--------------|----------|
| 1. 同感する | 2. 同感しない |
| 3. どちらともいえない | 4. わからない |

問2 次のような分野で、男女の地位は平等になっていると思いますか。

	横方向にご回答ください			
	1 男性のほうが 優遇されている	2 平等に なっている	3 女性のほうが 優遇されている	4 わからない
ア 家庭生活	1	2	3	4
イ 職場	1	2	3	4
ウ 学校教育の場	1	2	3	4
エ 政治の場	1	2	3	4
オ 社会通念や慣習・しきたり など	1	2	3	4
カ 法律や制度の上	1	2	3	4
キ 自治会やPTAなどの地域 活動の場	1	2	3	4

(ア～キそれぞれ、あてはまる数字を1つ)

問3 女性の性と生殖に関して、妊娠・出産・中絶・更年期など生涯を通じた健康が保障されていると思いますか。(数字を1つ)

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらかといえばそう思わない | 4. そう思わない |
| 5. わからない | |

問4 あなたは性的マイノリティ（LGBTQ※¹など）に対する差別的な言動を、次の場所で見聞きしたことがありますか。（あてはまる数字すべて）

1. 職場 2. 学校 3. 地域
4. 家庭 5. テレビ・ラジオ 6. インターネット
7. 友人との交流の場 8. その他（ ） 9. 見聞きしたことがない

※1 LGBTQとは、レズビアン（女性同性愛者）、ゲイ（男性同性愛者）、バイセクシュアル（両性愛者）、トランスジェンダー（生まれた時の性別と自認する性別が一致しない人）、クエスチョニング（自分自身の性別を決められない、わからない、または決めない人）など、性的マイノリティを表す総称のひとつ。

問5 あなたは性的マイノリティ（LGBTQなど）に対する理解の促進や支援にはどのようなものが必要だと思いますか。（あてはまる数字すべて）

1. 理解を進めるための広報や、講座などによる啓発
2. 専門相談窓口の充実
3. 福祉・医療・住宅など様々な施策の中に性的マイノリティへの配慮
4. 同性カップルの関係を公的に認めるパートナーシップ制度の推進
5. 性的マイノリティに対する差別を禁止する法律・条例の整備や制度の見直し
6. 学校における性の多様性に関する教育の充実や性自認への配慮
7. 行政職員や教職員に対する研修の実施
8. 支援者（理解者）を公的に認定する制度の推進
9. 職場における理解の促進
10. トイレや更衣室などの環境の整備
11. その他（ ）
12. 必要だと思わない
13. わからない

ワーク・ライフ・バランス※について

※ワーク・ライフ・バランスとは、仕事と生活の調和。仕事をしながらも家事・育児などの「家庭生活」や趣味・地域生活などの「個人の生活」を充実させること。

問6 あなたは「仕事」、「家庭生活」、「個人の生活」について、希望・理想に最も近いものはどれですか。(数字を1つ)

1. 「仕事」を優先
2. 「家庭生活」を優先
3. 「個人の生活」を優先
4. 「仕事」と「家庭生活」をともに優先
5. 「仕事」と「個人の生活」をともに優先
6. 「家庭生活」と「個人の生活」をともに優先
7. 「仕事」と「家庭生活」と「個人の生活」をともに優先
8. わからない

問7 あなたの「仕事」、「家庭生活」、「個人の生活」について、現状に近いものはどれですか。(数字を1つ)

1. 「仕事」を優先
2. 「家庭生活」を優先
3. 「個人の生活」を優先
4. 「仕事」と「家庭生活」をともに優先
5. 「仕事」と「個人の生活」をともに優先
6. 「家庭生活」と「個人の生活」をともに優先
7. 「仕事」と「家庭生活」と「個人の生活」をともに優先
8. わからない

問8 女性の働き方について、あなたが望ましいと思うものはどれですか。

(それぞれ、あてはまる番号を1つ)

1. 結婚や出産にかかわらず、ずっと仕事を続ける
2. 結婚するまでは仕事を続け、結婚したら仕事を辞める
3. 子どもができるまでは仕事を続け、子どもができたら仕事を辞める
4. 子どもができたら仕事を辞め、子どもに手がかからなくなったら再び仕事をする
5. 仕事は持たない
6. その他 ()
7. わからない

望ましいのは

現在結婚している方、パートナーと同居している方
にお聞きます。

現状は

問9 あなたは、男性が「育児休業制度」を利用することについてどう思いますか。(数字を1つ)

1. 賛成

2. 反対

「1. 賛成」と答えた方は問11へ。

「2. 反対」と答えた方は問10へ。

問10 男性が「育児休業制度」を利用することについて反対する理由は何ですか。(数字を1つ)

1. 収入が減るから
2. 職場に迷惑がかかるから
3. 職場の理解が得られないから
4. 職場に代わりの人がいないから
5. 育児や介護は女性のほうが向いているから
6. その他 ()
7. わからない

家庭生活について

問 11 家庭における男女の役割分担について、あなたの希望・理想に最も近いものはどれですか。
(数字を1つ)

1. 男性は働き、女性は家事・育児・介護を分担する
2. 男性は働き、女性は家事・育児・介護に差し支えない範囲で働く
3. 男女とも働き、家事・育児・介護は主に女性が分担する
4. 男女とも働き、家事・育児・介護は主に男性が分担する
5. 男女とも働き、家事・育児・介護は男女とも分担する
6. 男女とも働き、家事・育児・介護は公的サービスや民間事業者を活用する
7. 女性は働き、男性は家事・育児・介護を分担する
8. 女性は働き、男性は家事・育児・介護に差し支えない範囲で働く
9. その他()

現在結婚している方、パートナーと同居している方は問 12 へ。

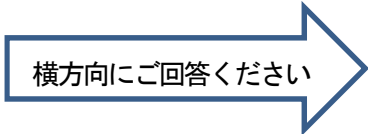
それ以外の方は問 14 へ。

問 12 現在結婚している方、パートナーと同居している方に伺います。あなたの現実（現状）に最も近いものはどれですか。(数字を1つ)

1. 男性は働き、女性は家事・育児・介護を分担する
2. 男性は働き、女性は家事・育児・介護に差し支えない範囲で働く
3. 男女とも働き、家事・育児・介護は主に女性が分担する
4. 男女とも働き、家事・育児・介護は主に男性が分担する
5. 男女とも働き、家事・育児・介護は男女とも分担する
6. 男女とも働き、家事・育児・介護は公的サービスや民間事業者を活用する
7. 女性は働き、男性は家事・育児・介護を分担する
8. 女性は働き、男性は家事・育児・介護に差し支えない範囲で働く
9. その他()

問13 あなたの家庭では、次のようなことについて、主にどなたが行っていますか。

(ア～クそれぞれ、あてはまる数字を1つ)

	1 主に 男性	2 主に 女性	3 男性・ 女性とも に分担	4 その他	5 該当 しない
ア 家事（炊事・洗濯・掃除など）	1	2	3	4	5
イ 子育て（子どもの世話、しつけ、教育など）	1	2	3	4	5
ウ 介護（介護の必要な親の世話、病人の介護など）	1	2	3	4	5
エ 地域の行事への参加	1	2	3	4	5
オ 自治会、PTA活動	1	2	3	4	5
カ 生活費の確保	1	2	3	4	5
キ 家計の管理	1	2	3	4	5
ク 高額な商品や土地、家屋の購入の決定	1	2	3	4	5

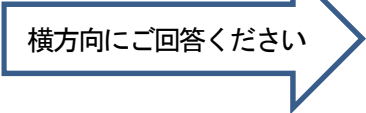
問14 あなたは、男女が家事・育児・介護をともに分担していくために、何が必要だと思いますか。

(数字を1つ)

1. 学校における男女平等の意識を育てる教育
2. 男だから、女だからこうあるべきだという固定的な考えを改めるための啓発活動
3. 育児休業制度・介護休業制度の一層の普及
4. 男性の働き方の見直しや意識改革
5. 女性の働き方の見直しや意識改革
6. 企業における男女とも仕事と家庭生活を両立できるための職場環境の整備
7. 保育所や学童保育の整備、介護施設や介護サービス等の充実
8. その他（ ）
9. わからない

配偶者等からの暴力について

問 15 次のようなことが配偶者（事実婚や別居中を含む）やパートナーの間で行われた場合、それを暴力であると思いますか。（ア～チそれぞれ、あてはまる数字を1つ）

 横方向にご回答ください	1 どんな場合 でも暴力に あたる	2 暴力の場合 とそうでない 場合がある	3 暴力にあた ると思わ ない
ア 骨折させる	1	2	3
イ 打ち身や切り傷などのケガをさせる	1	2	3
ウ 刃物などを突きつけて、おどす	1	2	3
エ 身体を傷つける可能性のある物で、なぐる	1	2	3
オ 突き飛ばしたり、壁にたたきつけたりする	1	2	3
カ 手でぶつ、足で蹴る	1	2	3
キ 物を投げつける	1	2	3
ク なぐるふりをして、おどす	1	2	3
ケ ドアを蹴ったり、壁に物を投げて、おどす	1	2	3
コ いやがるのに、性的な行為を強要する	1	2	3
サ 見たくないのに、ポルノビデオやポルノ雑誌を見せる	1	2	3
シ 何を言っても、長時間無視し続ける	1	2	3
ス 交友関係や電話、郵便物等を細かく監視する	1	2	3
セ 「誰のおかげで生活できるのか」などと言う	1	2	3
ソ 大声で、どなる	1	2	3
タ 生活費を渡さない	1	2	3
チ 仕事を無理やり辞めさせて、経済的に弱い立場にさせる	1	2	3

問 16 あなたは、配偶者等からの暴力について相談できる窓口を知っていますか。（数字を1つ）

1. 知っている	2. 知らない
----------	---------

「1. 知っている」と答えた方は問 17 へ。

「2. 知らない」と答えた方は問 18 へ。

問20 あなたが、相談した人（場所）を教えてください。（あてはまる数字すべて）

1. 家族・親せき
2. 友人・知人
3. 警察
4. 人権擁護委員
5. 役所の相談窓口・電話相談など
6. 配偶者暴力相談支援センター・婦人相談センター
7. その他公的機関
8. 弁護士
9. 医師
10. 民間の相談機関
11. その他（

問 22へ。

問21 あなたが、誰（どこ）にも相談していないのはなぜですか。（あてはまる数字すべて）

1. 誰（どこ）に相談してよいのかわからなかったから
2. 恥ずかしくて誰にも言えなかったから
3. 相談しても無駄だと思ったから
4. 相談したことがわかると、仕返しを受けたり、もっとひどい暴力を受けると思ったから
5. 相談窓口の担当者の言動により、不快な思いをすと思ったから
6. 自分さえ我慢すれば、このまま何とかやっていくことができると思ったから
7. 世間体が悪いから
8. 自分以外の周囲の人を巻き込みたくないから
9. 思い出したくないから
10. 自分に悪いところがあると思ったから
11. 相談するほどのことではないと思ったから
12. その他（ ）

地域参加・社会参画について

問 22 あなたは現在、どのような活動に参加していますか。(あてはまる数字すべて)

1. 自治会などの地域活動
2. P T A、子ども会などの活動
3. 高齢者や障害者支援などのボランティア活動
4. 国際交流・国際理解を深めるなどの市民活動
5. 地域での講演会や講座、祭など地域の催し
6. 趣味やスポーツなど、仲間で集まって行うサークル活動
7. リサイクルなどの環境保全のための活動
8. 審議会や運営委員会などの行政の委員会
9. その他（ ）
10. 参加していない

問 23 あなたが、町会・自治会やP T A等の代表に選ばれる機会があったらどうしますか。
(数字を1つ)

1. 積極的にやりたい
2. どうしてもと頼まれればやってよい
3. 家族と相談してから決める
4. やりたくない
5. わからない

問 24 防災・災害復興対策で、男女の性別に配慮して取り組む必要があると思うことは何ですか。
(数字を1つ)

1. 避難所の設備（男女別トイレ・更衣室、防犯対策等）
2. 避難所運営の責任者に女性が配置され、被災者対応に女性の視点が入ること
3. 避難所等での性犯罪の防止
4. 乳幼児、高齢者、障害者、病人、女性に対する備えやニーズの把握、支給する際の配慮
5. 災害時の救援医療体制（診察・治療体制、妊産婦）
6. 被災者に対する相談体制
7. 災害対策本部に女性が配置され、対策に女性の視点が入ること
8. 防災計画・復興計画策定過程、防災会議に女性が参画すること
9. その他（ ）
10. 特にない

新型コロナウイルス感染症の影響について

問 25 新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響で、あなたの生活や行動に変化がありましたか。
(あてはまる数字すべて)

1. 特に変わりはない
2. 友人などに会えなくなった
3. やりたいことができなくなった
4. 食事の支度や掃除などの家事負担が増えた
5. 学校が休みになった時、子どもの世が増えた
6. 生活のリズムが不規則になった
7. 子どもを叱ることが増えた
8. ささいなことで配偶者・パートナーとケンカをするようになった
9. 配偶者・パートナーからDV・ハラスメントを受けるようになった
10. その他 ()

男女共同参画を推進するための取り組みについて

問 26 あなたが、政治・経済・地域などの各分野で、女性の参画が進み、女性のリーダーを増やすときに障害となるものは何だと思いますか。(あてはまる数字すべて)

1. 必要な知識や経験などをもつ女性が不足していること
2. 女性自身がリーダーになることを希望しないこと
3. 上司・同僚・部下となる男性や顧客が女性リーダーを希望しないこと
4. 労働時間が長くなること
5. 管理職になると責任が重くなること
6. 保育・介護・家事などにおける夫などの家族の支援が十分ではないこと
7. 保育・介護の支援などの公的サービスが十分ではないこと
8. その他 ()
9. 特にない
10. わからない

問27 男女共同参画に関する市の施策などの言葉などについて、ご存知ですか。

(ア～オそれぞれ、あてはまる数字を1つ)

	1 聞いたことが あり、内容も知 っている	2 聞いたことが あるが、内容は 知らない	3 知らない
ア 桶川市男女共同参画推進条例	1	2	3
イ 桶川市男女共同参画情報紙「かがやき」 （最新号は広報おけがわ令和4年2月号に掲載）	1	2	3
ウ 桶川市男女共同参画コーナー「アソシエ」	1	2	3
エ 桶川市パートナーシップ宣誓制度	1	2	3
オ 桶川市女性相談	1	2	3

問 28 市では、男女共同参画社会の実現を目指して、さまざまな施策を実施していますが、今後どのようなことに力を入れていくのがよいと思いますか。(数字を2つ)

1. 男女平等や男女共同参画を進める教育や学習の充実
2. 女性の就労や起業のための支援
3. 女性のデジタル人材の育成
4. 子育て支援の充実
5. 男性の意識改革のための講座や啓発の実施
6. 介護支援の充実
7. ワーク・ライフ・バランスの啓発
8. 政策・方針決定過程への女性の参画促進
9. 学校教育での男女平等教育の実施
10. 地域活動への男女共同参画の促進
11. 防災分野での男女共同参画の促進
12. 桶川市男女共同参画コーナー「アソシエ」などの拠点機能の充実
13. 女性に対する暴力の防止と支援の充実
14. 相談事業の充実
15. 性的マイノリティ（LGBTQなど）、性の多様性に関する啓発
16. その他（
17. 特になし

桶川市の男女共同参画に関する施策について、ご意見やご要望等がございましたら、自由にご記入ください。

◆お書きいただいた上記のご意見を、市ホームページ等で公開してもよろしいですか。
(あてはまるほうに○)

公開 **可**

公開 **不可**

ご協力ありがとうございました。

お手数ですが、回答用紙を同封の返信用封筒に入れ、

10月31日(月)までにポストへご投函ください。

(切手、記名は不要です。)



桶川市マスコットキャラクター
「オケちゃん」

令和4年度 男女共同参画に関する市民意識調査報告書

令和5年3月

調査主体 桶川市企画財政部人権・男女共同参画課

〒363-8501 桶川市泉一丁目3番28号

電話 048(788)4907 FAX 048(787)5409

E-mail jinken@city.okegawa.lg.jp



桶川市マスコットキャラクター「オケちゃん」